農山漁村の

地域資源活用モデル事例集








第６版

令和８年７月

MAFF

農林水産省

本事例集について

○　農山漁村の地域資源活用モデル事例集について

　これまで農林水産省では、農林水産物の付加価値を高め、農林漁業者の所得向上を図る取組の１つとして、農林漁業の６次産業化の推進に取り組んできました。

　令和４年度からは、この６次産業化を発展させて、地域の文化・歴史や森林、景観など農林水産物以外の多様な地域資源も活用し、農林漁業者はもちろん、地元の企業なども含めた多様な主体の参画・連携の下で付加価値を創出することにより、農山漁村における所得の向上と雇用の創出を図る取組を支援しています。

　本事例集は、こうした取組のうち、他地域の参考となるような優れた事例を横展開するため、都道府県から推薦のあった事例や様々な表彰事例の中から、農山漁村ならではの特性をいかし、工夫をこらした地域の活性化、地方創生に取り組んでいるものをまとめたものです。

○　構成

　活用している地域資源、地域資源を活用している事業分野、参画している事業主体、売上や雇用に関する成果等を中心に整理しました。

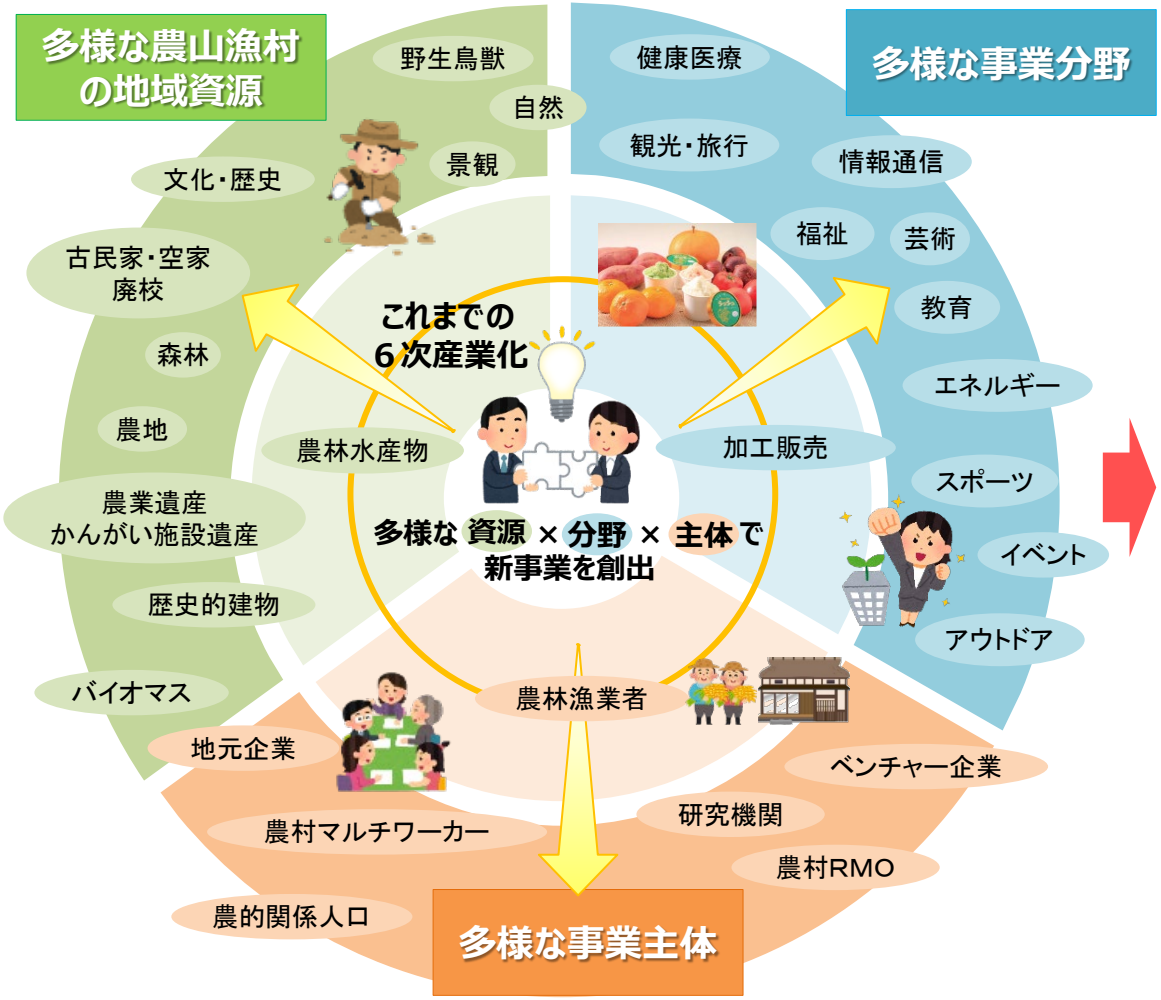
（選定表彰や活用した支援策等についても記載していますが、本事例には補助事業を活用していないモデルも含まれます）

地域資源の活用による価値の創出とは

○　従来の６次産業化を発展させて、地域の文化・歴史や森林、景観など農林水産物以外の**多様な地域資源も活用**し、農林漁業者はもちろん、地元の企業なども含めた**多様な主体の参画・連携の下で付加価値を創出することにより、農山漁村における所得の向上、雇用の創出を図る取組**です。

地域資源活用価値創出

○　農山漁村のあらゆる地域資源をフル活用した取組を支援
○　他産業起点の取組など他分野との連携を一層促進



地域資源と事業分野、事業主体を組み合わせ、付加価値を創出

＜例１＞
農産物、景観 × 加工販売、観光・旅行 × 農林漁業者、地元企業
＝ **竹林景観を活かした映画のロケ地や観光商品化**

＜例２＞
森林 × スポーツ × ベンチャー企業
＝ **森林サバイバルゲーム**

＜例３＞
農産物 × 加工販売、観光旅行、教育 × 農林漁業者、地元企業
＝ **農業交流拠点を核とした６次産業化、食育体験**

＜例４＞
森林 × 観光・旅行、健康医療 × 農林漁業者、地元企業
＝ **森林セラピー**

＜例５＞
農業遺産、文化・歴史 × 加工販売、観光・旅行 × 協議会（農林漁業者、地元企業等）
＝ **農業遺産を核とした６次産業化、観光振興**

改定履歴

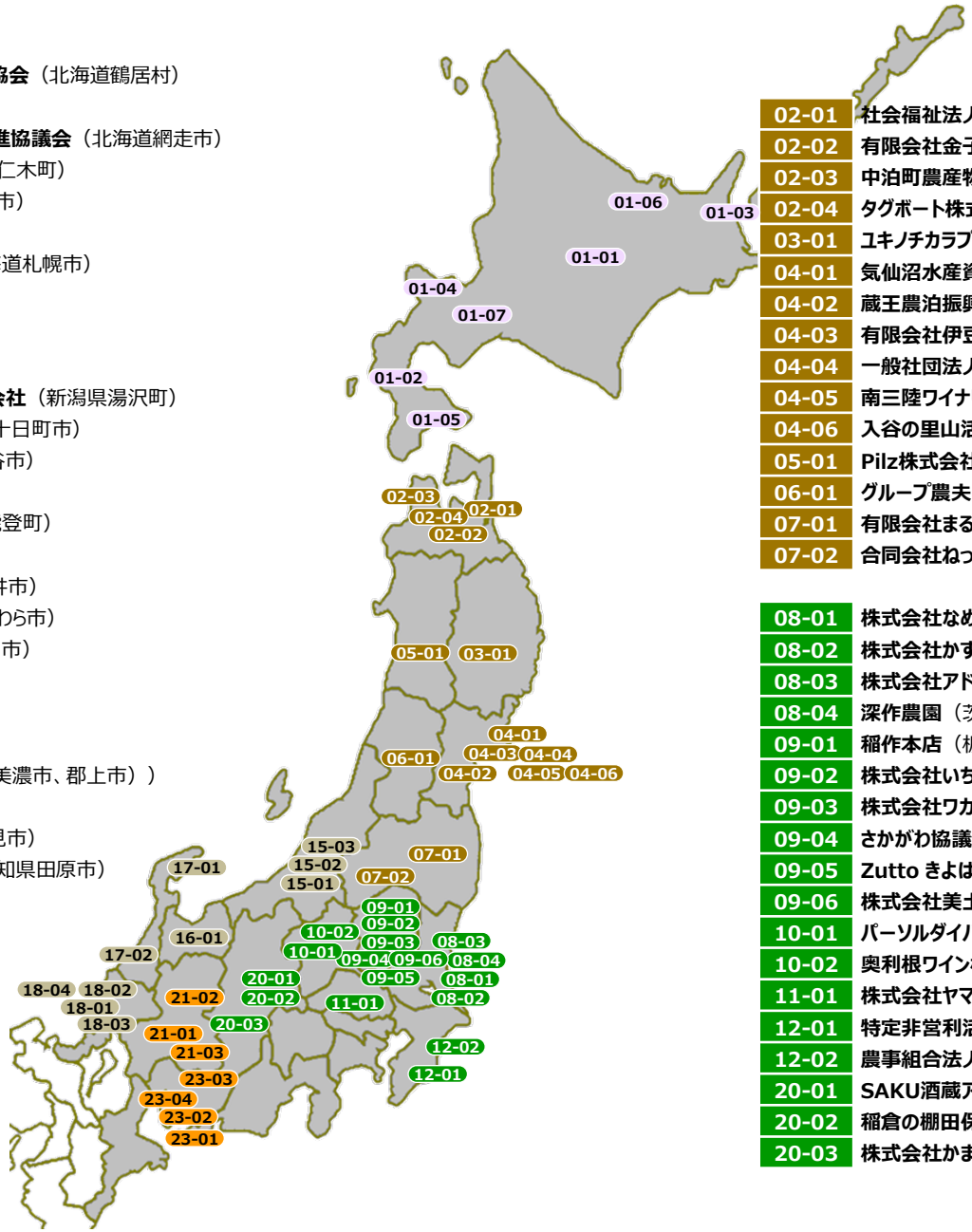
版数	発行時期	改定内容
第１版	令和５年３月	• 初版発行 【計38事例】
第２版	令和５年６月	• 12事例（事例No.01-02、03-01、10-01、15-02、15-03、17-02、20-02、26-04、30-01、30-02、37-01、47-02）を追加 【計50事例】 • 第１版掲載事例のうち一部の説明文を修正
第３版	令和６年４月	• 21事例（事例No.01-03、04-04、04-05、05-01、06-01、07-01、08-02、10-02、11-01、12-02、18-03、21-03、25-01、27-01、31-03、34-01、36-02、37-02、39-02、39-03、45-01）を追加【計71事例】
第４版	令和６年９月	• 7事例（事例No.23-02、32-02、36-03、37-03、37-04、38-03、44-01）を追加 【計78事例】
第５版	令和７年６月	• 名称を「農山漁村発イノベーション事例集」から「農山漁村の地域資源活用モデル事例集」に変更 • 掲載地域のページを追加 • 事例No.26-03を削除（欠番） • 14事例（事例No.01-04、02-03、07-02、08-03、20-03、28-01、33-02、33-03、36-04、38-04、39-04、41-02、44-02、44-03）を追加 【計91事例】
第６版	令和８年７月	• 16事例（事例No.01-05、01-06、01-07、02-04、04-06、08-04、09-06、18-04、23-03、23-04、29-02、32-03、42-02、44-04、46-01、47-03）を追加【計107事例】

掲載地域（北海道、東北、関東、東海、北陸）

01-01 **特定非営利活動法人美しい村･鶴居村観光協会**（北海道鶴居村）
01-02 **NPO法人やくも元気村**（北海道八雲町）
01-03 **オホーツク農山漁村活用体験型ツーリズム推進協議会**（北海道網走市）
01-04 **仁木町ワインツーリズム推進協議会**（北海道仁木町）
01-05 **株式会社LocalRevolution**（北海道函館市）
01-06 **えづらファーム**（北海道遠軽町）
01-07 **特定非営利活動法人楽園プロジェクト**（北海道札幌市）

15-01 **SNOW SAFARI 株式会社　SOUQ 株式会社**（新潟県湯沢町）
15-02 **NPO法人越後妻有里山協働機構**（新潟県十日町市）
15-03 **株式会社Mt.ファームわかとち**（新潟県小千谷市）
16-01 **株式会社森の環**（富山県高岡市）
17-01 **春蘭の里･里山ステイ推進協議会**（石川県能登町）
17-02 **里山総合会社山立会**（石川県白山市）
18-01 **伊自良の里･食と農推進協議会**（福井県福井市）
18-02 **特定非営利活動法人ピアファーム**（福井県あわら市）
18-03 **NPO法人まちづくり のむきの会**（福井県勝山市）
18-04 **株式会社農楽里**（福井県あらわ市）

21-01 **世界農業遺産 清流長良川の鮎**
（岐阜県長良川上中流域（岐阜市、関市、美濃市、郡上市））
21-02 **有限会社萬里**（岐阜県高山市）
21-03 **株式会社もみじかえで研究所**（岐阜県多治見市）
23-01 **株式会社田原観光情報サービスセンター**（愛知県田原市）
23-02 **株式会社デイリーファーム**（愛知県常滑市）
23-03 **株式会社ココトモファーム**（愛知県犬山市）
23-04 **有限会社鍋八農産**（愛知県弥富市）



02-01 **社会福祉法人 誠友会 工房あぐりの里**（青森県おいらせ町）
02-02 **有限会社金子ファーム**（青森県七戸町）
02-03 **中泊町農産物加工販売施設出荷者協議会**（青森県中泊町）
02-04 **タグボート株式会社**（青森県平川市）
03-01 **ユキノチカラプロジェクト協議会**（岩手県西和賀町）
04-01 **気仙沼水産資源活用研究会**（宮城県気仙沼市）
04-02 **蔵王農泊振興協議会**（宮城県蔵王町）
04-03 **有限会社伊豆沼農産**（宮城県登米市）
04-04 **一般社団法人イシノマキ･ファーム**（宮城県石巻市）
04-05 **南三陸ワイナリー株式会社**（宮城県南三陸町）
04-06 **入谷の里山活性化協議会**（宮城県南三陸町）
05-01 **Pilz株式会社**（秋田県横手市）
06-01 **グループ農夫の会**（山形県山辺町）
07-01 **有限会社まるせい果樹園**（福島県福島市）
07-02 **合同会社ねっか**（福島県只見町）

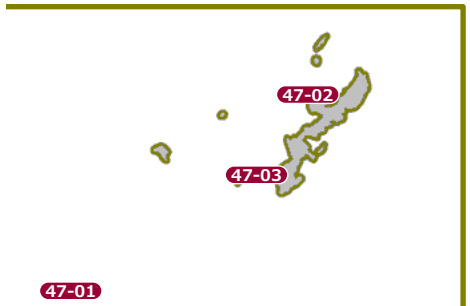
08-01 **株式会社なめがたしろはとファーム**（茨城県行方市）
08-02 **株式会社かすみがうら未来づくりカンパニー**（茨城県かすみがうら市）
08-03 **株式会社アドバンフォース**（茨城県笠間市）
08-04 **深作農園**（茨城県鉾田市）
09-01 **稲作本店**（栃木県那須町）
09-02 **株式会社いちごの里ファーム**（栃木県小山市）
09-03 **株式会社ワカヤマファーム**（栃木県宇都宮市）
09-04 **さかがわ協議会**（栃木県茂木町）
09-05 **Zutto きよはら**（栃木県宇都宮市）
09-06 **株式会社美土里農園**（栃木県茂木町）
10-01 **パーソルダイバース株式会社とみおか繭工房妙義**（群馬県富岡市）
10-02 **奥利根ワイン株式会社**（群馬県昭和村）
11-01 **株式会社ヤマグレイン**（埼玉県吉見町）
12-01 **特定非営利活動法人大山千枚田保存会**（千葉県鴨川市）
12-02 **農事組合法人ながいき集落営農組合**（千葉県長生村）
20-01 **SAKU酒蔵アグリツーリズム推進協議会**（長野県佐久市）
20-02 **稲倉の棚田保全委員会**（長野県上田市）
20-03 **株式会社かまくらや**（長野県松本市）

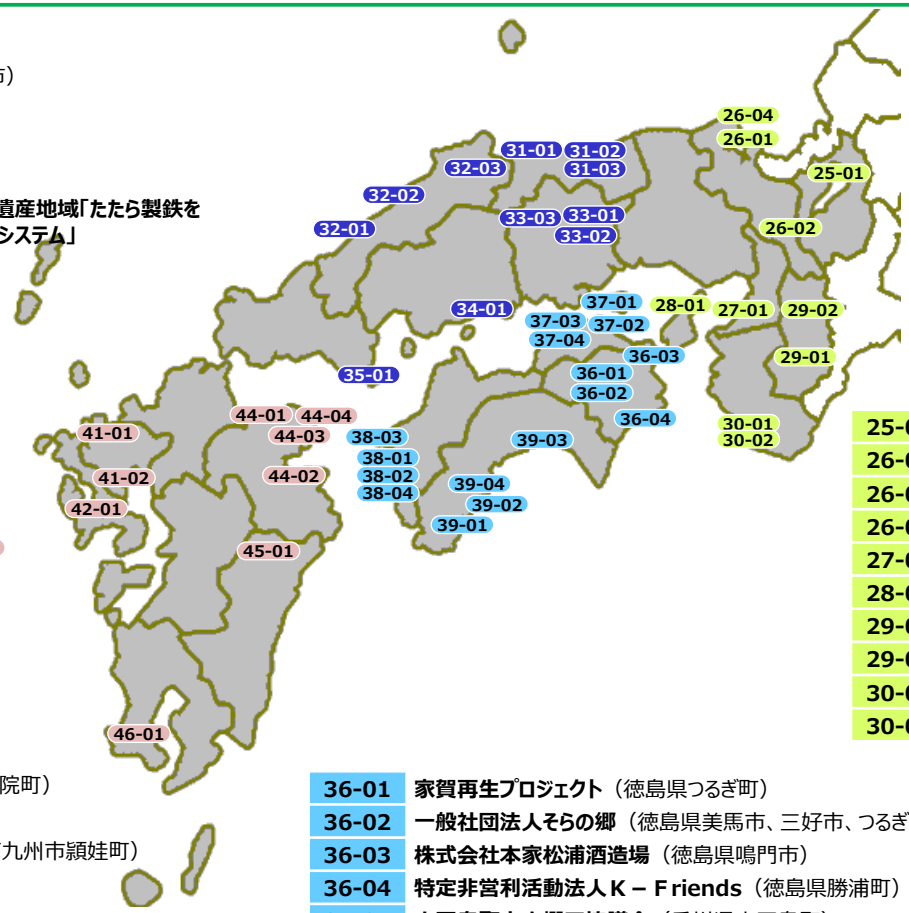
掲載地域（近畿、中国、四国、九州、沖縄）

31-01 一般財団法人境港市農業公社（鳥取県境港市）
31-02 NPO法人bankup（旧学生人材バンク）（鳥取県鳥取市）
31-03 NPO法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会（鳥取県鳥取市）
32-01 社会医療法人正光会さんさん牧場（島根県益田市）
32-02 大田商工会議所（島根県大田市）
32-03 奥出雲町農業遺産推進協議会　世界農業遺産・日本農業遺産地域「たたら製鉄を再適用した奥出雲地域の持続可能な水管理及び農林畜産システム」（島根県奥出雲町）
33-01 株式会社エーゼログループ（岡山県西粟倉村）
33-02 FARM RESORT あわのわ（東粟倉農泊推進協議会）（岡山県美作市）
33-03 NPO法人真庭あぐりガーデンプロジェクト（岡山県真庭市）
34-01 広島みはらプリンプロジェクト実行委員会（広島県三原市）
35-01 株式会社瀬戸内ジャムズガーデン（山口県周防大島町）

41-01 株式会社クラベル・ジャパン（平田花園）（佐賀県唐津市）
41-02 有限会社ナカシマファーム（佐賀県嬉野市）
42-01 有限会社シュシュ（長崎県大村市）
42-02 株式会社アグリ・コーポレーション（長崎県五島市）
44-01 有限会社サンセイ・宇佐ジビエファクトリー（大分県宇佐市）
44-02 株式会社豊後大野クラスター（大分県豊後大野市）
44-03 株式会社らいむ工房（大分県国東市）
44-04 株式会社ドリームファーマーズJAPAN（大分県宇佐市安心院町）
45-01 株式会社高千穂ムラたび（宮崎県高千穂町）
46-01 「暮らしの宿　福のや、」「大野岳の麓　茶や、」（鹿児島県南九州市頴娃町）

47-01 しろう農園株式会社（沖縄県宮古島市）
47-02 株式会社沖縄UKAMI養蚕（沖縄県今帰仁村）
47-03 株式会社日本バイオテック（沖縄県糸満市）





25-01 認定特定非営利活動法人つどい（滋賀県長浜市）
26-01 上世屋定住促進協議会（京都府宮津市）
26-02 京都おぶぶ茶苑合同会社（京都府和束町）
26-04 伊根浦地区農泊推進地区協議会（京都府伊根町）
27-01 株式会社漁師鮮度（大阪府阪南市）
28-01 淡路島ワイナリー合同会社（兵庫県淡路市）
29-01 空中の村（奈良県十津川村）
29-02 社会福祉法人青葉仁会（奈良県奈良市）
30-01 株式会社日向屋（和歌山県田辺市）
30-02 世界農業遺産地域みなべ・田辺の梅システム（和歌山県みなべ町、田辺市）

36-01 家賀再生プロジェクト（徳島県つるぎ町）
36-02 一般社団法人そらの郷（徳島県美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町）
36-03 株式会社本家松浦酒造場（徳島県鳴門市）
36-04 特定非営利活動法人Ｋ－Ｆriends（徳島県勝浦町）
37-01 小豆島町中山棚田協議会（香川県小豆島町）
37-02 五名活性化協議会（香川県東かがわ市）
37-03 一般社団法人さぬき市津田地区まちづくり協議会（香川県さぬき市）
37-04 島ヶ峰の原風景を守る会（香川県まんのう町）
38-01 地域協同組合無茶々園（愛媛県西予市）
38-02 遊子川地域活性化プロジェクトチーム 遊子川もりあげ隊（愛媛県西予市）
38-03 朝日共販株式会社（愛媛県伊方町）
38-04 企業組合津島あぐり工房（愛媛県宇和島市）
39-01 一般社団法人三原村集落活動センターやまびこ（高知県三原村）
39-02 特定非営利活動法人NPO砂浜美術館（高知県黒潮町）
39-03 井上ワイナリー株式会社（高知県香南市）
39-04 大正町市場協同組合（高知県中土佐町）

目　次

事例No.	団体名	地域資源	事業分野	事業主体	所在地	ページ
01-01	特定非営利活動法人 美しい村・鶴居村観光協会	農林水産物、景観	加工・販売、観光・旅行	農林漁業者、地元企業	北海道鶴居村	13
01-02	NPO法人やくも元気村	農林水産物、廃校	食品、観光・旅行、福祉	農林漁業者、企業、福祉施設、地域おこし協力隊、大学	北海道八雲町	14
01-03	オホーツク農山漁村活用体験型 ツーリズム推進協議会	農林水産物、景観	食品、観光・旅行	協議会、地域企業	北海道網走市	15
01-04	仁木町ワインツーリズム推進協議会	農林水産物（ぶどう）、景観	食品、観光・旅行、イベント	町、観光協会、農業者 等	北海道仁木町	16
01-05	株式会社LocalRevolution	農林水産物、加工副産物	食品、福祉	商品・ブランド開発、農林漁業者	北海道函館市	17
01-06	えづらファーム	農林水産物、景観	観光・旅行	農場	北海道遠軽町	18
01-07	特定非営利活動法人楽園プロジェクト	農林水産物	食品、福祉	NPO法人（就労継続支援B型事業所）	北海道札幌市	19
02-01	社会福祉法人 誠友会 工房あぐりの里	農林水産物	食品、観光・旅行、福祉、教育	生産者、高校、NPO	青森県おいらせ町	20
02-02	有限会社金子ファーム	農林水産物、牧場、南部曲屋育成厩舎	畜産、加工・販売、観光・旅行	農林漁業者、地元協議会	青森県七戸町	21
02-03	中泊町農産物加工販売施設 出荷者協議会	農林水産物	食品、福祉、医療、イベント	直売所、医療・保険団体	青森県中泊町	22
02-04	タグボート株式会社	農林水産物（りんご）、耕作放棄地	食品、観光・旅行	醸造所、地元りんご農家	青森県平川市	23
03-01	ユキノチカラプロジェクト協議会	農林水産物、文化	食品、観光・旅行、教育、イベント	協議会（町内事業者）	岩手県西和賀町	24
04-01	気仙沼水産資源活用研究会	農林水産物	食品、健康・医療	市、地元企業、地域おこし協力隊	宮城県気仙沼市	25
04-02	蔵王農泊振興協議会	文化・歴史、観光地、農林水産物、空き家、荒廃農地	食品、観光・旅行、福祉、エネルギー、情報通信	地域協議会	宮城県蔵王町	26
04-03	有限会社伊豆沼農産	農畜産物、ラムサール条約湿地	食品、観光・旅行、福祉、教育	生産者、地域協議会、大学	宮城県登米市	27
04-04	一般社団法人イシノマキ・ファーム	農林水産物	食品、観光・旅行、福祉、教育	一般社団法人、協議会	宮城県石巻市	28

目　次

事例No.	団体名	地域資源	事業分野	事業主体	所在地	ページ
04-05	南三陸ワイナリー株式会社	農林水産物、景観	食品、観光・旅行	協議会、地域企業	宮城県南三陸町	29
04-06	入谷の里山活性化協議会	里山、古民家、農林業、伝統工芸、廃校	観光・旅行、教育、アウトドア、イベント	協議会、直売所、工房、農家、自治体	宮城県南三陸町	30
05-01	Pilz株式会社	農林水産物	食品、昆虫	農林漁業者、市、JA	秋田県横手市	31
06-01	グループ農夫の会	農林水産物、棚田	食品、観光・旅行、イベント	団体、町、企業	山形県山辺町	32
07-01	有限会社まるせい果樹園	農林水産物、景観	食品、観光・旅行、イベント	農林漁業者、メディア、地元企業	福島県福島市	33
07-02	合同会社ねっか	農林水産物（米）	食品、体験・イベント	地元生産者、協議会	福島県只見町	34
08-01	株式会社なめがたしろはとファーム	農林水産物、景観	食品、観光・旅行、アウトドア	農林漁業者、地元企業	茨城県行方市	35
08-02	株式会社 かすみがうら未来づくりカンパニー	農林水産物、景観、古民家	食品、観光・旅行、アウトドア	地元企業、市	茨城県かすみがうら市	36
08-03	株式会社アドバンフォース	農林水産物（栗）、廃校	食品、福祉、イベント	福祉事務所、農業改良普及センター	茨城県笠間市	37
08-04	深作農園	農林水産物（メロン、いちご、さつまいも）	食品、観光・旅行、イベント	農林漁業者	茨城県鉾田市	38
09-01	稲作本店	農林水産物、田んぼ	食品、観光・旅行、教育	生産者、商工業者、観光事業者、NPO	栃木県那須町	39
09-02	株式会社いちごの里ファーム	農林水産物	食品、観光・旅行、福祉	生産者、社会福祉法人	栃木県小山市	40
09-03	株式会社ワカヤマファーム	農林水産物、竹林	食品、観光・旅行、アウトドア、イベント	生産者、地元企業	栃木県宇都宮市	41
09-04	さかがわ協議会	農林水産物、景観	食品、観光・旅行、アウトドア、イベント	協議会	栃木県茂木町	42
09-05	Zutto きよはら	農林水産物、生産圃場	加工・販売、福祉、観光	農林漁業者、地元企業、福祉団体	栃木県宇都宮市	43
09-06	株式会社美土里農園	農林水産物（いちご、メロン）	加工・販売、観光・旅行	農林業業者	栃木県茂木町	44

目　次

事例No.	団体名	地域資源	事業分野	事業主体	所在地	ページ
10-01	パーソルダイバース株式会社 とみおか繭工房妙義	農林水産物、文化	福祉、健康・医療、その他	生産者、JA、富岡製糸場	群馬県富岡市	45
10-02	奥利根ワイン株式会社	農林水産物、景観、森林	食品、観光・旅行、アウトドア	地元企業、農林漁業者	群馬県昭和村	46
11-01	株式会社ヤマグレイン	農林水産物、景観	食品、観光・旅行、イベント	地元企業、JA	埼玉県吉見町	47
12-01	特定非営利活動法人 大山千枚田保存会	農林水産物、景観	食品、観光・旅行、教育	地域住民、JA、観光協会、商工会等	千葉県鴨川市	48
12-02	農事組合法人 ながいき集落営農組合	農林水産物	食品、観光・旅行、教育	農林漁業者	千葉県長生村	49
15-01	SNOW SAFARI 株式会社 SOUQ 株式会社	文化・歴史、自然、森林	観光・旅行、アウトドア、イベント	IT企業、観光DMO、観光協会	新潟県湯沢町	50
15-02	NPO法人越後妻有里山協働機構	農林水産物、棚田、景観	食品、スポーツ、芸術、情報通信、イベント	NPO、農林漁業者、サッカーチーム	新潟県十日町市	51
15-03	株式会社Mt.ファームわかとち	農林水産物、古民家、廃校、文化	食品、観光・旅行、教育、イベント	農地所有適格法人、地域協議会	新潟県小千谷市	52
16-01	株式会社森の環	農林水産物、森林資源	加工・販売、福祉、エネルギー	地元企業、スーパー、大学	富山県高岡市	53
17-01	春蘭の里・里山ステイ推進協議会	文化・歴史、景観、農林水産物	観光・旅行、食品、芸術、イベント	農家民宿、農林漁業者、旅行会社	石川県能登町	54
17-02	里山総合会社山立会	農林水産物、羊、ジビエ	食品、観光・旅行	地元企業・旅館・飲食店、地元大学、他地域ジビエ関係者	石川県白山市	55
18-01	伊自良の里・食と農推進協議会	農林水産物、間伐材、空き家	食品、観光・旅行、教育、エネルギー	協議会、森林組合、大学	福井県福井市	56
18-02	特定非営利活動法人ピアファーム	農林水産物	食品、観光・旅行、福祉	就労支援事業所、農林漁業者	福井県あわら市	57
18-03	NPO法人まちづくり のむきの会	農林水産物、森林、景観	食品、観光・旅行、教育、アウトドア、イベント	NPO	福井県勝山市	58
18-04	株式会社農楽里	農林水産物（いちご）	食品、 観光 ・ 旅行、 福祉	就労継続支援A型事業所	福井県あわら市	59
20-01	SAKU酒蔵アグリツーリズム推進協議会	農林水産物、酒蔵、日本酒文化	食品、観光・旅行、教育、イベント	宿泊施設、食事施設、体験施設、生産者、酒蔵	長野県佐久市	60

目　次

事例No.	団体名	地域資源	事業分野	事業主体	所在地	ページ
20-02	稲倉の棚田保全委員会	農林水産物、景観、文化	食品、観光・旅行、教育、アウトドア、イベント	農林漁業者、JA、企業、大学、地域おこし協力隊 他	長野県上田市	61
20-03	株式会社かまくらや	農林水産物（そば、トマト）	食品、福祉、情報通信	地元生産者、高校、大学、食品企業 等	長野県松本市	62
21-01	世界農業遺産 清流長良川の鮎	農林水産物、自然、文化、景観	食品、観光・旅行、教育	協議会等	岐阜県長良川上中流域(岐阜市、関市、美濃市、郡上市)	63
21-02	有限会社萬里	農林水産物	食品、観光・旅行、福祉	加工事業者、宿泊事業者、農林漁業者、NPO等	岐阜県高山市	64
21-03	株式会社もみじかえで研究所	農林水産物（食用もみじ）	食品、健康・医療	農林漁業者、協議会、大学等	岐阜県多治見市	65
23-01	株式会社 田原観光情報サービスセンター	農林水産物、農業、自然	加工・販売、観光・旅行	民間業者、民間法人、市町村	愛知県田原市	66
23-02	株式会社デイリーファーム	鶏卵	食品、観光、イベント	農林漁業者、観光協会、観光事業者	愛知県常滑市	67
23-03	株式会社ココトモファーム	農林水産物（米）	食品、 福祉	農林漁業者、 菓子製造・販売業者	愛知県犬山市	68
23-04	有限会社鍋八農産	農林水産物（米）、田（作業受託）	食品、 教育、 加工・販売	農林漁業者	愛知県弥富市	69
25-01	認定特定非営利活動法人つどい	農林水産物、景観	食品、観光・旅行、福祉	自治体、自治会、大学、観光協会	滋賀県長浜市	70
26-01	上世屋定住促進協議会	上世屋のヒト、モノ全て	農林業、狩猟、工芸、加工	地域住民	京都府宮津市	71
26-02	京都おぶぶ茶苑合同会社	農林水産物、景観、日本茶文化	食品、観光・旅行、教育、情報通信、イベント	町、生産者、茶畑オーナー、国際日本茶協会	京都府和束町	72
26-04	伊根浦地区農泊推進地区協議会	農林水産物、舟屋、文化	食品、観光・旅行	協議会（町、農林漁業者、酒蔵、金融機関等）	京都府伊根町	73
27-01	株式会社漁師鮮度	農林水産物（牡蠣、その他魚介類）	食品、観光・旅行、福祉、教育、アウトドア、イベント	漁業協同組合、自治体	大阪府阪南市	74
28-01	淡路島ワイナリー合同会社	農林水産物（ぶどう）、景観	食品、観光・旅行、福祉	農林漁業者、飲食店、ホテル	兵庫県淡路市	75
29-01	空中の村	農林水産物、木材、景観	食品、観光・旅行、情報通信、アウトドア	村、飲食事業者、観光事業者	奈良県十津川村	76

目　次

事例No.	団体名	地域資源	事業分野	事業主体	所在地	ページ
29-02	社会福祉法人青葉仁会	農林水産物、 廃校	食品、観光・旅行、 福祉、 教育、イベント	食品製造業者、 食料品店	奈良県奈良市	77
30-01	株式会社日向屋	農林水産物、ジビエ	食品、観光・旅行、教育、情報通信	農林漁業者、ジビエ処理施設、レストラン	和歌山県田辺市	78
30-02	世界農業遺産地域 みなべ・田辺の梅システム	農林水産物、景観	食品、観光・旅行、教育、アウトドア、イベント	農林漁業者、町、市、県、ワーケーション推進団体	和歌山県みなべ町、田辺市	79
31-01	一般財団法人境港市農業公社	和綿「伯州綿」、栽培サポーター	地域活性化、加工・販売等	市、市農業公社	鳥取県境港市	80
31-02	NPO法人bankup （旧学生人材バンク）	学生人材、農林水産物	食品、地域振興、人材育成企画等	NPO、大学、銀行、自治体	鳥取県鳥取市	81
31-03	NPO法人 いんしゅう鹿野まちづくり協議会	空き家、耕作放棄地、文化、景観等	まちづくり、移住支援、食品、研修等	NPO	鳥取県鳥取市	82
32-01	社会医療法人正光会さんさん牧場	馬事文化、農林水産物	食品、観光・旅行、福祉、医療	就労継続支援事業所、流通企業	島根県益田市	83
32-02	大田商工会議所	農林水産物	食品、加工・販売、観光・旅行	観光DMO、飲食店、食品加工業者等	島根県大田市	84
32-03	奥出雲町農業遺産推進協議会　世界農業遺産・日本農業遺産地域「たたら製鉄を再適用した奥出雲地域の持続可能な水管理及び農林畜産システム」	農林畜産物、 棚田、 歴史文化	農業、 食品、 観光・イベント	農業者、 住民、 各種団体、 自治体	島根県奥出雲町	85
33-01	株式会社エーゼログループ	森林、ジビエ、うなぎ、多様な人材	農林水産業、移住・起業支援、福祉	総合地域商社、起業家、地方自治体	岡山県西粟倉村	86
33-02	FARM RESORT あわのわ （東粟倉農泊推進協議会）	農家民宿・カフェ、農林水産物、自然公園	食品、観光・旅行、アウトドア	体験施設の事業者、農林漁業者	岡山県美作市	87
33-03	NPO法人 真庭あぐりガーデンプロジェクト	農林水産物（野菜）	食品、福祉、環境	地域商社、地域団体、市	岡山県真庭市	88
34-01	広島みはらプリンプロジェクト 実行委員会	農水畜産物、観光	食品、観光・旅行、教育、イベント	商工会議所、地域連携DMO、関係団体	広島県三原市	89
35-01	株式会社瀬戸内ジャムズガーデン	農林水産物	食品、観光・旅行、教育	地元企業、生産者、観光事業者、教育機関	山口県周防大島町	90
36-01	家賀再生プロジェクト	世界農業遺産、農林水産物	食品、観光・旅行、福祉、芸術	各種団体、農林漁業者、集落、学校、地元企業	徳島県つるぎ町	91

目　次

事例No.	団体名	地域資源	事業分野	事業主体	所在地	ページ
36-02	一般社団法人そらの郷	世界農業遺産、文化、景観	観光・旅行、教育	地域住民、農業者、観光事業者等	徳島県美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町	92
36-03	株式会社本家松浦酒造場	農林水産物、棚田、酒蔵	食品、観光・旅行、輸出	農業者、JA、地元企業、NPO等	徳島県鳴門市	93
36-04	特定非営利活動法人 Ｋ－Ｆriends	農林水産物（芋類、柑橘類、野菜）、恐竜	食品、スポーツ、イベント、教育	地元農業者・住民、町	徳島県勝浦町	94
37-01	小豆島町中山棚田協議会	農林水産物、景観、文化	食品、観光・旅行、イベント	協議会、各地域団体、行政機関	香川県小豆島町	95
37-02	五名活性化協議会	ジビエ、木材、森林、空き家、廃校	食品、観光・旅行、イベント	地元協議会	香川県東かがわ市	96
37-03	一般社団法人 さぬき市津田地区まちづくり協議会	農林水産物、漁業倉庫、空き家	移住支援、食品、観光・旅行	行政、地域おこし協力隊、地元企業、地元漁業者、観光協会	香川県さぬき市	97
37-04	島ヶ峰の原風景を守る会	農林水産物、景観(棚田、そばの花)廃校	食品、観光・旅行、芸術、アウトドア、イベント	行政、生産者団体、地域住民	香川県まんのう町	98
38-01	地域協同組合無茶々園	農林水産物、廃校	食品、コスメ	農林漁業者、福祉事業者	愛媛県西予市	99
38-02	遊子川地域活性化プロジェクトチーム 遊子川もりあげ隊	農林水産物	食品、観光・旅行	地域住民、地域おこし協力隊、トマトオーナー等	愛媛県西予市	100
38-03	朝日共販株式会社	農林水産物、藻場	食品、イベント、環境保全	漁協・漁師、農業生産者、大学	愛媛県伊方町	101
38-04	企業組合津島あぐり工房	農林水産物、廃校、空き家	食品、福祉	地域協議会、社会福祉協議会、市	愛媛県宇和島市	102
39-01	一般社団法人 三原村集落活動センターやまびこ	農林水産物、文化・風習	食品、観光、福祉、健康等	村内の各種団体や地域の代表者	高知県三原村	103
39-02	特定非営利活動法人 NPO砂浜美術館	景観(自然)、農林水産物、スポーツ施設、防災文化	観光、旅行業(宿泊手配等)、教育、スポーツ、芸術	NPO、集落活動センター、ボランティア、大学	高知県黒潮町	104
39-03	井上ワイナリー株式会社	農林水産物、食文化、耕作放棄地	食品	地元企業、生産者、行政、集落活動センター、大学	高知県香南市	105
39-04	大正町市場協同組合	農林水産物（鰹）	食品、観光・旅行、環境	商店街、町、観光協会、空港 等	高知県中土佐町	106
41-01	株式会社クラベル・ジャパン （平田花園）	農林水産物	加工・販売、教育	農林漁業者、地元企業、福祉	佐賀県唐津市	107

目　次

事例No.	団体名	地域資源	事業分野	事業主体	所在地	ページ
41-02	有限会社ナカシマファーム	農林水産物（酪農）	食品、教育、イベント	教育機関、飲食店	佐賀県嬉野市	108
42-01	有限会社シュシュ	農林水産物	食品、観光・旅行	地元企業、生産者	長崎県大村市	109
42-02	株式会社アグリ・コーポレーション	耕作放棄地、農林水産物、遊休施設	食品、観光・旅行、教育、アウトドア	農林漁業者、加工・販売事業者	長崎県五島市	110
44-01	有限会社サンセイ・ 宇佐ジビエファクトリー	農林水産物（ジビエ）	食品、教育	飲食店、猟友会、小学校、高校、大学	大分県宇佐市	111
44-02	株式会社豊後大野クラスター	農林水産物（さつまいも、かぼす、唐辛子）	食品	地元生産者、JA、食品メーカー、水産試験場 等	大分県豊後大野市	112
44-03	株式会社らいむ工房	農林水産物（むらさきもち麦等）	食品、教育、健康・医療	地元農業者	大分県国東市	113
44-04	株式会社ドリームファーマーズJAPAN	農林水産物、古民家、農村景観	食品、観光・旅行、イベント	商品・ブランド開発、農林漁業者	大分県宇佐市	114
45-01	株式会社高千穂ムラたび	農林水産物、景観、廃校、空き家	食品、観光・旅行、健康・医療、イベント	観光協会、福祉作業施設、まちづくり公社	宮崎県高千穂町	115
46-01	「暮らしの宿　福のや、」 「大野岳の麓　茶や、」	農林水産物、景観、空き家	食品、観光・旅行	特定非営利活動法人、農林漁業者	鹿児島県南九州市	116
47-01	しろう農園株式会社	農林水産物、家畜	食品、観光・旅行、健康・医療	生産者、大学、学校・保育園、市、県	沖縄県宮古島市	117
47-02	株式会社沖縄UKAMI養蚕	農林水産物、廃校、荒廃農地	福祉、健康・医療	就労支援事務所、地元企業	沖縄県今帰仁村	118
47-03	株式会社日本バイオテック	農林水産物（海ぶどう）、景観	食品、観光・旅行、福祉	農林漁業者	沖縄県糸満市	119

01-01

特定非営利活動法人

美しい村・鶴居村観光協会

地域資源：農林水産物、景観
事業分野：加工・販売、観光・旅行
事業主体：農林漁業者、地元企業

○「鶴居村農泊宣言。2600人の小さな村で暮らす旅」をキャッチフレーズに、酪農や乳製品、湿原などの自然環境等を活用し、地域経済や農村の活性化に資する農泊を展開。村内全体が連携し、滞在型観光プログラムを構築。

基本情報

●所在地：北海道鶴居村
●選定表彰：
・令和2年度農林水産大臣賞（豊かなむらづくり表彰事業農林水産祭むらづくり部門）
・第３回「ディスカバー農山漁村の宝」(H28)
・北海道開発局主催「わが村は美しく－北海道」運動第9回コンクール優秀賞
●主力商品・イベント：
・ワーケーションガイドブック
・ガストロノミーツーリズムガイドブック
●活用した支援施策：
・平成29年度農山漁村振興交付金(農泊推進対策)

取組の概要

○「鶴居村農泊宣言」をキャッチフレーズに、釧路湿原やタンチョウ等の自然資源と、主産業の酪農による乳製品等を活かした農泊事業を推進。
○英語HP、SNS、海外現地PR、アフターコロナを見据えたオンライン交流などインバウンドを意識した情報発信。
○滞在型観光促進のためサイクルやフットパスのルート設定、宿泊者に電動アシスト自転車をレンタルするモニター調査を実施。
○ワーケーション等の新たな旅のスタイルとして、「暮らすような旅」や子連れワーケーションによる「旅育」など鶴居ならではの旅のかたちを提案。
○村内事業者と連携して貸別荘などの宿泊者をターゲットに、シカ肉やチーズ等の特産品セットの配達販売を試行。
○地域資源を活用した商品開発や観光PRにより認知度向上や交流人口増加を図り、地域消費の拡大や更なる移住の促進を目指す。

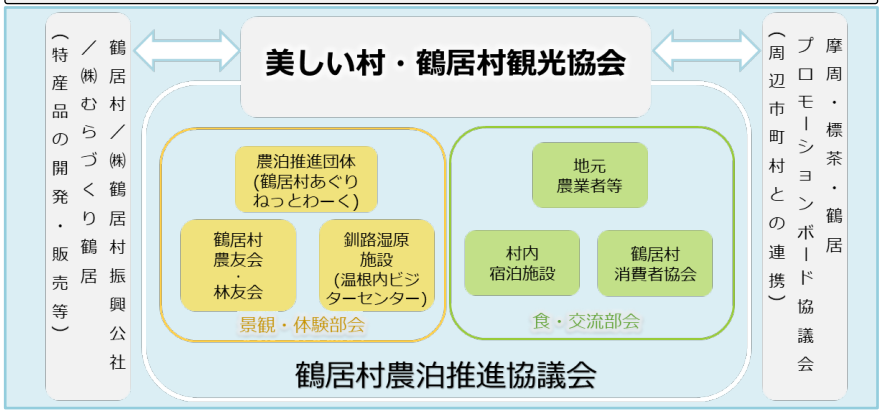


「旅」と「仕事」を楽しむ子連れワーケーションの推進



ジビエ等の地元の食を味わうガストロノミーツーリズム

体制図

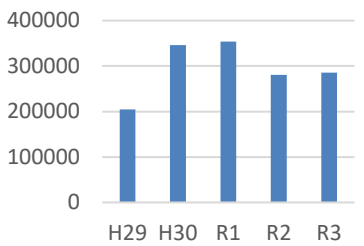


取組の成果

○鶴居村観光入込客数の推移（人）

H29	H30	R1	R2	R3
204,800	346,200	354,100	280,800	285,400

(釧路総合振興局調べ)



○鶴居村総人口の推移（人）

H22	H27	R2
2,627	2,534	2,558

(国勢調査市町村別総人口)

ウェブサイト▶https://tsurui-kanko.com/

この情報は令和5年3月時点のものです

01-02

NPO法人 やくも元気村

地域資源：農林水産物、廃校
事業分野：食品、観光・旅行、福祉
事業主体：農林漁業者、企業、福祉施設、地域おこし協力隊、大学

○人口流出を軽減する「福祉」と関係人口の拡大を目指す「交流」を2本柱として、農産物の収穫などの体験観光事業や廃校を活用した交流拠点の整備等を展開。

基本情報

- 所在地：北海道八雲町

- 選定表彰：
・令和4年度農林水産祭むらづくり部門 農林水産大臣賞

- 主力商品・イベント：
・ホタテ、ネギ、カボチャ等
・体験観光事業

- 活用した支援施策：
・地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業（観光庁）

取組の概要

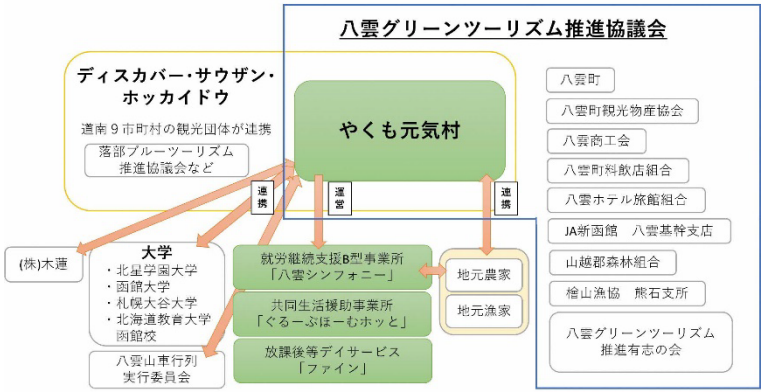
○障害者雇用も活用し、月2千円で毎週その時期に旬な野菜をお任せで届けるサブスクリプションサービスや農漁家への支援作業を実施。
○「八雲グリーンツーリズム推進協議会」の事務局として、農家・漁家と交流や体験活動を行う体験観光事業を実施。
○廃業した銭湯をリノベーションし、カフェ兼ゲストハウス「SENTO」を整備。野菜の直売所や地場産品を使用したカフェを併設。
○町内の廃校をリノベーションし、キャンプ場兼レンタルスペースとして活用。


体験観光（ネギの収穫）


宅配用野菜の搬入


カフェ兼ゲストハウス「SENTO」

体制図



取組の成果

○野菜の宅配・販売事業：約185万円（R4）
○ゲストハウスSENTOの宿泊者数：のべ1,458人（R4）
○移住者：15人

ウェブサイト▶https://yakumo-genkimura.com/

この情報は令和5年6月時点のものです

01-03

オホーツク農山漁村活用体験型ツーリズム推進協議会

地域資源：農林水産物、景観
事業分野：食品、観光・旅行
事業主体：協議会、地域企業

○オホーツクの自然環境、産業と触れ合う新しい旅の形を目指し、地域の様々な関係者と連携した体験コンテンツを創出。また、地域産業ガイドの育成にも力を注いでおり、雇用の創出にも貢献。

基本情報

- 所在地：北海道網走市
- 選定表彰：
  ・第９回「ディスカバー農山漁村の宝」（R4）
- 主力商品・イベント：
  ・体験コンテンツ造成
  ・地域産業ガイドの育成
- 活用した支援施策：
  ・農泊推進対策（H30）
  ・観光庁 インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業（R5）［サイクリングガイド育成、様々なアクティビティーを組み合わせた総合的アドベンチャーツーリズムの造成
  ※連携先の事業者が代表となり受託］

取組の概要

○オホーツクの景観を楽しめるカヤックやサイクリングなどを含めた複合型のアドベンチャーツーリズムや、日本一の産地である玉ねぎの皮を使った染物体験等、充実したアウトドア、インドア体験を提供。
○交流拠点「connectrip（コネクトリップ）」を国定公園内の湖畔に開設。地元の生産者等と連携し、農漁業体験や景観、地元の食材の料理が楽しめる複合型ツアーの造成など、異業種間の連携強化を後押し。
○地域住民を主な対象としたガイド育成講座を開催することで、地域産業を発信できる兼業ガイドを育成し、地域の雇用を創出。
○地域の基幹産業である農漁業に触れる体験学習を市内小中学校に提供実施


漁業者の協力により実現したオホーツク海の流氷カヤック


講習会により育成されたガイドメンバー


体験学習（農家訪問）

体制図

オホーツク農山漁村活用体験型ツーリズム推進協議会が運営するconnectrip（コネクトリップ）組織図

- イベント企画・推進部門：
  ・各種イベントの開催
  ・室内イベントの企画
  ・人材発掘
  ・イベントの許可申請など
- 教育旅行部門：
  ・行政への提案や報告
  ・ガイドとの連携
- 人材育成部門：
  ・ガイド育成（カヤック・サイクリング等）
  ・イベント調整
- 環境整備部門：
  ・国定公園法申請
  ・湖・川・海・河川占有許可申請など
- 情報発信部門：
  ・HP管理
  ・各種OTA入力業務など
  ・チラシ作成
- 営業・経理部門：
  ・補助金関係申請、報告
  ・経理（事業費・補助金）
  ・新規事業営業・商談会など

取組の成果

○アクティビティー体験売上	：31万円（H30）	→ 881万円（R４）
○室内外アクティビティー体験者数	：0人（H29）	→ 1,000人（R４）
○地域産業ガイド	：0人（H29）	→ 23人（R４）
○体験コンテンツ数	：0 （H29）	→ 32 （R４）
○教育旅行・総合学習体験受け入れ	：0 （H29）	→ 610人（R５）

ウェブサイト▶https://connectrip-okhotsk.com/

この情報は令和6年3月時点のものです

01-04

仁木町ワインツーリズム推進協議会

地域資源：農林水産物（ぶどう）、景観
事業分野：食品、観光・旅行、イベント
事業主体：町、観光協会、農業者 等

○北海道有数のワイン産地として、町内のワイナリーを中心としたワインツーリズム推進協議会を設立。体験型プログラム等のコンテンツの整備を図り交流人口の増加を実現。

基本情報

- 所在地：北海道仁木町
- 選定表彰：
  ・第10回「ディスカバー農山漁村の宝」北海道地区選定（R5）
- 主力商品・イベント：
  ・ワイン
  ・ワインイベント（ワイリングウォークフェスNIKI、冬のワインパーティ in NIKI ～仮面葡萄会～）
- 活用した支援施策：
  ・農山漁村振興交付金 農泊推進対策（農泊推進事業）（R4～5）

取組の概要

○ 北海道有数のワイン生産量を活かし、ワインツーリズムによる滞在型観光を創出することを目的に、令和4年に設立。

○ 農泊推進事業を活用し、ブランド戦略の策定、パンフレットやホームページ等のコンテンツ制作、体験型プログラムの計画策定、食事メニューの開発を実施。

○ 町内のワインと産地のＰＲのため、生産者と飲食店が連携した「ワインと地元食材を楽しみながら町内を巡るイベント」や、生産者との交流を通じて「ワインの魅力を深めるイベント」を開催し、交流人口の増加を実現。

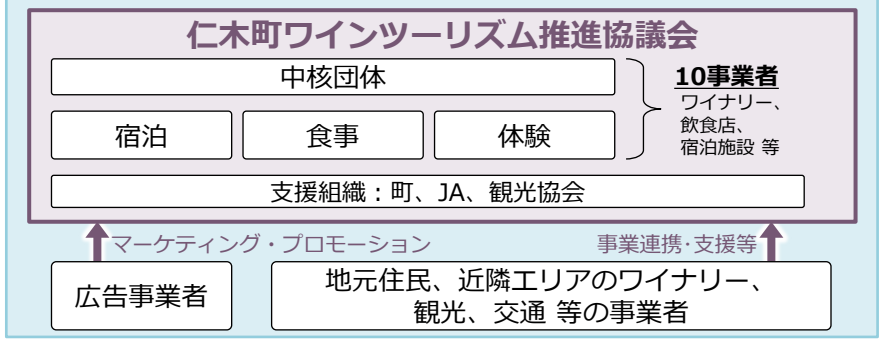


生産者との交流を通じてワインへの魅力を深める「冬のワインパーティ in NIKI ～仮面葡萄会～」



ワインと地元食材のメニューが楽しめる「ワイリングウォークフェスNIKI」

体制図



取組の成果

○ 宿泊の売上*	：約160万円（R1）	→	約1,880万円（R4）
○ 延べ宿泊者数*	：26人（R1）	→	1,411人（R4）
○ イベントの参加者数	：384人（R5）	→	554人（R6）

*印：協議会加盟の宿泊施設の実績

ウェブサイト▶https://niki-wine-tourism.com/

この情報は令和7年6月時点のものです

01-05

株式会社 LocalRevolution

地域資源：農林水産物、加工副産物
事業分野：食品、福祉
事業主体：商品・ブランド開発、農林漁業者

○余剰資源の活用で地域課題解決。マイワシを加工販売し人気商品化、廃棄削減と雇用創出。おからと脱脂粉乳で菓子を開発し低利用食品の価値向上を図る取り組み。地元連携で販路拡大と持続的価値創出を目指す。

基本情報

- 所在地：北海道函館市

- 選定表彰：
・ディスカバー農山漁村の宝（第12回選定）グランプリ
・北海道新技術・新製品開発賞優秀賞（R6）
・食絶景北海道×ゼロカーボンアワード奨励賞受賞（R6）
・コープさっぽろ農業賞交流賞優秀賞受賞（R5）
・北海道新技術・新製品開発賞大賞（R5）

- 主力商品：
・ハコダテアンチョビ
・おまめとみるくに花束を（生フロランタン）

取組の概要

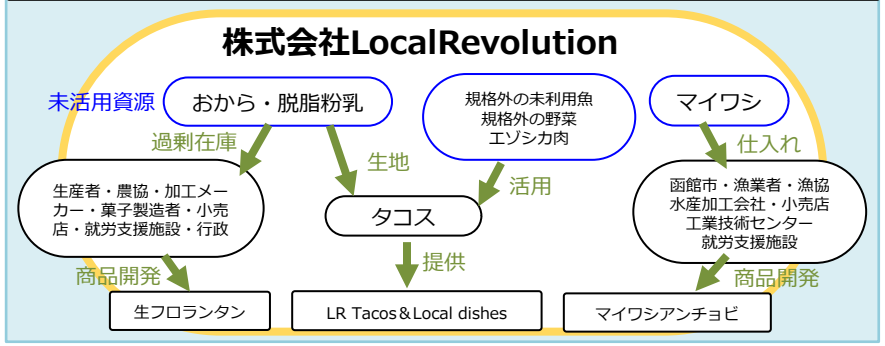
○ 未利用・低利用魚となっているマイワシの価値を高める「ハコダテアンチョビプロジェクト」を始動。函館市、漁業者、水産加工会社、就労支援施設、小売店、工業技術センターなどと官民一体で取り組み、世界初となるマイワシのアンチョビを開発した。
未活用マイワシから、アンチョビ、アンチョビソース、ナンプラーと商品展開した。
令和５年北海道新技術・新製品開発賞大賞、その他多くの賞を受賞している。
○ 栄養価も高いながら低利用である「脱脂粉乳」「おから」を、生産者、農業協同組合、加工メーカー、菓子製造者、就労支援施設、小売店、行政などと連携し、「生フロランタン」として商品化し、令和６年度北海道新技術・新製品開発賞優秀賞を受賞。
○ 函館市に地域課題解決型実店舗「LR Tacos＆Local dishes」では、未活用食材に光を当て、おからや脱脂粉乳のトルティーヤ生地に規格外の未利用魚・エゾシカ肉・規格外の野菜を包んだタコスを提供している。


ハコダテアンチョビプロジェクト


マイワシのアンチョビ


生フロランタン

体制図



取組の成果

○ハコダテアンチョビシリーズの売上
1,000万円（R5）→1,500万円（R6）
○ おまめとみるくに花束を-生フロランタン-の売上
200万円（R5）→400万円（R6）
○ LR Tacos＆Local dishesの売上
180万円（R5）→330万円（R6）

ウェブサイト▶https://localrevolution1127.com/

この情報は令和８年6月時点のものです

01-06

株式会社 えづらファーム

地域資源：農林水産物、景観
事業分野：観光、旅行
事業主体：農場

○白滝地区（人口約450人）で、農泊受入れは年間約1,500人（うちインバウンド6割）、住み込みボランティアは年間約50人を受け入れ、57haの畑作を運営。農業体験や民宿等を通じて交流人口を創出し、地域イベントにも積極参加。

基本情報

- 所在地：北海道遠軽町
- 選定表彰：
  - 「わが村は美しく－北海道」運動 第10回コンクール（R3,4 北海道開発局）：大賞審査委員特別賞
  - 第10回コープさっぽろ農業賞（H29）：優秀新規就農者賞
  - 北海道農業公社　新規就農　優良農業経営者表彰「最優秀賞」（R4）
- 主力商品・イベント：
  - 農業ボランティア、企業研修
    農家民宿、農家レストラン
- 活用した支援施策：
  - 創業補助金（H26）
  - 中小企業等事業再構築補助金事業（R4）
  - 遠軽町企業振興促進制度（R6）

取組の概要

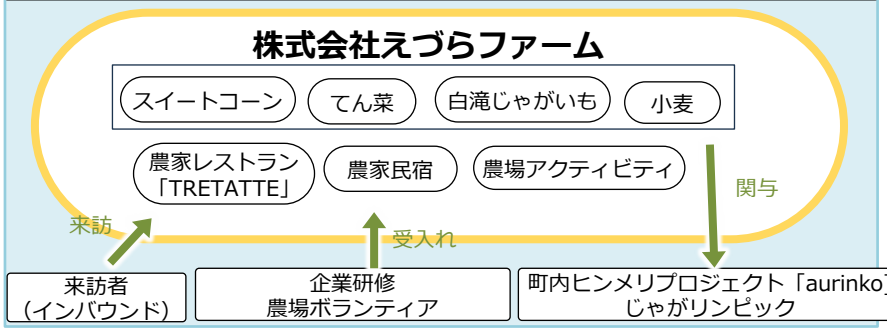
○白滝地区（旧白滝村）の人口約450名（R7）に対して、年間約1,500人（うちインバウンド6割）の農泊受け入れをしている。
○住み込みボランティアは年間約50名を受け入れをしている。
○農作業の住み込みボランティア・企業研修の受入れ、農家民宿・農家レストラン、農場アクティビティの提供で、地域人口以上の交流人口を生み出している。
○白滝じゃが生産部会が実施するジャガイモ料理コンテスト「じゃがリンピック」、えんがるヒンメリの会aurinkoなどに積極的に関与し、地域おこしに取り組んでいる（ヒンメリ：麦わらを使った装飾品）。


農家レストラン「TRETATTE」


農家レストランの料理


農業体験の来訪者

体制図



取組の成果

○農場の売上：約4,500万円（R1）→　約8,500万円（R7）

○宿泊者数：435人（R1）→　1,487人（R7）

ウェブサイト▶https://www.ezurafarm.com/

この情報は令和８年6月時点のものです

01-07

特定非営利活動法人 楽園プロジェクト

地域資源：農林水産物
事業分野：食品、福祉
事業主体：NPO法人（就労継続支援B型事業所）

○「戦力になる農福連携」をテーマに、24時間365日作業受託可能な体制で農作業チームを結成し、平均工賃9.5万円以上を実現、一般就労への移行を推進。冬場には荒廃農地を利用して菌床椎茸栽培を行い、年間を通じた作業を創出。

基本情報

- 所在地：北海道札幌市
- 選定表彰：
  ・ノウフク・アワード2025優秀賞
- 主力商品・イベント：
  ・菌床椎茸
- 活用した支援施策：
  ・農山漁村振興交付金（農福連携対策）（R7）

取組の概要

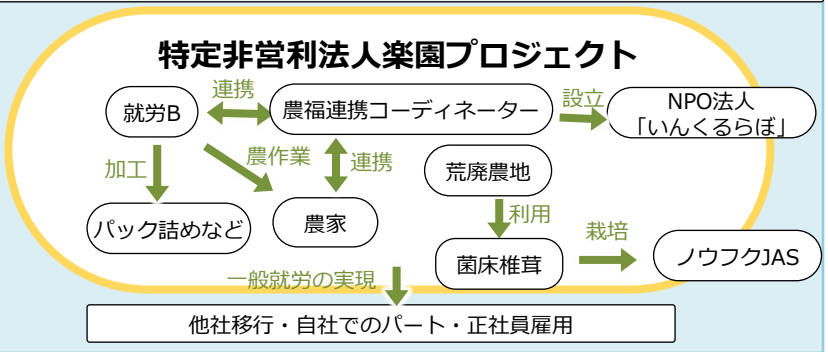
○「戦力になる農福連携」をテーマに、24時間365日作業受託可能な体制を構築し、年間通して約30戸の契約農家から安定した作業受託を実現。就労継続支援B型の利用者からステップアップした職員で結成した「チームグリーン」は少数精鋭で運営され、月額平均工賃9.5万円以上を実現するとともに、一般就労への移行にもつなげている。
○町所有の空き家の交流センターを借用し、障害者福祉を基盤とした取組の強化のための相談窓口として、NPO法人「いんくるらぼ」を設立。
○夏場はきくらげ、路地ではさつまいも、冬場の仕事創出のため、荒廃農地を活用し菌床椎茸を栽培するなど、年間を通じた作業を確保。椎茸でノウフクJASを取得（R6）し、農家との協働による高付加価値化を進め、持続的な事業モデルを構築。


農作業の様子


椎茸の収穫


袋詰め作業

体制図



取組の成果

○ 平均工賃月額：50,000円（R4）→　100,000円（R6）
○ 農作業チームの人数：3人(R4)　→　8人（R6）
○ 菌床椎茸出荷額：100万円（R5）→　200万円（R6）
○ 農地面積：0a（R4）→　2a（R6）
○ 一般就労移行者数：7名（R6）、5名（R7）

ウェブサイト▶https://rakuenproject.com/about_organization/

この情報は令和８年6月時点のものです

02-01

社会福祉法人 誠友会
工房あぐりの里

地域資源：農林水産物
事業分野：食品、観光・旅行、福祉、教育
事業主体：生産者、高校、NPO

○「誰もが地元で安心して暮らし続けられる地域づくり」を目指して、平成20年から本格的に農業生産と６次産業化に着手。観光農園は年間40万人が訪れる県内有数の観光スポットとして、障害者・高齢者の活躍の場として、更には地域の交流拠点として発展。

基本情報

● 所在地：青森県おいらせ町

● 選定表彰：
・ ノウフク・アワード優秀賞（R3）
・ 第７回「ディスカバー農山漁村の宝」コミュニティ部門（R2）
・ 地産地消等優良活動表彰（交流促進部門）農林水産大臣賞（H27）

● 主力商品・イベント：
・ 小麦、キクイモ、イチゴ、南国フルーツ等

● 活用した支援施策：
・ 農山漁村振興交付金（農福連携対策）（R2）

取組の概要

○ 障害者の就労する場として、新鮮な野菜や南国フルーツを栽培できる大規模なハウスや直売所、加工施設、レストラン、圃場等が整備されており、土づくりから苗の植え付け、収穫作業、調理補助や加工作業、動物の世話など職種は多岐にわたる。
○ 1人1人が抱える症状に合わせて仕事内容を調整するなど、自らの能力とペースで仕事をこなし、達成感ややりがいを得ながら働けるよう、農業を含む様々な職種の従事者が障害者とともに働き、支援・連携しながら作業を行っている。


熱帯ハウスのバナナ栽培


バリアフリーのイチゴ高設栽培


野菜加工施設

体制図

【観光農園アグリの里おいらせ】

・株式会社アグリの里おいらせ（農業法人）
・工房あぐりの里（福祉サービス事業所）
・NPO法人平成謝恩会（地域貢献）

⇔

・ふるさとの味研究会（高齢農業者団体）
・地元農業者
・地元公立高校

農作業委託・加工品の共同開発

取組の成果

○平均工賃（B型）：16千円（H22）→ 25千円（R2）
○収穫された小麦の取扱店舗：21店
○関連商品：40種類以上を開発・販売
○商品開発：ピクルス、ドレッシング、ふりかけ、漬物等の全9種類の新商品を開発。

ウェブサイト▶http://agurinosato.jp/index.html

この情報は令和5年3月時点のものです

02-02

有限会社 金子ファーム

地域資源：農林水産物、牧場、南部曲屋育成厩舎
事業分野：畜産、加工・販売、観光・旅行
事業主体：農林漁業者、地元協議会

○循環型畜産、観光牧場、６次産業化の実践により、経営規模の拡大と就労環境の向上を実現し、持続可能な農業を展開。
○南部の馬文化と地域とのつながりを大切にしながら、七戸町の滞在・周遊型観光の拠点として地域振興を推進。

基本情報

● 所在地：青森県七戸町

● 選定表彰：
・全国肉用牛枝肉共励会(第二部)名誉賞（R3）
・第60回全国農業コンクール　農林水産大臣賞受賞（H23）
・全国優良畜産経営管理技術発表会　農林水産大臣賞受賞（H21）

● 主力商品・イベント：
・肉牛
・ふれあい牧場（ジェラート、レストラン等）

● 活用した支援施策：
・６次産業化推進整備事業（H23）
・農山漁村振興交付金(農泊推進対策)（R1）

取組の概要

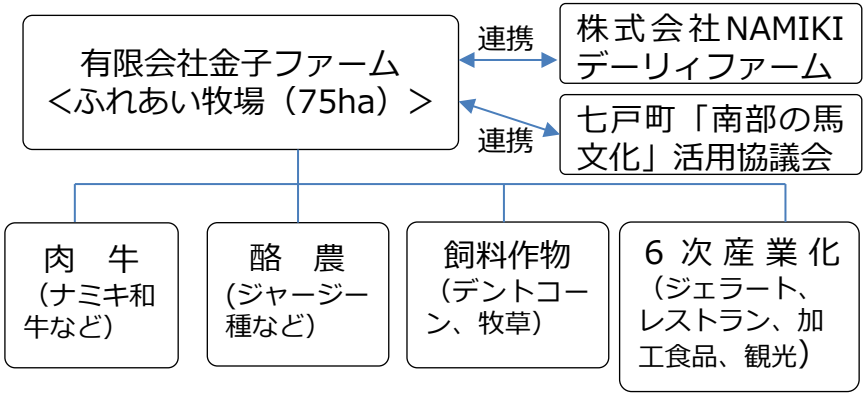
○循環型畜産（牛糞堆肥を肥料に飼料作物を生産等）を実践し、地域の同業者及び農業者とも連携しつつ、オリジナルブランド牛を含む1.5万頭を肥育。
○豊かな社会生活に向け、自然や動物に触れ合える牧場を解放し、手作りのジェラート店、自社牛肉のレストランを整備、地域の歴史的建物である南部曲屋育成厩舎を改修。
○七戸町「南部の馬文化」活用協議会と連携し、自社所有のふれあい牧場を滞在・周遊型観光及びインバウンド対応の観光交流の中核拠点として地域振興を推進。


牧場レストランNARABI
黒毛和牛ステーキ


手作りのジェラート
（ジャージー牛のミルク使用）


七戸の馬文化の記憶を伝える
南部曲屋育成厩舎（登録有形文化財）

体制図



取組の成果

○６次産業化の売上高：２億円（R3）
○雇用機会の創出：30人（R3）
○ふれあい牧場への来場者数：約20万人（R3）

ウェブサイト▶https://www.kaneko-farm.jp/

この情報は令和5年3月時点のものです

02-03

中泊町（なかどまりまち）農産物加工販売施設出荷者協議会

地域資源：農林水産物
事業分野：食品、福祉、医療、イベント
事業主体：直売所、医療･保険団体

○生産者の所得向上を目的として設立された協議会が、生産者への集出荷に関する支援や技術指導、消費者視点での直売所の改善提案により、直売所の来客数と売上の向上を実現。また、移動販売を通じた高齢者への買い物支援や見守りも実施。

基本情報

- 所在地：青森県中泊町
- 選定表彰：
  - ・第８回「ディスカバー農山漁村の宝」（R3）
  - ・農林水産祭（むらづくり部門）内閣総理大臣賞（R6）
- 主力商品・イベント：
  - ・地元農産物
  - ・直売所イベント
- 活用した支援施策：
  - ・（なし）

取組の概要

○ 生産者の販売先の確保と所得向上のために協議会を設立。主要販売拠点である直売所の魅力向上に向け、指定管理者（地元企業）に消費者視点での運営改善を提案。

○ 運転免許を返納した高齢の生産者（出荷者）への支援として、集荷拠点の設置やコミュニティバス活用による出荷体制の整備で直売所の「品揃えを充実」させたほか、生産者への技術指導や出荷ガイドブックによる「商品の品質向上」、「季節ごとのイベント開催」により、直売所の来客数と売上の向上を実現。

○ 医療･保険団体による住民向けの保健相談や健康測定の場をイベントで提供するほか、直売所による生鮮食品や日用品の移動販売を通じ、高齢者への買い物支援や見守りを実施。

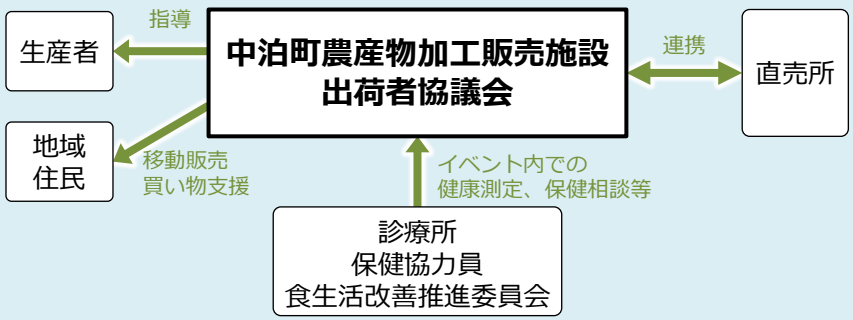


出荷先の直売所「ピュア」


コミュニティバスを活用した出荷


直売所で開催のイベント模様

体制図



取組の成果

○ 直売所の来客数　：約11.6万人（H25）→　約14.9万人（R6）
○ 直売所の販売額　：約１億円（H25）→　約2億円（R6）
○ 直売所の客単価　：923円（H25）→　1,390円（R6）
○ 協議会会員１人当たりの年間販売額：
　約51万円（H28）→　約88万円（R6）
○ 協議会の会員数　：210名（H25）→　245名（R6）

ウェブサイト▶なし

この情報は令和7年6月時点のものです

02-04

タグボート株式会社

地域資源：農林水産物（りんご）、耕作放棄地
事業分野：食品、観光・旅行
事業主体：醸造所、地元りんご農家

○令和3年にりんご果実酒事業を開始、瓶内りんごブランデーを開発。
地元農家と強固に連携し園地再生や高収益契約で地域所得拡大を実現、観光資源化も推進し地域活性化に大きく貢献。

基本情報

- 所在地：青森県平川市
- 選定表彰：
  - ディスカバー農山漁村の宝（第12回選定）
  - 青森県特産品コンクール青森県知事賞（R4年度）
  - ジャパンフードセレクション2025 最高賞グランプリ（R7年度）
  - 東京ウイスキー＆スピリッツ コンペティション　金賞受賞（R8年度）
- 主力商品・イベント：
  - アップルブランデー、シードル
- 活用した支援施策：
  - 事業再構築補助金事業（R３）

取組の概要

○令和３年に国の補助金を活用し、青森県産りんごを使った果実酒事業を開始。日本初の「瓶の中にりんごが入ったブランデー」を開発し、４年間の試験を経て、令和７年から販売。 地元農家と連携し、高品質なりんごの調達・仕込み量を拡大。

○令和７年には高齢化により耕作放棄を予定したりんご園を借り受け、仕込み専用園地として再生。春には仕込み体験、秋は収穫体験など観光商品化へ。

○近隣のりんご農家５軒と、一般卸価格よりも高い報酬で契約し、りんご農家の収益増を実現。りんご農家の所得向上にも寄与。

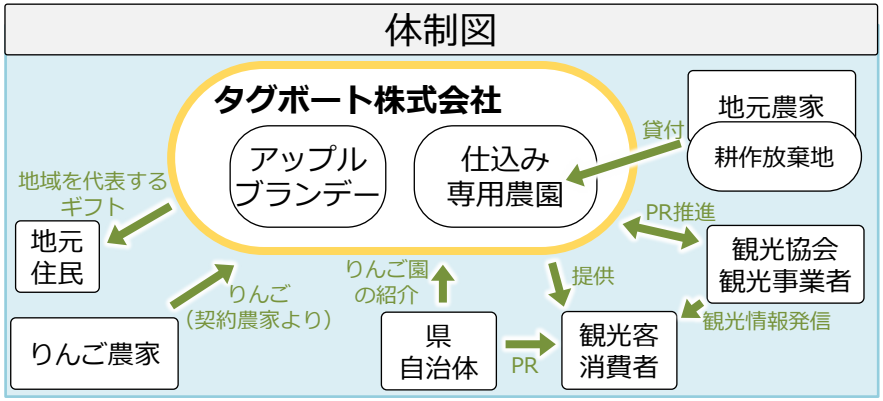


りんごが入ったブランデー


地域と共に再生したりんご園


高品質なりんご

体制図



取組の成果

○ 販売開始から１週間で完売（１個33,000円）
○ 仕込み数は令和７年春に1,000個、令和８年に3,000個を予定
○ 農家５軒と10万円の契約。卸価格の約10倍の高収益を実現
○ 事業４年で売上１億円を突破
○ 近隣30軒以上の農家と安定的に取引し、地域農家の所得向上に寄与
○ 観光事業者や自治体と連携し、ブランド力向上と観光客誘致に貢献

ウェブサイト▶ https://crazydays.jp/　https://crazy-cider.co.jp/

この情報は令和８年6月時点のものです

03-01

ユキノチカラプロジェクト協議会

地域資源：農林水産物、文化
事業分野：食品、観光・旅行、教育、イベント
事業主体：協議会（町内事業者）

○「豪雪」をデザインの力で「魅力」へ変えるという新たなコンセプトの下、西和賀町の地域ブランドを企画運営。
町内事業者、自治体、信用金庫、デザイナー等が連携し、６次化商品の開発やイベントなどを実施。

基本情報

● 所在地：岩手県西和賀町

● 選定表彰：
・第９回「ディスカバー農山漁村の宝」(R4)
ビジネス・イノベーション部門
・2021ふるさと名品オブ・ザ・イヤー
地方創生担当大臣賞

● 主力商品・イベント：
・農産物（米、ワラビ、牛乳、野菜等）加工品
・雪体験ツアー

● 活用した支援施策：
・県立西和賀高校魅力化プログラム

取組の概要

○西和賀町、北上信金、デザイナー等と連携し、地域資源を活用した加工品などの商品開発を行い、ユキノチカラブランドで販売促進、シティプロモーションにも繋げる。
○雪あかりやかんじきトレッキングなど、雪国文化を体験できる「ユキノチカラツアー」を実施し、首都圏等からの誘客。
○地元高校と連携した社会学習プログラム「西和賀高校×ユキノチカラ『魅力発見ラボ』」を実施し、人材育成も含めた地域の課題解決と魅力発信に取り組む。

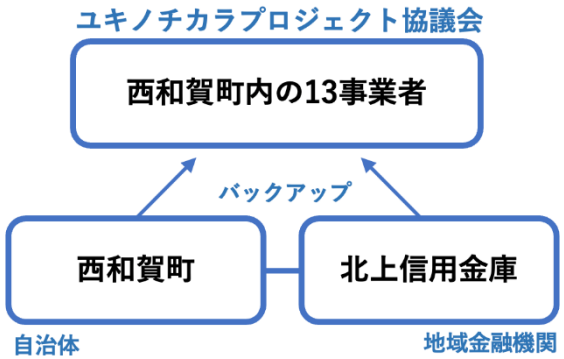

ユキノチカラツアー



ユキノチカラブランド商品群


魅力発見ラボ

体制図



取組の成果

○開発した商品数：13事業者30種類以上

○西和賀町ふるさと納税の企画及びPRを担当し、認知向上に向けた地域ブランド（町内の産業・商品）のプロモーションを開始。（R5～）

ウェブサイト▶https://yukino-chikara.com/

この情報は令和5年6月時点のものです

04-01

気仙沼水産資源活用研究会

地域資源：農林水産物
事業分野：食品、健康・医療
事業主体：市、地元企業、地域おこし協力隊

○豊かな水産資源（フカ・ホヤ等）を活用し、食品から化粧品まで幅広い商品を開発し、「kesemo」としてブランド化。メディアで紹介されるほか小学校テキストへ掲載されることにより同市の水産加工業の認知度が向上。

基本情報

● 所在地：宮城県気仙沼市

● 選定表彰：
・第８回「ディスカバー農山漁村の宝」(R3)
・令和元年度フード・アクション・ニッポン・アワード 入賞

● 主力商品：
・水産加工製品ブランド「kesemo」
（調味料、化粧品、化成品、ペットフード等）

● 活用した支援施策：
・新しい東北事業助成金
・地方創生加速化交付金
・地方創生推進交付金

取組の概要

○地元企業の知恵と思いを結集させ、気仙沼市の豊かな水産資源を活用した水産加工製品ブランド「kesemo」を立ち上げ。機能性食品や調味料、化粧品、化成品、ペットフードなど、市場に左右されない高付加価値でさまざまな領域の加工品を開発。
○フカコラーゲンを使った洗顔料や化粧品、ホヤを使った醤油やソース等の特徴的な新商品の開発、情報発信を実施。
○開発した商品のメディアでの紹介や、全国の小学校で使用されるテキストに掲載されるなど、気仙沼の水産加工業をアピール。
○ホヤドレッシングを学校給食に提供するためにクラウドファンディングを実施。

ブランドネーム「kesemo」の共通ロゴ

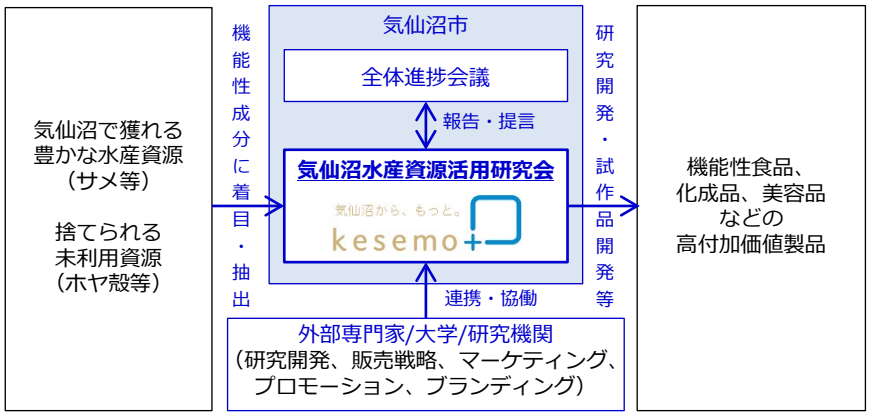


開発商品



イベント等での研究会のPR,商品販売

体制図



取組の成果

○研究会に参加している企業：21社
○特徴的な新商品の開発、情報発信
○開発商品数：17品

ウェブサイト▶https://kesemo.com/

この情報は令和5年3月時点のものです

04-02

蔵王農泊振興協議会

地域資源：文化・歴史、観光地、農林水産物、空き家、荒廃農地
事業分野：食品、観光・旅行、福祉、エネルギー、情報通信
事業主体：地域協議会

○蔵王連峰や温泉などの観光資源に加え、陶芸体験や観光農園などの体験コンテンツを充実させ、空き家を活用した宿泊、地域食材を使った食とパッケージとして「農泊」を提供することで関係人口・交流人口の増加を図る。
さらに、宿泊施設にWi-Fi環境を整備し、テレワークやワーケーションを促進。

基本情報

● 所在地：宮城県蔵王町
● 選定表彰：
・第８回「ディスカバー農山漁村の宝」(R3)
● 主力商品・イベント：
・日本版「アルベルゴ・ディフーゾ」認証
・農泊
観光・体験コンテンツ
宿泊（空き家の活用、Wi-Fi整備）
食（農家レストラン、地域食材を使った弁当、ケータリング）
● 活用した支援施策：
・農山漁村振興交付金（農泊推進対策）

取組の概要

○陶芸体験等、地域の文化・歴史に触れることのできる新たな体験コンテンツの導入、地域の食材を使った新メニュー開発ワークショップの実施など、観光資源を充実。
○コロナ以降はワーケーション、マイクロツーリズム等の新たなターゲットに切り替え、コロナ前よりも観光客が増加。
○廃温泉や木材等の再生可能エネルギーの活用や農福連携にも取り組む。
○宿泊施設等においては障害者や高齢者等、社会的マイノリティを積極的に登用。


空き家を改修した宿泊施設


ワーケーションにも対応


体験コンテンツ（陶芸体験）

体制図

蔵王農泊振興協議会

事務局（中核団体）	宿泊部門	農業の商品化・ブランド化関連	体験プログラム関連	その他
・株式会社ガイア	・NPO法人蔵王町協議会 ・株式会社ガイア	・蔵王夢づくりの会 ・農事組合法人蔵王わくわくファーム ・蔵王福祉の森構想委員会	・蔵王移住相談室 ・蔵王夢づくりの会 ・農業組合法人蔵王わくわくファーム	・蔵王町

取組の成果

○農泊関連売上：500万円（H30）→3億2千万円（R3）→5億円(R4見込)
R4内訳　宿泊・食事等4億円、宿泊者物件購入金額1億円
○宿泊者数：695人（H30）→3万8千人（R3）→4万2千人（R4見込）
○新規雇用者数：18人（R3）20人（R4見込）
○農泊振興協議会が関わる移住相談件数　150人（R4見込）
○農泊振興協議会が関わる移住者数　18組（R4見込）

ウェブサイト▶https://zao-nouhaku.jp/

この情報は令和5年3月時点のものです

04-03

有限会社 伊豆沼農産

地域資源：農畜産物、ラムサール条約湿地
事業分野：食品、観光・旅行、福祉、教育
事業主体：生産者、地域協議会、大学

○「農業を食業に変える」を経営理念に掲げ、米や野菜の生産、養豚と豚肉加工のほか、地域農産品の直売所、農家レストランの運営、食育や観光につながる体験教室、キャンプ場を活用した農泊を実施。

基本情報

● 所在地：宮城県登米市
● 選定表彰：
・第６回「ディスカバー農山漁村の宝」(R1)
・６次産業化アワード食料産業局長賞（R1）
・地産地消等優良活動表彰農林水産大臣賞（R3）
● 主力商品・イベント：
・豚、米、野菜、ブルーベリー
・ウインナー作り体験、交流型ツアー
・キャンプ、オンラインウインナー体験
● 活用した支援施策：
・農山漁村活性化プロジェクト支援交付金
・都市農村共生対流総合対策交付金
・農山漁村振興交付金（農泊推進対策）

取組の概要

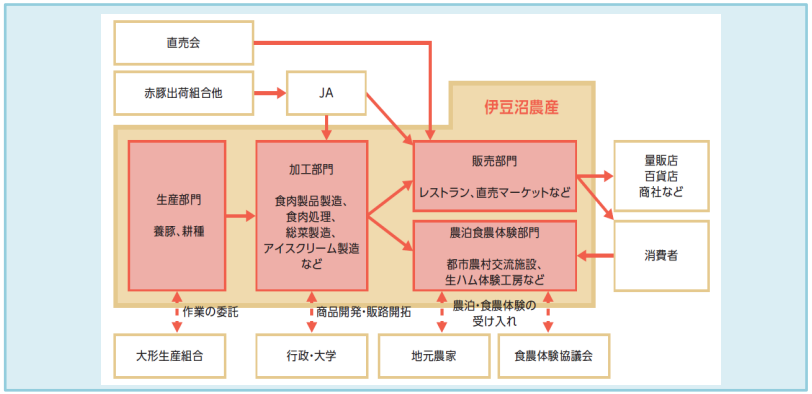
○100戸以上の地元契約農家で構成される「伊豆沼農産直売会」や、地元の養豚家で構成される「伊達の赤豚会」等と連携して生産した農畜産物や加工品を直営の直売所やレストランで販売。
○子どもたちがウインナー作りなどで生産過程を理解できる「食農体験教室」を開校しているほか、自社土地内に３万m²の食農体験ファーム「ラムサール広場」をオープン。
○伊豆沼を訪問した観光客が自然散策や地元農畜産物を使ったバーベキューが楽しめる。地元の高齢者がガイド・受入をする農村体験、オンラインウインナー体験も人気。


豚肉を使ったハム、ソーセージ


直売所「くんぺる」店舗外観


手作りウインナー体験

体制図



取組の成果

○100名以上の地元農家の生産物を直売所で販売し、約4.5億円の売上（R4）
○「食農体験教室」の利用者：年間3,000人超
○キャンプ、オンラインウインナー体験を活用した農泊事業の利用者：年間1,000組超

ウェブサイト▶https://www.izunuma.co.jp/

この情報は令和5年3月時点のものです

04-04

一般社団法人 イシノマキ・ファーム

地域資源：農林水産物
事業分野：食品、観光・旅行、福祉、教育
事業主体：一般社団法人、協議会

○休耕地における農業を心身の不調を抱える者の就労支援の場として活用。農泊事業を通じた就農や定住支援を行うとともに、農福連携による新たな商品開発など、「農を通じた多様な人が豊かに暮らすまちづくり」を目指す。

基本情報

- 所在地：宮城県石巻市
- 選定表彰：
  - ・第3回チャンピオン・オブ・チェンジ日本大賞入賞（R1）
  - ・「新しい東北」復興・創成顕彰（R2）
  - ・ノウフク・アワード2022（R4）
  - ・第10回「ディスカバー農山漁村の宝」(R5)
- 主力商品・イベント：
  - ・ホップ、サツマイモ
  - ・ホップ加工品（クラフトビール等）
  - ・農泊
- 活用した支援施策：
  - ・農山漁村振興交付金（農福連携対策）(R2)

取組の概要

○津波被害等により増えていた休耕地を心身の不調を抱える者の就労支援の場として活用し、ホップやサツマイモを栽培。
○「いしのまきグリーンツーリズム協議会」を設置し、シェアハウスを活用した滞在型農業体験プログラムの提供を通じ、就農や定住を支援。
○自社栽培ホップを使ったクラフトビール、干し芋を製造・販売するほか、市内社会福祉法人と連携してホップソルトを製造・販売することで、農福連携による就労支援に貢献。
○ホップ苗株植えのボランティアイベント、収穫体験ツアー、企業研修受入を実施し、地域活性化に寄与。

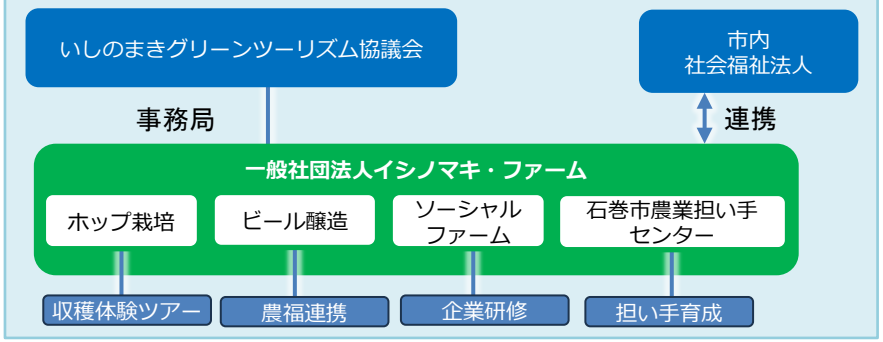

ホップ収穫作業風景


企業研修の様子


農村留学プログラム


巻風干し芋

体制図



取組の成果

○作付面積　：0.2ha（H30）　→　1.1ha（R4）
○就労訓練人数　：22人（H30）　→　135人（R4）
○就農・定住者数：3人（H30）　→　17人（R5）
○加工品等売上高：3百万円（R2）　→　34百万円（R5）
○体験プログラム・企業研修参加者
　：180人（H30）　→　377人（R5）

ウェブサイト▶https://ishinomaki-farm.com

この情報は令和6年3月時点のものです

04-05

南三陸ワイナリー株式会社

地域資源：農林水産物、景観
事業分野：食品、観光・旅行
事業主体：協議会、地域企業

○ワイナリー（醸造所、ショップ、レストラン）を拠点に、ワインツーリズム、収穫祭等のイベントを実施し、震災からの復興、地域の活性化を目指す。

基本情報

- 所在地：宮城県南三陸町
- 選定表彰：
  - 食かけるプライズ2022
  - 日本ワインコンクール2019 奨励賞
  - 第8回サクラアワード2021ゴールド受賞
  - 第9回サクラアワード2022シルバー受賞
  - 第11回サクラアワード2024シルバー受賞
- 主力商品・イベント：
  - ワイン
  - ワインツーリズム
  - 加工食品（ワインに合うオリジナル食品）
  - レストラン
- 活用した支援施策：
  - ブランド化・酒蔵ツーリズム補助金（R4）

取組の概要

○震災後に建設された仮設の水産加工場を令和2年に醸造所として改修し、ワインの生産を開始。
○地元企業と連携した「志津川湾R＆Bクルーズ」（漁場・ワイナリー見学、ランチセット）や、三陸沿岸部のワイナリーと連携した「ワインツーリズムさんりく」に取り組む。
○ブドウ畑での収穫祭、海中熟成のワイン会など、年間を通じ、ワインを起点とした参加者との交流を推進するイベントを定期的に開催。
○漁業体験や農業体験など、町の生産者との交流イベントを定期的に開催。

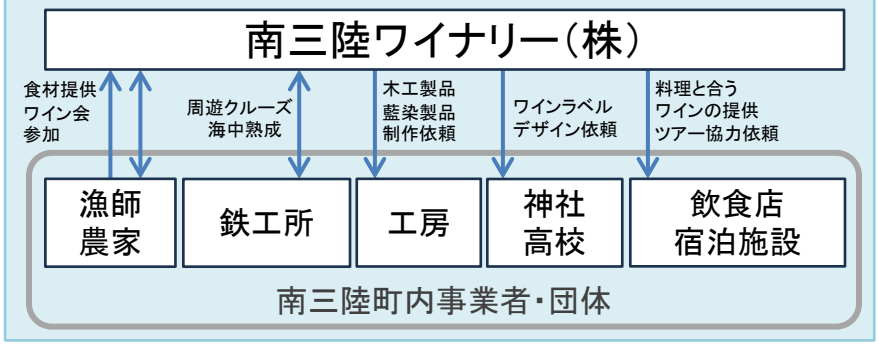


ワインの販売、ランチの提供



海中熟成ワイン

体制図



取組の成果

○売上高	：7.5百万円（R1）	→ 48百万円（R5）
○雇用	：2名（R1）	→ 7名（R5）
○ワイナリーツアー参加者	：0名（R1）	→ 150名（R5）
○ワイナリーイベント参加者	：50名（R1）	→ 200名（R5）

ウェブサイト▶https://www.msr-wine.com/

この情報は令和6年3月時点のものです

04-06

入谷の里山活性化協議会

地域資源：里山、古民家、農林業、伝統工芸、廃校
事業分野：観光・旅行、教育、アウトドア、イベント
事業主体：協議会、直売所、工房、農家、自治体

○震災時に沿岸支援のハブとなった南三陸町入谷地区のつながりから6団体が協議会を結成し、農泊事業を推進。
○体験型プログラムや農泊モニターを通じ「学び・滞在・仕事が循環する地域モデル」を実証。

基本情報

- 所在地：宮城県南三陸町
- 選定表彰：
  ・令和７年度農林水産祭（むらづくり部門）天皇杯
- 主力商品・イベント：
  ・食の提供（郷土料理、里山ランチ、竹皮弁当）
  ・農林水産業体験（果樹・野菜収穫・芋掘・漁業等）
  ・モノづくり体験（繭細工、木育、ミニ盆栽等）
  ・まつり（ひころの里秋まつり等）
  ・サウナ、座禅、自然観察、農泊、教育旅行、
  探求学習プログラム　等
- 活用した支援施策：
  ・農山漁村振興交付金（農泊推進対策）（R3～R4）
  ・農山漁村振興交付金（地域活性化型）（R8～R9）

●地域づくりの合言葉
「むらづくり、ちょっと面白いかも。」

取組の概要

○地域づくり勉強会＆人材育成
・各種講習やワークショップ、読書会の実施
・里山文化交流事業（落語会・映画会・演劇会）

○地場産食材を活用した所持の提供
・地場産80%食材を使用した里山ランチの開発等
・桑の葉パウダー食品開発（5種類）

○体験プログラムの開発
・農林体験、モノづくり体験、食の体験等

○学びが循環するむら構想
・資源を活かし、学び・滞在・仕事が循環する地域モデルの構築

今後の事業展開「入谷 里山の学びと滞在事業」
「学びが循環するむら構想」に基づき、入谷の里山を
「学び・交流・実践の場」として開き、次の取組を進める。

1.滞在交流・関係人口づくり
農業・宿泊・体験を通じた短期滞在を、再訪・長期滞在・移住相談へつなげる。

2.教育・研修・探究学習
学校・大学・企業向けに、里山の暮らしや地域課題を学ぶプログラムを展開する。

3.創作・発信活動
滞在型の創作活動を促し、成果を地域の魅力発信・教材・展示等に活用する。

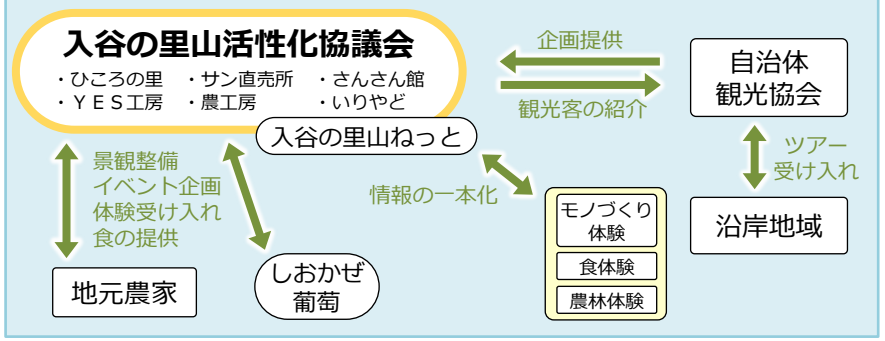
4.循環するむらづくり
「学ぶ・つくる・験す・根づく」の循環により、地域の人の活躍と持続的な交流を育てる。


入谷地区の風景


インバウンド対応体験プログラム


里山ランチ

体制図



取組の成果

～地域が一体となり、人が集まる場・共感する場づくり、小さな実践を重ねる～

・宿泊客数	令和２年	4,620名	→ 令和７年	8,210名
・食事数	令和２年	7,000食	→ 令和７年	13,000食
・体験受入数	令和２年	1,500名	→ 令和７年	4,500名
・イベント参加者数	令和２年	500名	→ 令和７年	4,000名
・サン直売所売上	令和２年	10,500千円	→ 令和７年	15,000千円
・研修事業受入数	令和２年	1,000名	→ 令和７年	2,707名

※令和2年はコロナ禍の影響あり

ウェブサイト▶https://iriyanosatoyama.com/

この情報は令和８年6月時点のものです

05-01

Pilz株式会社

地域資源：農林水産物
事業分野：食品、昆虫
事業主体：農林漁業者、市、JA

○秋田県内の広葉樹を原料とした椎茸を生産。廃棄される菌床を加工したカブトムシ飼育事業や、カブトムシの排泄物を肥料として活用したホウレンソウ生産事業を展開するなど、地域資源を活用したサーキュラーエコノミーを確立。

基本情報

- 所在地：秋田県横手市
- 選定表彰：
  ・秋田県種苗交換会 壱等賞・秋田県知事賞及び秋田県市長会会長賞（R4）
- 主力商品・イベント：
  ・農林水産物（椎茸、ほうれん草等）
  ・菌床
  ・昆虫（カブトムシ、クワガタムシ）
- 活用した支援施策：
  ・産地パワーアップ事業（R1）

取組の概要

○日本一美味しい椎茸づくりを目指し、菌床製造から一貫して椎茸を生産。菌床の材料には秋田県内の広葉樹のみを使用し、地下からくみ上げる深層水を用いて徹底した温度・湿度管理を実施。
○廃棄となる菌床を加工し、カブトムシの幼虫の餌として販売するとともに、自社飼育したヘラクレスオオカブトを販売。幼虫の飼育セットは、横手市のふるさと納税返礼品として採用。
○幼虫の成長過程で排出される排泄物を有機肥料に加工し、市内の大規模園芸団地と連携し、ホウレンソウ等の野菜生産に活用。

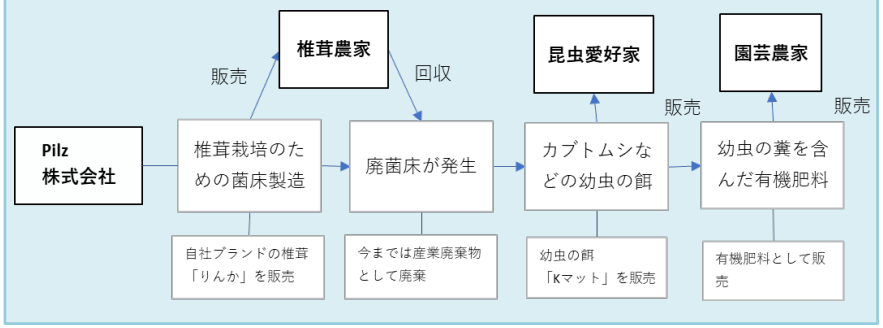

菌床椎茸「鱗花（りんか）」


ヘラクレスオオカブト



ホウレンソウ

体制図



取組の成果

○売上　：0.2億円（R3）→　1.6億円（R4）
　うち　農林水産物等　0.2億円（R3）→　1.3億円（R4）
　　菌床　0億円（R3）→　0.2億円（R4）
　　昆虫　0億円（R3）→　0.2億円（R4）

○雇用：15人（R3）→　20人（R4）

ウェブサイト▶https://pilz-corp.com/

この情報は令和6年3月時点のものです

06-01

グループ農夫（のうふ）の会

地域資源：農林水産物、棚田
事業分野：食品、観光・旅行、イベント
事業主体：団体、町、企業

○高齢化が進む地域で棚田を再生するために、複数の組織が協定を結び活動を開始。棚田米のブランド化により作付けを年々拡大するとともに、地域企業等と連携したイベント活動の実施を通じて、地域のにぎわいと人の交流を創出。

基本情報

- 所在地：山形県山辺町
- 選定表彰：
  - ・第８回「ディスカバー農山漁村の宝」（R3）
  - ・日本の棚田百選、つなぐ棚田遺産（農林水産省）
- 主力商品・イベント：
  - ・棚田米
  - ・農作業体験
  - ・スポーツ、音楽イベント
- 活用した支援施策：
  - ・中山間直接支払交付金（H23）
  - ・多面的機能支払交付金（H29）
  - ・中山間ふるさと・水と土保全推進事業（棚田基金）（R4）

取組の概要

○日本の棚田百選にも選ばれた「大蕨（おおわらび）の棚田」を再生し、地域の活性化を図るため、平成23年にプロジェクトをスタート。
○地元の生産者組織が中心となり、田植えや稲刈り、稲杭掛け（いねくいがけ）等の作業を請け負う一方、地元企業、JA、大学が、コンサートやライトアップイベントなど、棚田を活用した交流イベント等を実施。
○昔ながらの刈り取った稲を自然乾燥して生産する「大蕨棚田米」は、 ハレの日に食べる米としてブランドイメージが定着しつつあり、カタログギフトの商品としても採用。「モンテ棚田米」、「山響（やまきょう）棚田米」のコラボ商品も展開。

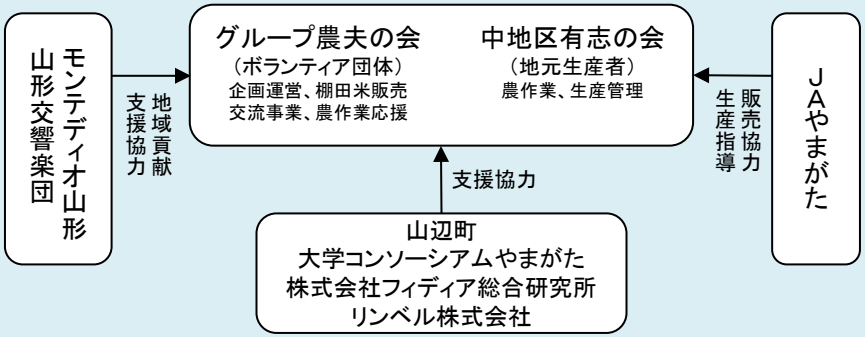

棚田コンサート/山形交響楽団


棚田米稲刈り



大蕨棚田米、モンテ棚田米、山響棚田米

体制図



取組の成果

○耕作面積	：0.4ha（H23）	→	2.6ha（R5）
○棚田米生産量	：1.9t（H23）	→	8.6t（R5）
○グループ農夫の会会員数	：61人（H28）	→	98人（R5）
○オリジナル商品販売数	：868袋（H23）	→	4,656袋（R5）
○コンサート来場者数	：55人（H29）	→	120（R5）

ウェブサイト▶https://www.group-nofunokai.jp/index.html

この情報は令和6年3月時点のものです

07-01

有限会社 まるせい果樹園

地域資源：農林水産物、景観
事業分野：食品、観光・旅行、イベント
事業主体：農林漁業者、メディア、地元企業

○直売所、旬の果物をスイーツとして提供する農家カフェを運営するとともに、夜間の来客誘致に向け、メディア等と連携した「夜の果樹園」イベントを実施し、売上げ増や雇用の創出を実現。

基本情報

- 所在地：福島県福島市
- 選定表彰：
  - ・未来につながる持続可能な農業推進コンクール生産局長賞（R3）
- 主力商品・イベント：
  - ・果物狩り（さくらんぼ、もも、りんご、ぶどう、なし等）
  - ・果物加工品（リンゴジュース、あんぽ柿）
  - ・農家カフェ（森のガーデン）
  - ・夜の果樹園
- 活用した支援施策：
  - ・福島県地域産業６次化新商品加工支援事業施設整備（H26）

取組の概要

○40品種以上の果樹を生産し、直売所、観光果樹園を運営するほか、生産した旬の果物を提供する農家カフェを経営。
○GAP認証の取得により、果物の安全性と品質向上、環境への配慮を消費者へアピール。
○夜間の来客誘致に向け、メディアや写真家、パティシエ等の地元企業からなる「夜の果樹園実行委員会」を立ち上げ、ライトアップされたリンゴ園において、フルートやピアノの生演奏をする中、果物狩り体験や地域食材を使った料理やフルーツを使ったオリジナルカクテルを提供し、来場者の五感に訴える「夜の果樹園」（数日限定）を実施。


もも狩り


自家製もものパフェ


夜の果樹園

体制図

（有）まるせい果樹園

生産部門 | カフェ部門 | 観光果樹園

夜の果樹園

福島市観光コンベンション協会

取組の成果

○売上　：0.75億円（H26）→ 1.6億円（R5）
　うち　農家カフェ　100万円（H28）→ 3,500万円（R5）
　　ももパフェ１日最高提供数　約800杯（R5）

○夜の果樹園来客者数　：70人（H30）→ 350人（R5）
○雇用者数　：14人（H26）→ 25人（R1）

ウェブサイト▶https://www.maruseifukushima.com/

この情報は令和6年3月時点のものです

07-02

合同会社 ねっか

地域資源：農林水産物（米）
事業分野：食品、体験・イベント
事業主体：地元生産者、協議会

○地域の米生産の振興を目的に、地元農業者と組織する協議会で生産した米を原料とする焼酎等を製造・販売。冬季でも作業可能な酒造を組み込むことにより通年雇用を実現し、Uターン・Iターン者を含む新規雇用を創出。

基本情報

- 所在地：福島県只見町
- 選定表彰：
  - ・第11回「ディスカバー農山漁村の宝」特別賞（R6）
  - ・日本農業賞 食の懸け橋部門 特別賞（R4）
  - ・６次産業化アワード 食料産業局長賞 (R2)
- 主力商品・イベント：
  - ・酒類（米焼酎、日本酒(輸出用) 等）
  - ・米や焼酎の生産体験/見学
- 活用した支援施策：
  - ・ものづくり補助金（R4）（経済産業省）
  - ・フロンティア補助金（R4）（国税庁）
  - ・中山間地域所得向上支援事業（R2）（福島県）

取組の概要

○ 地域の米生産を支えるため、平成28年に農業法人4社を構成員とした合同会社ねっかを設立。特産品焼酎製造免許や輸出用清酒製造免許を取得し、酒類を製造、国内外で販売。

○ 地元産酒米の安定供給のため、同社と地元5農家による只見米ブランド協議会を設立し、JGAP認証取得の圃場で酒米を栽培。

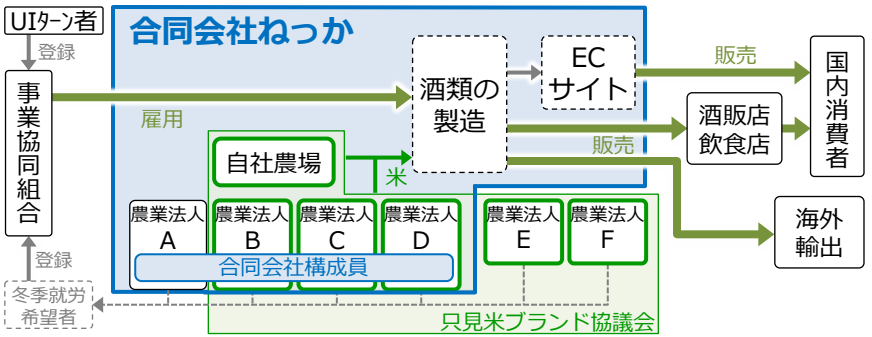
○ 冬季でも作業可能な酒造を組み込むことにより通年雇用を実現し、地元農業者やUターン・Iターン者の雇用を創出。


酒米の圃場と創設メンバー


地元産酒米を使用した米焼酎「ねっか」


通年雇用を可能にした酒造場

体制図



取組の成果

○ 酒類の売上	：約45百万円（R1）	→	約86百万円（R5）
○ 雇用の創出	：1人（H29）	→	15人（R6）
○ 体験・イベント参加者数	：0人（H29）	→	350人（R6）
○ 関連圃場の面積	：40ha（H29）	→	200ha（R6）
○ JGAP認証圃場で生産の米	：50t（H30）	→	80t（R6）

ウェブサイト▶https://nekka.jp/

この情報は令和6年8月時点のものです

08-01

株式会社 なめがたしろはとファーム

地域資源：農林水産物、景観
事業分野：食品、観光・旅行、アウトドア
事業主体：農林漁業者、地元企業

○食品メーカーの農業参入により53haのほ場でかんしょを生産し、菓子加工や飲食店等での販売を実施。
○廃校も利用した体験型農業のテーマパーク「らぽっぽ なめがたファーマーズヴィレッジ」は観光客増、雇用創出に貢献。

基本情報

● 所在地：茨城県行方市

● 選定表彰：
・第56回農林水産祭天皇杯（H29）
・関東農政局ディスカバー農山漁村の宝 優良事例選定（R1）

● 主力商品・イベント：
・かんしょの加工品
・農業体験イベント・食育

● 活用した支援施策：
・食品産業の輸出向けHACCP等対応施設整備事業（R2）

取組の概要

○１年中季節ごとに楽しめる農業体験型のテーマパークで、地産地消のレストランやマルシェ、「焼き芋ファクトリーミュージアム」による食農教育等のほか、景観を活かし、自然と触れ合えるグランピングを展開。

○地元JAや生産者、行方市や鹿島アントラーズと連携した農業体験・観光誘致を実施。


かんしょの加工品


ファームグランピング


農業体験イベントの様子

体制図

(株)なめがた しろはとファーム
連携
地元JA　生産者　行方市
鹿島アントラーズ

- ６次化茨城生産製造Division
- ６次化ファーム トゥーザテーブル（営業部門）
- ６次化ファーム トゥーザ農業Division（農業実践部門）

取組の成果

○従業員：正社員50名の他に、多様な人材からなる地域社員とパート社員を雇用することで、新たな雇用機会を創出。R4は100名。
○来場者数：15万人（H27）→28万人（R1）（週6日営業）
現在はコロナ対策のため、土日祝のみの営業

ウェブサイト▶https://www.namegata-fv.jp/

この情報は令和5年3月時点のものです

08-02

株式会社 かすみがうら未来づくりカンパニー

地域資源：農林水産物、景観、古民家
事業分野：食品、観光・旅行、アウトドア
事業主体：地元企業、市

○古民家を活用した宿泊施設やビール醸造所、地産地消のカフェを運営するとともに、農産物の収穫とサイクリングを組み合わせた体験観光事業を実施することにより、地域における新たな価値の創造と関係人口の創出を実現。

基本情報

- 所在地：茨城県かすみがうら市
- 選定表彰：
  - ・第10回「ディスカバー農山漁村の宝」(R5)
  - ・新しいいばらきづくり表彰（R3）
- 主力商品・イベント：
  - ・古民家を活用した農泊
  - ・地元食材を活用した料理の提供
  - ・クラフトビールの醸造
  - ・農業収穫体験
  - ・サイクリング
- 活用した支援施策：
  - ・農山漁村振興交付金（農泊推進対策）(R2)
  - ・ものづくり補助金（R1）

取組の概要

○空き家だった築110年の元造り酒屋を改修したゲストハウス「古民家江口屋」を運営。
○宿泊者には、地元食材料理や、地酒・自家製クラフトビールを提供。また、インバウンド向けには、サイクリング&レンコン掘り体験や、霞ヶ浦産の天然うなぎ料理を提供するなど、地域資源を活用した農泊体験プログラムを実施。
○畔（ほとり）の駅コハン（かすみがうら市交流センター）を運営し、霞ヶ浦産の鯉や白魚等を使った「地産地消とヘルシー」をコンセプトとした料理、季節の果物で作るスイーツを提供するほか、レンタサイクル、イチゴやぶどうの収穫体験と名所を巡るサイクリングを組み合わせた体験観光事業等を運営。


古民家江口屋


レンコン堀り体験


サイクリングの様子

体制図

（株）かすみがうら未来づくりカンパニー

宿泊	食事	体験	その他
・古民家江口屋	・古民家江口屋 ・畔の駅コハン	・サイクリング ・農業収穫体験 ・ビール醸造所見学	・かすみがうら市

取組の成果

○古民家を活用した農泊事業
- ・売上　：540万円（R2）　→　1,150万円（R4）
- ・宿泊者数　：480人（R2）　→　1,140人（R4）

○畔の駅コハン（かすみがうら市交流センター）事業
- ・売上　：4,000万円（H30）→　5,140万円（R4）
- ・来場者数　：3.1万人（H30）　→　3.5万人（R4）

ウェブサイト▶https://kasumigaura.miraidukuri.jp/

この情報は令和6年3月時点のものです

08-03

株式会社 アドバンフォース

地域資源：農林水産物（栗）、廃校
事業分野：食品、福祉、イベント
事業主体：福祉事務所、 農業改良普及センター

○栗やサツマイモの栽培と６次産業化の取組を通じて、季節ごとの労働力の偏りを平準化し、障害者が年間を通じて作業できる場を提供。また、加工施設やカフェを整備した廃校でイベントを開催し、県内外からの来訪者を誘致。

基本情報

- 所在地：茨城県笠間市
- 選定表彰：
  - ・優良ふるさと食品中央コンクール表彰 国産農林産品利用部門 農林水産省大臣官房長賞（R5）
  - ・いばらき農の６次化商品コンテスト特別賞（R5）
- 主力商品・イベント：
  - ・栗商品（栗ペースト、モンブラン）
- 活用した支援施策：
  - ・ものづくり補助金（R5）（経済産業省）
  - ・日本一の栗産地づくり推進補助事業（R3～4）（笠間市）

取組の概要

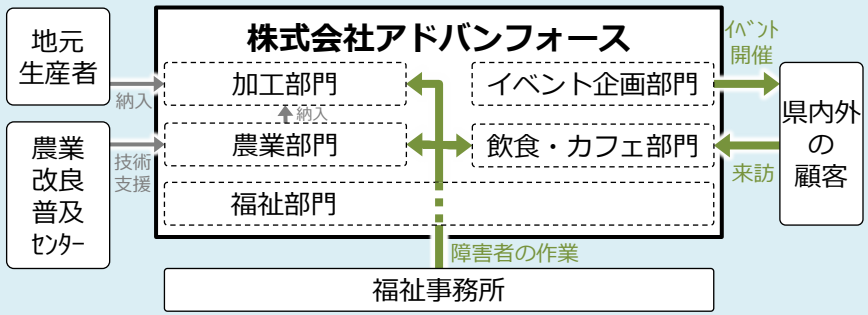
○ 福祉事業を通じた地域活性化に取り組む中で、業務の細分化が可能な農業と障害者作業との親和性に着目し、平成29年に農業へ参入。
○ 農業改良普及センターの技術支援を受けながら栗やサツマイモを栽培するとともに、農閑期に加工作業を行うことで労働力の平準化を実現。
○ 廃校を利用して農産物加工施設やカフェを整備し、イベントを企画・開催。廃校が地域のシンボルとなり、県内外から来訪者を誘致。
○ ６次産業化で農産物の付加価値を高めることにより、障害者の工賃向上を実現。
○ 加工原料に地元生産者の栗も使用することで、地域経済にも貢献。


栗の圃場


栗のスイーツ


廃校でのイベントの様子

体制図



取組の成果

○ 年間栗収穫量　　：0t（H29）　→ 10t（R6）
○ 栗ペーストの製造　：0t（H29）　→ 25t（R6）
○ カフェの年間利用者数：0人（R4）　→ 約2万人（R6）
○ 従事する障害者数　：平均6人/日（R4）　→ 平均9人/日（R6）
○ 障害者の平均工賃（就労継続支援Ａ型事業所）：
76,430円/月（R4）→ 83,102円/月（R6）

ウェブサイト▶https://www.advanforce.co.jp/

この情報は令和7年6月時点のものです

08-04

農業法人 深作農園有限会社

地域資源：農林水産物（メロン、いちご、さつまいも）
事業分野：食品、観光・旅行、イベント
事業主体：農林漁業者

○深作農園は100年以上続く農家で、自家製堆肥の循環型農法によりメロンやいちごを栽培。
体験型施設や直売で集客し、売上や来園者数が増加、地域活性化と女性中心の雇用拡大に貢献している。

基本情報

- 所在地：茨城県鉾田市
- 選定表彰：
・ディスカバー農山漁村の宝（第12回選定）優秀賞（個人部門）
・第61回農林水産祭　内閣総理大臣賞（R4）
・第51回日本農業賞　大賞（R4）
・新しいいばらきづくり表彰（R5）
・日本さつまいもサミット殿堂入り第一号（R7）
・第１５回日本でいちばん大切にしたい会社大賞 審査委員会特別賞（R7）
- 主力商品・イベント：
・メロン、いちご、農家カフェ、バウムクーヘン等スイーツ
- 活用した支援施策：
・ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金（第21次公募）

取組の概要

○深作農園は100年以上前から６代続く農家で、自家製堆肥を使った循環型農法でメロンやいちごを長年連作している。農業生産に加え、果物狩りやスイーツの体験型テーマパークを作って地域を盛り上げている。

○土壌中の善玉菌を活かした農法に、自然農法や有機栽培を融合させた「深作農法」を確立し、栄養価の高い作物の生産を行っている。また、ハウスの自動開閉システムや灌水（かんすい）システム、ICTセンサーを使ったほ場や生育の管理など、ICTやデジタル技術の導入による生産の効率化や省力化も図っている。

○自社直売所の運営や通信販売、イチゴ狩り・メロン狩り、深作農園の農産物を原材料としたスイーツ等の加工・販売、バウムクーヘン専門店や農家カフェの運営などに取り組むとともに、来園が難しい近年の状況を踏まえ、新たなサービスや商品の提供も積極的に行っている。

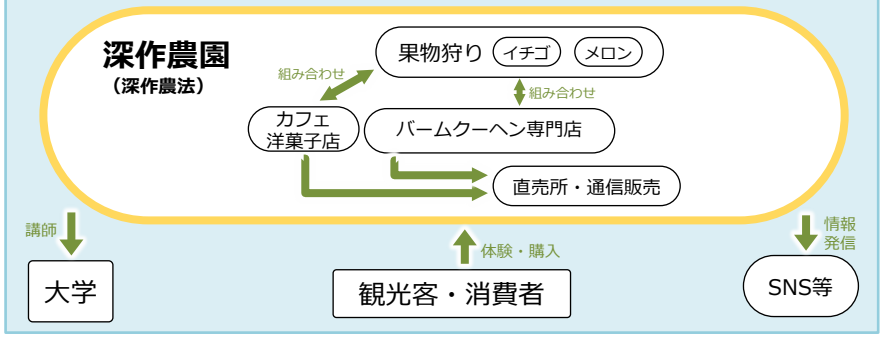
○社員の80%を女性が占め、各部門で女性が店長やリーダーを務めている。女性従業員専用の更衣室、休憩室を整備するほか、育児休暇など、出産・育児後も安心して働ける女性のライフイベントを考慮した社内制度を整備している。


深作農園のイチゴ


深作農法による土づくり


こだわりのバウムクーヘン

体制図



取組の成果

○6次産業化の売上　令和元年から令和 6 年で約 1.47 倍に増加
○いちご狩り年間来園者数　２万人　→　４万人以上
※直売や時間無制限のいちご狩りなど多彩なサービス
○従業員数は令和 ８年時点で42人、そのうち女性は約 80%の34人
※地域の雇用拡大と女性活躍推進に大きく貢献

ウェブサイト▶https://fukasaku.com/

この情報は令和８年6月時点のものです

09-01

稲作本店

地域資源：農林水産物、田んぼ
事業分野：食品、観光・旅行、教育
事業主体：生産者、商工業者、観光事業者、NPO

○「米を作るな、未来を創れ！」の理念の下、地元小学生の職業体験や出前講座に積極的に取り組むとともに、米や加工品を多数販売する。また、「開かれた田んぼ」を目指し、SNSやクラウドファンディングを活用した「田んぼでカフェ」や「田んぼでCAMP」の開催、農業体験プログラムの実施など、ネットとリアルを融合させた取組を行う。

基本情報

● 所在地：栃木県那須町

● 選定表彰：
・ 地産地消等優良活動表彰全国地産地消推進協議会会長賞（R3）
・ 第９回「ディスカバー農山漁村の宝」（R4）

● 主力商品・イベント：
・ 米及び米加工品
・ 田んぼでカフェ
・ 田んぼでCAMP

● 活用した支援施策：
・ 小規模事業持続化補助金（中小企業庁）
・ クラウドファンディング（campfire）

取組の概要

○田植え・稲刈りなど地元小学校の体験授業のサポートや田んぼに関わる循環型農業の出前授業の実施、地元ホテルやNPOと連携した農業体験も企画・開催。
○米を使った自家製商品の開発・販売を積極的に行っており、ポン菓子「イナポン」のほか、米粉ワッフル、甘酒等の商品化を行う。
○SNSやクラウドファンディングを活用して、田んぼの風景や重要性を情報発信するとともに、「田んぼでカフェ」や「田んぼでCAMP」を開催し、消費者と農業の懸け橋となっている。

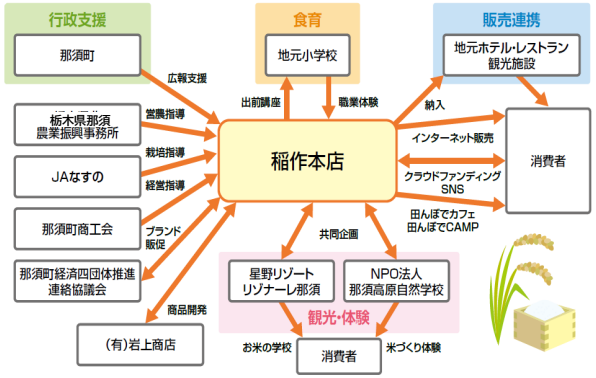

小学校の田植え体験事業



プレミアムポン菓子「イナポン」


田んぼでカフェ

体制図



取組の成果

○小学校の体験学習や田んぼカフェ、CAMPなど集客数　200人/年間
○就農後の3年間で、米の直売　取扱数量７倍、金額14倍
　　売上1,500万円増加
○Twitterのフォロワー数　約1万人獲得

ウェブサイト▶https://farm1739.com/

この情報は令和5年3月時点のものです

09-02

株式会社 いちごの里ファーム

地域資源：農林水産物
事業分野：食品、観光・旅行、福祉
事業主体：生産者、社会福祉法人

○平成11年に会社を設立。いちごの観光資源化を目指しいちご狩りを開始し、未収穫分は加工販売のほかレストランやカフェも併設し６次化を推進。さらに、就労継続支援事業所を開設し農福連携にも取り組む。

基本情報

● 所在地：栃木県小山市

● 選定表彰：
・第８回「ディスカバー農山漁村の宝」(R3)
・第41回プロが選ぶ観光食事土産物施設100 第3位（R3）

● 主力商品・イベント：
・果物狩り（いちご、桃、さくらんぼ、ブルーベリー、ぶどう等）
・果物加工品（ジャム、ケーキ等）

● 活用した支援施策：
・栃木県ものづくり補助金　他

取組の概要

○地元の野菜やいちごを使ったケーキ等を販売する直売所や、それらを提供するカフェやレストランを併設。
○社会福祉法人「めぶき会」により障害者を雇用し、観光農園のほか、いちご加工品「王さまいちごゼリー」の販売等に従事。
○平成30年にJGAP認証を取得し、食品の安全、環境保全、人権と福祉などへの配慮に取り組むとともに、継続的な取組とするため農場担当者４名がJGAP指導員資格を取得。



いちご狩り

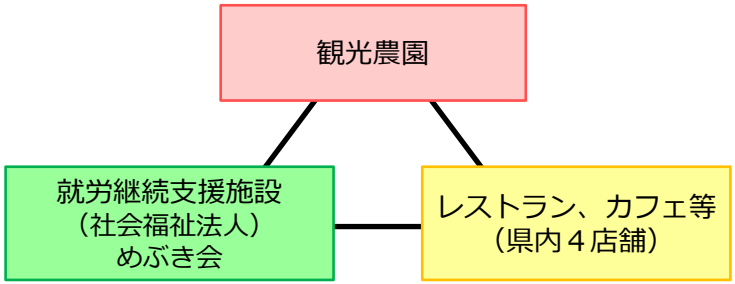


農福連携で働く従業員と「王さまいちごゼリー」



自社製いちごを使用した６次化商品

体制図



取組の成果

○農産物、６次化商品の売上：4.2億円（H20）→ 8.8億円（R3）
○雇用者数：134名（R3）
○障害者雇用数： 58名（R3）
○来客者数：年間約30万人（R3）

ウェブサイト▶https://www.itigo.co.jp/

この情報は令和5年3月時点のものです

09-03

株式会社 ワカヤマファーム

地域資源：農林水産物、竹林
事業分野：食品、観光・旅行、アウトドア、イベント
事業主体：生産者、地元企業

○ 宇都宮北部に24haの圃場を有し、竹、タケノコ、栗を栽培しつつ、その管理された竹林を観光資源として一般開放
○ 竹林の美しさから、栃木県・宇都宮市のフィルムコミッションと連携し、ロケ地としても利用。

基本情報

● 所在地：栃木県宇都宮市

● 選定表彰：
・第８回「ディスカバー農山漁村の宝」特別賞（R3）
・ふるさと文化財の森認定（R4年度、R5.3）
・栃木県農業大賞　農村活性化の部 栃木県知事賞（R1）
・とちぎ地産地消夢大賞（R3）

● 主力商品・イベント：
・タケノコ・栗・加工品・竹材・竹植木苗
・農業体験ツアー（収穫、竹工作体験等）
・撮影・イベント場所の貸出
・竹林観光事業（竹林キャンプ事業含む）

● 活用した支援施策：
・ものづくり生産性向上促進補助金(5次)
・第三回令和2年度 事業再構築補助金

取組の概要

○ 地域のシェフと連携したタケノコ加工品の開発、菓子メーカーと連携した栗菓子の開発のほか メンマ業界パイオニア事業者と国産メンマ開発などを実施。
○ タケノコや栗の収穫体験に加え、間伐した竹で水鉄砲、弓矢や竹灯りなどを工作する「竹に触れて竹を好きになってもらう」農業体験ツアーを実施。
○ 竹林の景観を評価され、撮影ロケ地として多くの作品で利用。栃木県・宇都宮市のフィルムコミッションとも提携し、地元の知名度アップにも貢献。
○ 竹林の散策、竹器でお抹茶、竹林ライトアップや、ハンモックテントを竹の間に吊るし竹林で夜をあかすキャンプ事業など観光事業をスタートし、地域連携・周遊を促す。
○ さらに、竹の魅力を伝える展示館、筍料理を楽しめる農家レストランをR5.4オープンの予定。


竹林の景観

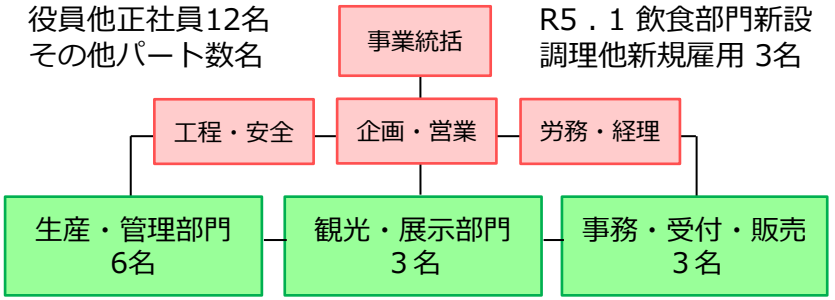


タケノコの６次化商品


竹林でのキャンプ事業

体制図

役員他正社員12名
その他パート数名



R5．1 飲食部門新設
調理他新規雇用 3名

取組の成果

○農産物、６次化商品の売上：4,500万円（H28）→ 7,900万円（R4）
○竹林を活用した事業の売上：６00万円（H28）→ 6,400万円（R4）
○入場者数： 4千人（H28）→ 1万人（H29）→ 8万人（R4）

※農産物売上には、竹材・竹植木苗を含む。6次化商品売上には他社6次化商品仕入を含む
竹林活用事業のH28年度は撮影と収穫体験のみ、翌H29年から観光化、R4年度は見込み

ウェブサイト▶https://www.wakayamafarm.com/

この情報は令和5年3月時点のものです

09-04

さかがわ協議会

地域資源：農林水産物、景観
事業分野：食品、観光・旅行、アウトドア、イベント
事業主体：協議会

○直売所、レストラン、加工所の複合施設「いい里さかがわ館」を拠点として、地元農産物等を活用した特産品づくりを行うほか、ミツマタ群生地を地域資源とした誘客など、所得向上や就労機会創出につながる様々な取組を展開。

基本情報

● 所在地：栃木県茂木町

● 選定表彰：
・農林水産祭（むらづくり部門）大臣賞(R3)
・とちぎ地産地消夢大賞（H30）

● 主力商品：
・そば、エゴマ、ブランド米、イチゴ
・ミツマタ群生地を活用したハイキングツアー等

● 活用した支援施策：
・県営中山間地域統合整備事業
・魅力ある中山間地域づくり事業

取組の概要

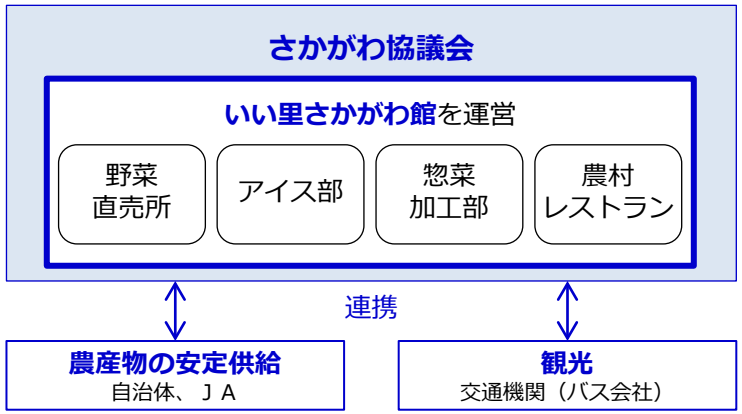
○耕作放棄地解消の一環として、加工品需要が見込める「エゴマ」や、高齢者でも比較的少ない負担で生産できる「そば」の作付けを推進し、これらを加工・販売。
○「そば」の全量買い上げにより、生産者１人当たりの所得向上と作付面積拡大を実現。
○生産者の得意分野に応じた作目の栽培推進や、端境期が生じないよう栽培時期をずらす工夫など、町やJAと連携し農産物の周年安定供給体制を構築。
○焼森山のミツマタ群生地を地域資源とし、登山道・遊歩道を整備。地元バス会社と連携したシャトルバスの運行やハイキングツアー開催等で県内外の交流人口を創出。


いい里さかがわ館


そばを使用したメニュー


ミツマタ群生地遊歩道整備

体制図



取組の成果

○そばの作付面積：3ha（H20）　→　10ha （H30）
○農家の所得向上：1人当たり50～100万円増
○いちごを使用したジェラートや甘酒などの新商品開発、販路拡大
○交流人口の創出：年間1万人以上（H27）
○いい里さかがわ館の従業員の女性比率：約7割

ウェブサイト▶https://sakagawakan.jp/

この情報は令和5年3月時点のものです

09-05

Zutto きよはら

地域資源：農林水産物、生産圃場
事業分野：加工・販売、福祉、観光
事業主体：農林漁業者、地元企業、福祉団体

○宇都宮市清原地域の農業者が中心となり地元異業種と共に６次産業化やグリーンツーリズム等のプロジェクトを展開。
○生産・加工・販売の全工程において農福連携を取り入れ、地域内の人材活躍の場づくりにより地域を活性化。

基本情報

- 所在地：栃木県宇都宮市
- 選定表彰：
  - 栃木県農業大賞　農村活性化の部　関東農政局長賞・栃木県知事賞（R3）
- 主力商品・イベント：
  - 野菜や椎茸を用いたピクルスやグラノーラ、サラダ麺、スムージー等の加工品
  - 福祉施設運営による農産物直売所「プチ・マルシェきよはら」
  - 地元旅行会社と連携した収穫体験ツアー
- 活用した支援施策：
  - アグリビジネス創出促進事業(うつのみやアグリネットワーク運営委員会(宇都宮市))
  - ”ウェルカムとちぎ”農村の魅力向上支援事業（栃木県）

取組の概要

○清原地域の農産物を使った商品開発により、高付加価値化をするとともに地元や都内イベントに出店するなどし、販路開拓及び地域の魅力を発信。
○インバウンド対応の収穫体験や農を生かした特色あるグリーンツーリズムの実施により、誘客促進を地域ぐるみで展開。
○発足以前から農福連携を積極的に行い、生産や加工を福祉施設に委託するだけでなく、福祉施設が開設する直売所で農産物やZutto きよはらブランドを販売し、農と福双方のメリットを高めながら取組を発展。


様々な６次化商品


Zutto きよはらのメンバー



イベント出展PR活動


梨棚カフェの開催

体制図

Zutto きよはら

○**生産部門**：５農家１施設（（株）山口果樹園、浅川りんご園、阿久津農園、岡本トマト園、福田農園、（社福）飛山の里福祉会ハート飛山等）

○**委託加工：**	○**農作業及び農産加工受託、販売：**	○**加工アドバイス：**	○**ブランド提案:**
瓶詰工房 FunkyPine	社会福祉法人飛山の里 福祉会　ハート飛山	(株)MOVE ON	machimusume

取組の成果

○ずっと故郷を愛して大地の恵みを地域に届けたい想いを込め地域ブランド「Zutto きよはら」を創設
○６次化商品の開発数：ピクルス、グラノーラ等4製品 全17種
○食育や農業体験、各種ツアーを通した清原地域への訪問による地域全体の活性化

ウェブサイト▶https://zuttokiyohara.jimdofree.com

この情報は令和5年3月時点のものです

09-06

株式会社 美土里農園

地域資源：農林水産物（いちご、メロン）
事業分野：加工・販売、観光・旅行
事業主体：農林漁業者

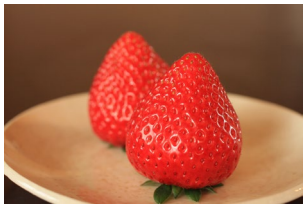
○深沢地区で遊休農地対策として設立された美土里農園は、いちご等の施設栽培や観光農園、商品開発、農福連携により収益向上と地域活性化を実現している。

基本情報

- 所在地：栃木県茂木町
- 選定表彰：
  - ・令和７年度農林水産祭（むらづくり部門）【農林水産大臣賞】
  - ・第１回全国いちご選手権【金賞】
- 主力商品・イベント：
  - ・いちご、いちご狩り、いちご加工品
- 活用した支援施策：
  - ・担い手確保・経営強化支援事業（H28）
  - ・とちぎの観光いちご園元気アップ対策事業費補助金（R3）
  - ・認定農家グローアップ事業（R6）
  - ・魅力ある中山間地域づくり事業費補助金（R6）

取組の概要

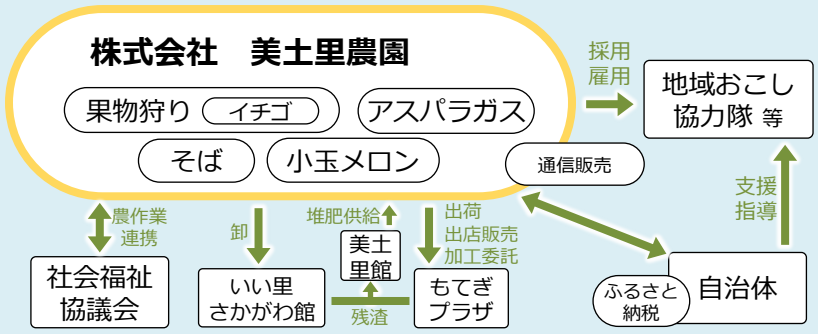
○地域おこし協力隊の受入れおよび任期終了後の直接雇用を通じて、担い手不足や高齢化に伴う耕作放棄地の解消に貢献。
○市場流通が難しい完熟いちごの生産に取組み、全国いちご選手権での金賞受賞により品質が高く評価されたことを契機に、県内外から多くのリピーター獲得し、交流人口を創出。
○町のリサイクルセンター「美土里館」で製造された「美土里たい肥」を活用することで、地域の循環型社会の形成に貢献。
○CO2を貯蔵・供給する装置や各種モニタリング装置を導入し、スマート農業を実践することで、いちごの収量増加、品質向上および省力化を推進。
○高付加価値の見込めるメロン等の栽培に取組み、耕作地が限られる中山間地域における農業モデルを構築。
○社会福祉協議会と連携し、農福連携を実践することで、地域における共生社会の実現に貢献。


金賞を受賞したとちあいか


コロタンメロンの栽培


スマート農業の実践

体制図



取組の成果

○売　　上：3,000万円（R1）→ 6,300万円（R5）
○来園者数：4,300人　（R1）→ 6,600人　（R6）
○雇用者数：6人（R1）→ 14人（R6）※パート社員含む

ウェブサイト▶https://midori-nouen.com/

この情報は令和８年6月時点のものです

10-01

パーソルダイバース株式会社※ とみおか繭工房妙義

地域資源：農林水産物、文化
事業分野：福祉、健康・医療、その他
事業主体：生産者、JA、富岡製糸場

○国産の繭を生産・活用し、農福連携と６次産業化を通して養蚕の価値を向上させ、次世代への養蚕継承、障害者雇用の拡大など、地域の活性化に貢献。

基本情報

● 所在地：群馬県富岡市

● 選定表彰：
・ ６次産業化アワード大臣官房長賞（R3）

● 主力商品・イベント：
・ 絹糸を活用した織物やアクセサリー
・ シルク成分を活用した化粧雑貨
・ 桑の枝を原料に使った和紙

● 活用した支援施策：
・ 群馬県蚕糸業継承対策（多様な養蚕担い手育成事業）
・ 富岡市多様な養蚕担い手育成事業
・ 大日本蚕糸会繭生産緊急体制強化事業（新規養蚕参入者支援事業）

取組の概要

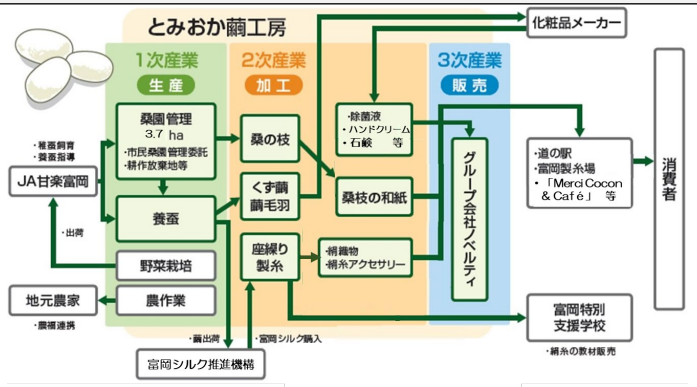
○パーソルグループの特例子会社として、障害者雇用の拡大と農福連携を推進しつつ、近隣の桑園を借り受けて自社管理し、市内の荒廃農地の解消にも貢献。
○桑園の管理、蚕の飼育、繭の生産、シルク製品の製作を行うほか、廃棄される繭や毛羽を活用して化粧雑貨の開発など「廃棄しない養蚕」の実現を目指す。
○化粧品メーカーとも連携しながら事業を展開。
○R4年4月より歴史的建造物である旧富岡倉庫にオープンした「Merci Cocon & Café」にて、シルクアクセサリーや化粧雑貨の販売を開始。


絹織物の様子


「とみおか繭工房」の販売ブース
（R4よりカフェで販売）


桑の葉の収穫

体制図



取組の成果

○障害者雇用の創出：55名（R5.4時点）

○県内化粧品メーカーと連携しシルク成分を配合したアルコール除菌液を開発し、パーソルグループのノベルティとして活用

※R5年4月より会社統合に伴い「パーソルサンクス株式会社」から「パーソルダイバース株式会社」へ社名を変更

ウェブサイト▶https://persol-diverse.co.jp/

この情報は令和5年6月時点のものです

10-02

奥利根ワイン株式会社（おくとね）

地域資源：農林水産物、景観、森林
事業分野：食品、観光・旅行、アウトドア
事業主体：地元企業、農林漁業者

○ブドウの栽培から醸造まで手掛けるこだわりのワインづくりに加え、地産地消にこだわったレストラン及びブドウ畑を眺められるオートキャンプ場を運営し、売上増加や付加価値の創出を実現。

基本情報

- 所在地：群馬県昭和村

- 主力商品・イベント：
  - ワイン、シードル
  - レストラン
  - オートキャンプ場

- 活用した支援施策：
  - 小規模事業者持続化補助金（R5）
  - 地域力活用市場獲得等支援事業
    新商品・新サービスの開発支援事業費補助金（H26）

取組の概要

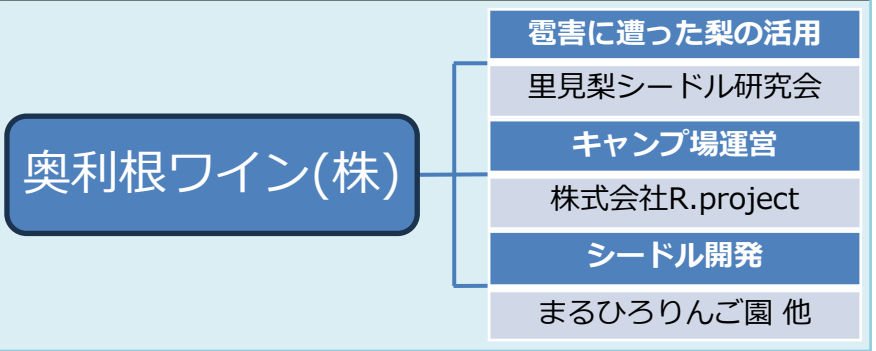
○ブドウ栽培に適した冷涼な環境を求め、標高700mの赤城山麓に広がる3haの農地で、2000年からブドウ栽培を開始。
○自社のワイナリーでワインを製造。地域の土壌や地形が生み出す味わいや、収穫年度の気候を表現できるよう、単一品種、年度別の商品づくりを行っている。
○ワイナリー内にレストランを併設し、地元の野菜や生乳をふんだんに使った地産地消メニューを提供。
○雹害に遭った梨を活用し、里見梨シードル研究会と「ペアーシードル」を開発。
○R4年8月からは、ブドウ畑を眺めながらキャンプができる1日3組限定のオートキャンプ場「Camp in the vineyards」を運営。


自社製造のワイン


レストラン


オートキャンプ場

体制図



取組の成果

○オートキャンプ事業
・売上高　：90万円（R4）　→185万円（R5）
・キャンプ場利用客によるレストラン売上：
　8万円（R4）　→25万円（R5）
・利用者数：大人242人 こども 53人 ペット16匹 107区画（R4.8～11）
　大人498人 こども118人 ペット48匹 205区画（R5.4～11）

ウェブサイト▶https://oze.co.jp/

この情報は令和6年3月時点のものです

11-01

株式会社 ヤマグレイン

地域資源：農林水産物、景観
事業分野：食品、観光・旅行、イベント
事業主体：地元企業、JA

○米、いちご、タイ野菜等の環境保全型農業を実践。各種イベントに出店し、トムヤムクンヌードルやミルクスムージー等の自社加工品をキッチンカーで販売することにより、売上げや雇用の増大を実現。

基本情報

- 所在地：埼玉県吉見町
- 主力商品・イベント：
  - ・自社栽培米を加工した米粉麺
  - ・自社栽培いちごを活用した苺スイーツ
  - ・移動販売
  - ・観光農園
- 活用した支援施策：
  - ・食料産業・６次産業化交付金（R3）

取組の概要

○使用する農薬を減らし、有機質の堆肥で育んだ健康な土を用いて、米、いちご、パクチー等のタイ野菜を生産。2020年に、いちご観光農園「Pon Pon YAMA Strawberry」をオープン。
○各種イベントに積極的に出店し、グルテンフリー米粉麺を使ったトムヤムクンヌードルや埼玉県オリジナルいちご品種「あまりん」を使用した「あまりんミルクスムージー」、「あまりんミルクジェラート」等の苺スイーツなどをキッチンカーで販売。
○米粉麺の原料として米選別時に発生する規格外品やくず米を有効活用。


イチゴ観光農園

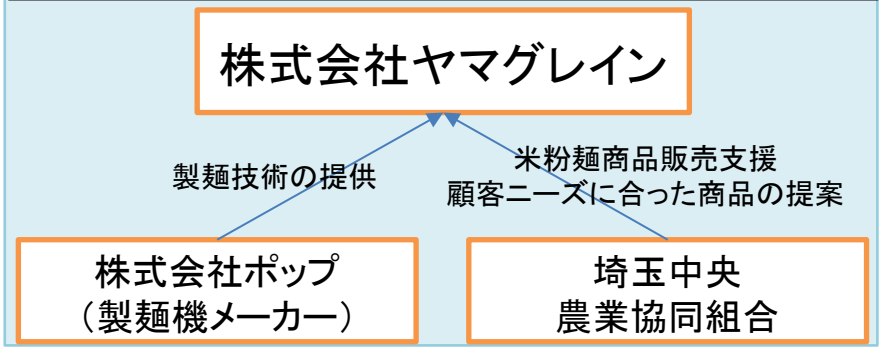


キッチンカーでの販売


自社栽培ハーブと自社製米粉麺のトムヤムクンヌードル


あまりんミルクスムージー

体制図



取組の成果

○売上	：1,100万円（H30）	→	3,100万円（R4）
（うちキッチンカー）	：64万円（R3）	→	356万円（R4）
○観光農園来客者数	：1,000人（H30）	→	4,716人（R4）
○イベント出店回数(含自主開催)	：0回（H30）	→	54回（R4）
○雇用者数	：２人（R3）	→	６人（R4）

ウェブサイト▶https://yamagrain.com/

この情報は令和6年3月時点のものです

12-01

特定非営利活動法人
大山千枚田保存会

地域資源：農林水産物、景観
事業分野：食品、観光・旅行、教育
事業主体：地域住民、JA、観光協会、商工会等

○自然豊かな里山「大山千枚田（棚田）」の環境保全を進めながら、観光協会等と連携した都市との交流を通して豊かで潤いのある地域社会づくりを推進。古民家レストランを活用した所得と雇用の拡大にも貢献。

基本情報

● 所在地：千葉県鴨川市
● 選定表彰等：
・農林水産祭（むらづくり部門）大臣賞(R3)
・指定棚田地域（R2）
● 主力商品・イベント：
・棚田（大山千枚田）
・棚田オーナー制度、酒づくりオーナー制度
・古民家レストラン
・家づくり体験塾
● 活用した支援施策：
・農業構造改善事業（地域農業基盤確立農業構造改善事業
・近代化施設整備事業

取組の概要

○棚田を地域資源とし、観光協会等と連携したライトアップイベント等を開催するほか、里山の環境保全や棚田/酒づくり/大豆畑のオーナー制度などの取組により、都市との交流を促進。
○古民家レストラン「ごんべい」にて、地元農産物を利用したメニューの提供や農産物加工品の販売を行うことにより、所得の拡大と女性の雇用にも貢献。
○県内外の小学校の宿泊学習を受け入れているほか、関東10大学の学生と連携した「棚田環境大学」によるワークショップ、荒廃竹林の整備・再生、イベント等を実施。


幻想的な棚田（松明）


古民家レストラン


体験学習（祭り寿司づくり）

体制図

特定非営利活動法人
大山千枚田保存会

・棚田の保全活動
・棚田米のブランド化
・農家レストランの運営
・自然体験活動の運営
・情報の収集、発信　など

連携

行政
観光協会
旅館組合
商工会
NPO法人
関東10大学
地元林業家、大工
地元住民

取組の成果

○交流人口の創出：年間 1 万人以上（R1）
○古民家レストランの売上：約700万円（R1）
○家づくり体験塾による古民家再生：13件（H18～R2まで）
○小学校宿泊学習の受入：112組、5,594名（R1）

ウェブサイト▶https://senmaida.com/

この情報は令和5年3月時点のものです

12-02

農事組合法人
ながいき集落営農組合

地域資源：農林水産物
事業分野：食品、観光・旅行、教育
事業主体：農林漁業者

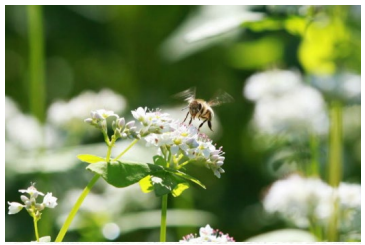
○地域で増加している耕作放棄地を活用しそばを栽培。そばを活用した乾麺、菓子や焼酎を製造し、近隣の直売所で販売。オーナー制度やそば打ち体験イベントを実施するなど、関係人口の創出にも貢献。

基本情報

- 所在地：千葉県長生村
- 選定表彰：
  - ふるさと名品オブ・ザ・イヤー 地方創生賞（R3）
  - ふるさとづくり大賞　団体表彰（R4）
- 主力商品・イベント：
  - そば
  - そば加工品（乾麺、菓子、焼酎）
  - そばオーナー制度
  - そば打ち体験
- 活用した支援施策：
  - 農業経営多角化支援事業（H28）

取組の概要

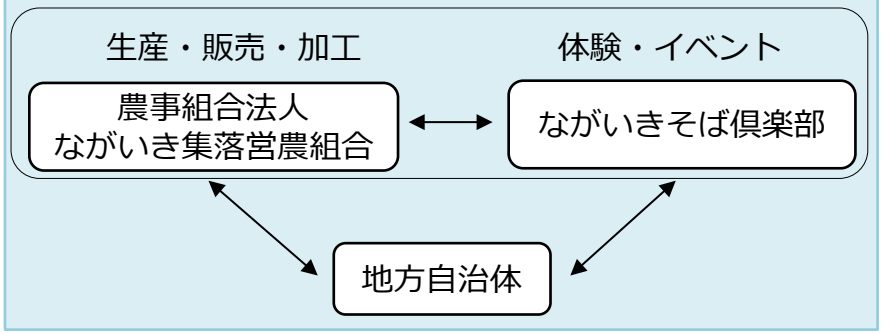
○農業従事者の高齢化や後継者不足により、地域で増加している耕作放棄地を活用し、「ながいきそば」を栽培。
○農薬を使用しない安全・安心なそば作りに取り組むとともに、養蜂家と連携して、みつ蜂による交配を行い、収穫量の向上に努めている。
○乾麺だけでなく、クッキーやラスクなどのお菓子や焼酎などの加工品を製造・販売。
○また、「ながいきそばオーナーズクラブ」をスタートし、そば打ち体験イベントも行うなど関係人口の創出に努めている。


みつ蜂による交配


ながいきそば加工品


そば打ち体験

体制図



取組の成果

○売上：240万円（H27）　→ 480万円（R4）
○雇用：0名（H27）　→ 7名（R4）
○ながいきそばオーナーズクラブ会員数：
　61名（H27）　→ 88名（R4）
○体験イベント開催回数　：3回/年（R4）

ウェブサイト▶https://nagaiki-soba.com/

この情報は令和6年3月時点のものです

15-01

SNOW SAFARI 株式会社
SOUQ 株式会社

地域資源：文化・歴史、自然、森林
事業分野：観光・旅行、アウトドア、イベント
事業主体：IT企業、観光DMO、観光協会

○雪国の暮らし体験ツアーのほか、ハラルやベジタリアン向けにアレンジした伝統食等の観光プログラムにより国内外の観光客を誘致するとともに、関係人口構築アプリを運用し、地域とのつながりを求める旅行者や企業と、関係人口によりコミュニティを維持したい地域とのマッチングにも取り組む。

基本情報

- 所在地：新潟県湯沢町
- 選定表彰：
  - ・INACOMEビジネスコンテスト ファイナリスト（R1）
  - ・新潟企業チャレンジ　ビジネスプランコンテスト　優秀者（H30）
  - ・観光庁 観光地域づくりマネージャー
- 主力商品
  - ・コワーキング、温泉・サウナ/宿泊施設運営
  - ・ハラル/ベジタリアン等、様々な文化背景の観光客に対応したユニバーサルデザインの着地型ツアー
  - ・観光DXツール/アプリケーションの開発
- 活用した支援施策：
  - ・始動 Next Innovator プログラム
  - ・INACOMEアプリケーション

取組の概要

SNOWSAFARI(株)：持続可能な観光地域づくりをテーマに活動
○雪国の暮らし体験ツアーや地元農産物を使用した伝統食、発酵食をハラルやベジタリアン向けにアレンジし提供する等の観光プログラムを構築。
○空き家や廃業した温泉宿等の改修を行いゲストハウスやコワーキングとして運営。コワーキングスペースをプラットフォームとして提供し、長期滞在するノマドワーカーの誘致等により地域の関係人口及び移住者の増加に貢献。

SOUQ(株)：WEB3.0/観光DXを基盤にオーバーツーリズム問題に取り組む
○多様な交流人口を地域の関係人口に醸成させるための仕組みを創発。
“ＦＯＵＮＤＥＥ”はローカルエリアのオーバーツーリズム問題と担い手不足問題を解決するWebサービス。旅行者に地域の環境保護/文化継承の担い手となってもらう対価に、地域で“えこひいき”されるNFT（デジタル上の認証バッジ）を配布。
地域との繋がりを求める旅行者や企業と、関係人口によりコミュニティを維持したい地域を貢献の可視化をベースにマッチング。


伝統食


コワーキングスペース・サウナ付き一棟貸し


海外ノマドワーカーのとある休日

体制図

SNOW SAFARI（株）
DX等連携
SOUQ（株）
SNOW SAFARIが観光や地域事業に取り組む中で生まれた課題をDX・IT活用で解決することをミッションとしている連携会社

- DMO 雪国観光圏 / 雪国観光舎 — 国内向けツアーやワーケーション、海外ブランディング連携
- 農林業者 — 農林作業連携 リトリートツアー等提携
- 国際大学（他 教育機関） — 産学連携 プロジェクト インターンシップ

取組の成果





関係人口構築アプリケーション“FOUNDEE”を通じて、地域の里山保全、古民家の再生、耕作放棄地の再活用などのプロジェクトを立上げ支援/ツアー化。

- ・支援プロジェクト数 12 （R4）
- ・関係人口化（NFT発行）225名（R4）
- ・参加企業数 12社（R4）

ウェブサイト▶https://www.snowsafari.jp/

この情報は令和5年3月時点のものです

15-02

NPO法人 越後妻有里山協働機構（えちごつまり）

地域資源：農林水産物、棚田、景観
事業分野：食品、スポーツ、芸術、情報通信、イベント
事業主体：NPO、農林漁業者、サッカーチーム

○「大地の芸術祭」や棚田オーナー制度による都市住民のほか、女子サッカー選手など多様な人材により棚田を保全するとともに、地域活性化に貢献。

基本情報

● 所在地：新潟県十日町市

● 選定表彰：
・第９回「ディスカバー農山漁村の宝」(R4)
コミュニティ・地産地消部門　特別賞

● 主力商品・イベント：
・大地の芸術祭
・棚田オーナー制度「まつだい棚田バンク」
・女子サッカーチーム「FC越後妻有」

● 活用した支援施策：
・中山間地域等直接支払交付金
・農の雇用事業

取組の概要

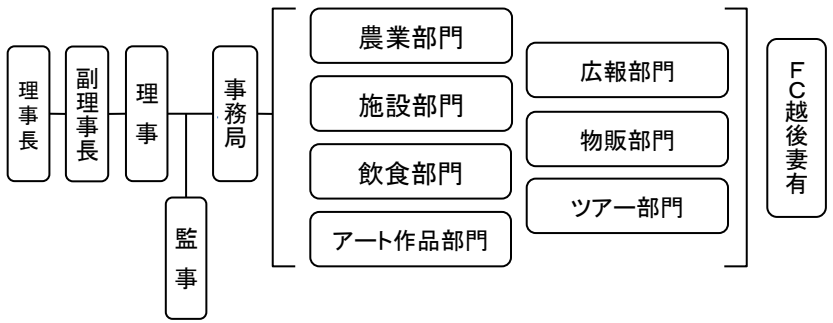
○「大地の芸術祭」のプロジェクトの1つとして、2003年「まつだい棚田バンク」を発足し、その後本格組織化。棚田オーナー制度や芸術祭を通じて都市住民など多様な人が棚田を保全する活動を開始。
○全国リーグを目指す女子サッカーチーム「FC越後妻有」をつくり、女子サッカー選手が農業の担い手となる一方で、サッカー教室や講演を実施し、多数のメディアに掲載され地域の活性化に寄与。
○ドローン、水位センサー等のスマート農業の導入により作業負担を軽減。


田植えをするサッカー選手


ドローンを利用した農薬散布


芸術作品を設置する棚田の整備

体制図



取組の成果

○棚田バンク会員口数※：774口（H29）→ 919口（R3）→ 1,106口（R4）
○地域外からの農業担い手としての移住者：17名（H21 ～ R4）

※小口換算

ウェブサイト▶https://www.echigo-tsumari.jp/about/organization/

この情報は令和5年6月時点のものです

15-03

株式会社 Mt.ファームわかとち

地域資源：農林水産物、古民家、廃校、文化
事業分野：食品、観光・旅行、教育、イベント
事業主体：農地所有適格法人、地域協議会

○中越地震により被害を受けた地域の活力を取り戻すため、地域住民が主体で「わかとち未来デザイン・実践プラン」を策定し活動を展開。地域資源のブランド化や、古民家を改修したグリーンツーリズム、外部の若者の受入を実践。

基本情報

- 所在地：新潟県小千谷市
- 選定表彰：
  - 令和4年度農林水産祭むらづくり部門 日本農林漁業振興会会長賞,農林水産大臣賞
  - 第５回「ディスカバー農山漁村の宝」 北陸農政局選定 (H30)
- 主力商品・イベント：
  - 米、野菜、山菜
  - 農家民宿
  - 研修生受け入れ
- 活用した支援施策：
  - 中山間地域等直接支払

取組の概要

○地元住民が収穫する山菜や農産物を買い取り、廃校を利用して加工。加工品や米などの農産物を「若栃ブランド」として統一感あるパッケージで販売を展開。
○古民家を改修し農家民宿を運営。
○都市部の若者をインターン生として受け入れる「アグリパス」といったユニークな仕組みを活用して外部人材を受け入れ。
○JICAの海外研修生や中学生の教育体験旅行、市内小学校の総合学習などを集落内の農家で受入。

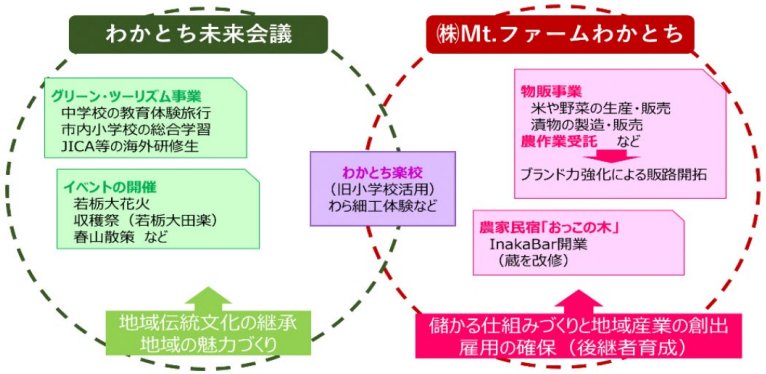

若栃ブランド商品


インターン生との蔵改修プロジェクト



農家民宿「おっこの木」

体制図



取組の成果

○加工品の売上
30万円（H25）→ 540万円（R1）→ 550万円（R4）※

○農家民宿宿泊利用者数
350人（H25）→ 350人（R1）→ 300人（R4）※

※R4は新型コロナウイルス感染症の影響で減少

ウェブサイト▶https://wakatochi.jp/

この情報は令和5年6月時点のものです

16-01

株式会社 森の環

地域資源：農林水産物、森林資源
事業分野：加工・販売、福祉、エネルギー
事業主体：地元企業、スーパー、大学

○地域の間伐材を使った菌床により、しいたけ や はなびら茸 等の栽培・販売を行うとともに、廃菌床を土壌改良材や燃料等に循環利用。高齢者や障害者の雇用も推進。

基本情報

- 所在地：富山県高岡市
- 主力商品：
  - ・菌床しいたけ
  - ・菌床はなびら茸
  - ・菌床きくらげ
  - ・各種加工品
- 活用した支援施策：
  - ・６次産業化ネットワーク活動交付金



【主力商品】
しいたけ（奥）
はなびら茸（手前）
※はなびら茸は幻のきのこと呼ばれ食物繊維の一種であるβグルカンが豊富でコリコリとした食感が特徴

取組の概要

○しいたけ・はなびら茸・きくらげを菌床から栽培、販売までを一貫体制で運営。
○菌床の材料は、県西部産を中心とした広葉樹の間伐材を使用。栽培後の菌床は圃場にまき、元の木くずに戻すことで肥料や休耕地の土壌改良材としたり、固形燃料に使用したり様々な用途での再利用を検討。
○しいたけ・きくらげについては、有機JAS認証取得に向け取組中。
○施設内の空調等エネルギーは、環境に配慮した地中熱システムや太陽光発電を利用。
○高齢者や障害者を積極的に雇用、外国人技能実習生の受入も実施。



栽培施設の外観と内部

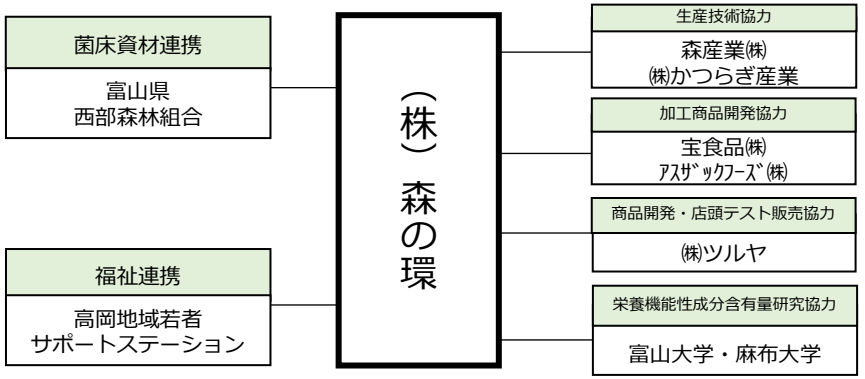


廃菌床（肥料や休耕地の土壌改良材に再利用）



地中熱システム(左)と太陽光発電(右)を併用したクリーン工場

体制図



取組の成果

○６次化による売上高増加：362百万円（H29）→ 646百万円（R4）
○有機JAS認証の菌床しいたけの国内流通はまだ少量。その付加価値に共感される量販店(消費者)からの問合せも増えており更なる増収に期待。
○障害者にも優しい証「もにす認定」を取得(R4.10)、４名(R4)が従事。
※もにす認定：障害者雇用の促進及び雇用の安定に関する取組の実施状況などが優良な中小事業主を厚生労働大臣が認定する制度。
○従業員130名の約7割が女性。また、1割超が70歳以上。外国人技能実習生12名(R4)も受け入れ。

ウェブサイト▶ https://morinowa.co.jp/

この情報は令和5年3月時点のものです

17-01

春蘭の里・里山ステイ推進協議会

地域資源：文化・歴史、景観、農林水産物
事業分野：観光・旅行、食品、芸術、イベント
事業主体：農家民宿、農林漁業者、旅行会社

○奥能登２市２町にまたがる農家民宿群「春蘭の里」をブランディングし、地域ぐるみで国内外の交流人口を獲得。
○地域の伝統と文化を活かした「いましか、ここでしか味わえない感動」体験・交流メニューにより他地域と差別化。

基本情報

- 所在地：石川県能登町
- 選定表彰：
  - ・第11回観光庁長官表彰（R1）
  - ・農林水産祭内閣総理大臣賞（H23）
- 主力商品・イベント：
  - ・農家民宿での宿泊体験
  - ・旬の地元食材を使った郷土料理
  - ・世界農業遺産「能登の里山里海」を活かした体験・交流メニュー
- 活用した支援施策：
  - ・農山漁村振興交付金ハード事業（定住促進・交流対策型）
  - ・農山漁村振興交付金ソフト事業（農泊推進対策）

取組の概要

○過疎化が進む奥能登２市２町（輪島市、珠洲市、穴水町、能登町）の農家民宿群「春蘭の里」をブランディング。農家民宿の連携体制を構築し、宿泊受付窓口を一元化。
○黒瓦・白壁づくりで囲炉裏のある伝統的住居の整備、化学調味料・砂糖不使用の郷土料理、輪島塗の器での料理提供等により、農家民宿群としてのイメージと質を向上。
○農家民宿での宿泊体験のほか、「春蘭の里実行委員会（地域の多様な関係者で構成）」と連携し、世界農業遺産に認定された能登の里山里海を活かした多様な体験・交流メニューを年間を通して提供。
○旅行会社と連携したファムトリップにより、外国人旅行者の獲得にも取組中。
※ファムトリップ：観光情報の発信や旅行商品の造成などを目的に、海外の旅行代理店やメディア、専門家などを自分たちの地域に招聘する視察旅行。


輪島塗の器で提供する郷土料理


外国人旅行者の受け入れ


地域の活性化に取り組む移住者等

体制図

春蘭の里・里山ステイ推進協議会

一般社団法人春蘭の里（事務局）

宿泊部門	食事部門	体験・交流部門	その他
・農家民宿67軒 ・NPO法人コブシ（廃校利用の体験型宿泊施設）	・農家民宿67軒 ・農事組合法人のと夢づくり（直売所）	・春蘭の里実行委員会 ・農家民宿67軒	旅行会社

取組の成果

奥能登全体で、修学旅行等団体客や旅行客の多様な要望に柔軟に対応する体制を実現。移住者の獲得にも貢献。

○農家民宿数	：1軒（H9）	→	67軒（R4）
○受入旅行者数	：30人（H9）	→	826人（R3）
○修学旅行	：0団体（H9）	→	11団体（R4）
○移住者数(累計)	：0人（H9）	→	10人（R4）

ウェブサイト▶https://shunrannosato.info/

この情報は令和5年3月時点のものです

17-02

里山総合会社 山立会（やまだちかい）

地域資源：農林水産物、羊、ジビエ
事業分野：食品、観光・旅行
事業主体：地元企業・旅館・飲食店、地元大学、他地域ジビエ関係者

○なめこ本来の味を堪能できる「木滑（きなめり）なめこ」の栽培のほか、荒廃農地で放牧飼育された羊、捕獲したジビエ等を提供する食堂・ECサイトなど経営を多角化することで「里山の活性化と多様な課題への対応」を実現。

基本情報

- 所在地：石川県白山市
- 選定表彰：
  - ・第９回「ディスカバー農山漁村の宝」(R4) ビジネス・イノベーション部門
  - ・スタートアップビジネスプランコンテスト いしかわ2019ファイナリスト
- 主力商品・イベント：
  - ・でけえなめこ
  - ・羊肉（白山サフォーク）
  - ・ジビエ
- 活用した支援施策：
  - ・事業再構築補助金（食堂）
  - ・農業機械施設整備事業（なめこ）
  - ・クラウドファンディング（羊）

取組の概要

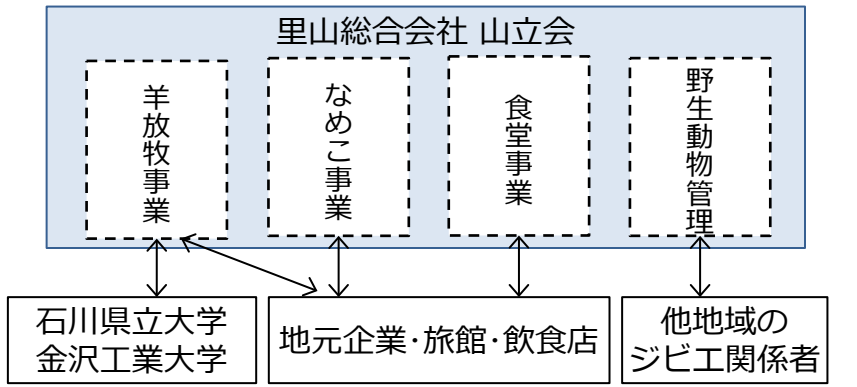
○「里山総合会社」の体制を構築し、ビジネスの力で里山を活性化するために、里山における多角経営と、視察研修等による情報発信を実施。
○菌床なめこ生産を中心に、羊の飼育・販売、ジビエ販売、里山食堂での提供、ECサイトでの通販、野生動物調査など、里山を舞台とした多角的な事業を展開。
○羊放牧やジビエ普及による里山の景観・環境保全に貢献。
○全国のジビエ関係者と共同でジビエ普及や安定供給の仕組みづくりを開始。


特大サイズの“でけえなめこ”


荒廃農地での放牧飼育


食堂で提供のジビエメニュー

体制図



取組の成果

○なめこの売上　　：約90万円（H30）→　約3,600万円（R4）
○羊放牧やジビエ普及による里山の景観・環境保全
○山立会食堂の売上：約570万円（R3）→　約750万円（R4）

ウェブサイト▶https://yamadachi.com/

この情報は令和5年6月時点のものです

18-01

伊自良（いじら）の里・食と農推進協議会

地域資源：農林水産物、間伐材、空き家
事業分野：食品、観光・旅行、教育、エネルギー
事業主体：協議会、森林組合、大学

○「伊自良の里振興協会」を中核として、NPO法人、農業法人、生産組合、女性グループ、青年団(地区外の若者が中心)等を構成員として協議会を設立。自然や食の活用や、都市との交流推進など様々な活動を展開。

基本情報

● 所在地：福井県福井市

● 選定表彰：
・農林水産祭（むらづくり部門）
大臣賞、日本農林漁業振興会会長賞(R3)

● 主力商品：
・河内赤かぶら
・酒米
・伊自良温泉

● 活用した支援施策：
・都市農村共生・対流総合対策交付金
・農山漁村振興交付金　など

取組の概要

○農業ボランティアの受け入れによる伝統野菜の「河内赤かぶら」の栽培や地域の農業法人による酒米栽培を通じて、耕地の維持を実現。
○女性グループ「上味みママーズ」をはじめとした地域の住民が「河内赤かぶら」の加工品を伝統的なレシピで製造、販売し、食文化の継承に貢献。
○「上味みママーズ」が農家レストランを開設し、地域食材を利用した伝承料理を提供。
○福井市内の酒造会社と連携し、酒米の契約栽培を実施。
○伊自良温泉の加温に間伐材を活用し、適切な育林と地域活動を両立。
○空き家を地域資源とし、外部人材向け居住環境や宿泊施設に有効活用。


河内赤かぶら

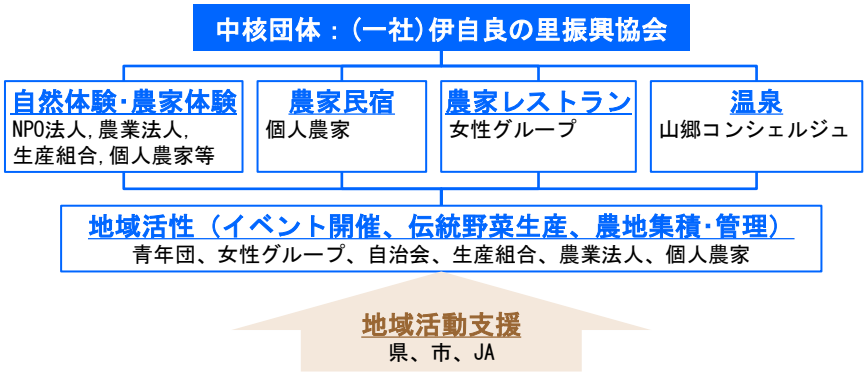


上味みママーズ


農家レストランの料理


若者による間伐作業

体制図



取組の成果

○移住者：27名（10年間）
○耕地の維持、食文化の継承
○農家レストランの開設
○酒米の契約栽培：15.7t（R2）
○間伐材の温泉ボイラーへの活用

ウェブサイト▶https://www.ijira.jp/

この情報は令和5年3月時点のものです

18-02

特定非営利活動法人 ピアファーム

地域資源：農林水産物
事業分野：食品、観光・旅行、福祉
事業主体：就労支援事業所、農林漁業者

○後継者のいない農園等を引き継ぎ、観光農園の開設や果実加工品の製造・販売を通して地域の魅力向上に貢献。
○農業の担い手不足を障がい者の就業で解消し、手作業の多い有機・減農薬栽培による農産物の高付加価値化を実現。

基本情報

- 所在地：福井県あわら市
- 選定表彰：
  - ・ノウフクアワード優秀賞（R2）
  - ・第４回「ディスカバー農山漁村の宝」(H29)
- 主力商品・イベント：
  - ・なし、ぶどう、果実加工品
  - ・観光農園での果実の摘み取り体験
  - ・市内外の農業者180戸が出荷する直売所
  - ・なしジュースやぶどう醸造に着手する
- 活用した支援施策：
  - ・農山漁村振興交付金ソフト事業（農福連携対策・施設外就労コーディネーター養成）

取組の概要

○農業に特化した就労支援B型事業所として、創設以来後継者のいない梨農園を引き継ぎ、周辺の耕作放棄地を再生し農地を集約。
○約30名の障がい者の就労を支え、働きやすい作業工程による有機・減農薬栽培で、農産品の高付加価値化を実現。
○１年を通して様々な果樹・野菜を生産。また、果樹加工品の製造・販売や農産物直売所の運営、観光農園の開設により、障がい者に安定した働く場と高賃金を創出。
○地域と協力・連携した農業を行うことで、地産地消と地域のにぎわい創出のほか地域の農業の担い手としても貢献。



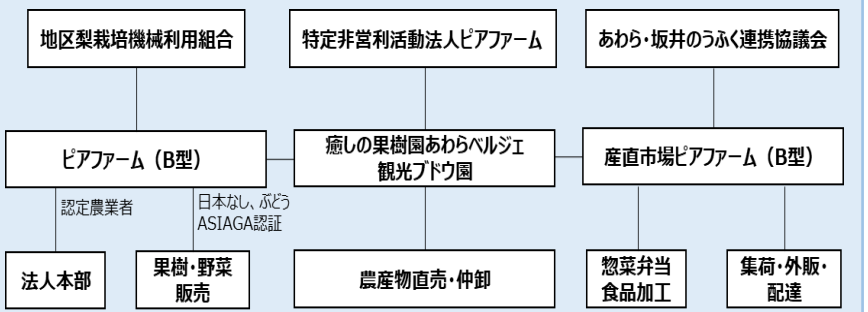
農直市場ピアファーム



６次化商品のなしジュース


なしの収穫作業

体制図



取組の成果

○農産物の売上：約1,600万円（H24） → 約4,000万円（R3）
○観光農園への来客者数：約4,400人（R3）
○平均工賃：約4～4.5万円/月
（R3年度就労継続支援Ｂ型全国平均工賃月額は約1.6万円/月）
○福井県内初となるASIAGAP認証の取得（対象品目:日本なし、ぶどう）

ウェブサイト▶http://www.peerfarm.jp

この情報は令和5年3月時点のものです

18-03

NPO法人 まちづくり のむきの会

地域資源：農林水産物、森林、景観
事業分野：食品、観光・旅行、教育、アウトドア、イベント
事業主体：NPO

○「活性交流センターのむき風の郷」を拠点に、特産品であるエゴマや地元農産物を加工・販売するほか、食育活動やイベント開催を通じ、地元住民のまちづくり意識の醸成や交流人口の拡大等地域の活性化を実現。

基本情報

- 所在地：福井県勝山市
- 設立経緯
  - ・平成14年「勝山市エコミュージアム構想」で「野向町まちづくり推進委員会」がエゴマの特産化に着手。
  - ・平成28年に野向地区の全住民を会員とするNPO法人を設立。現在会員約600名。
- 選定表彰：
  - ・豊かなむらづくり全国表彰事業 北陸農政局長賞（R4）
- 主力商品・イベント：
  - ・エゴマ、トウモロコシ、サツマイモ、黒豆
  - ・のむき四季彩まつり
- 活用した支援施策：
  - ・福井県６次産業化推進事業（H24,H29 ）
  - ・地方創生に向けて“がんばる地域”応援事業（H30（一財）地域活性化センター）

取組の概要

○農産物直売所「活性交流センターのむき風の郷」を拠点に、地元農産物等の販売や住民の相互交流、地域情報発信等を実施し、持続可能な地域の活性化・再生に寄与。

○昔から栽培されていたエゴマを地域特産として生産拡大するとともに、エゴマ油として加工・販売し、ふるさと納税返礼品としても活用。

○保育園児や小学生の食育活動（トウモロコシ等の栽培）や、「のむき四季彩まつり（年4回）」での観光客の収穫体験により地域内外の交流を促進。

○地元区長会と連携し、越前甲(えちぜんかぶと)(別名・越前大日山)の登山道やトレッキングコースなどの環境整備を行い、地域の交流人口増加に貢献。



活性交流センター「のむき風の郷」


開発されたエゴマ油


子供たちへの食育活動

体制図

NPO法人まちづくり のむきの会
（地域住民全員で構成）

- ●エゴマ等の生産・出荷、加工品の製造・販売
- ●直売所「活性交流センターのむきの郷」の運営
- ●イベントの企画・運営

⇔

【主な連携・支援機関】

- ・福井県食品加工研究所（エゴマ油の効能・商品開発）
- ・長命会（老人会）体育振興協会、社会福祉協議会 （四季彩祭り等）
- ・野向区長会（越前甲トレイルクラブ事業・登山道整備）
- ほか

取組の成果

○のむき風の郷来客数　：7,600人（R1）　→ 9,200人（R5）

○のむき風の郷販売額　：1,015万円（R1）→ 1,067万円（R5）

○四季彩まつり 来場者数：1,300人（R1）　→ 1,700人（R5）

ウェブサイト▶https://nomuki-kazenosato.com/company/

この情報は令和6年3月時点のものです

18-04

株式会社 農楽里

地域資源：農林水産物（いちご）
事業分野：食品、観光・旅行、福祉
事業主体：就労継続支援A型事業所

○農地所有適格法人と連携し、AIやスマート農業により障がい者の作業領域を拡大し、水稲や観光いちごで農福連携を推進。暖房には地元産木質ペレットを活用。

基本情報

- 所在地：福井県あわら市
- 選定表彰：
  ・ノウフク・アワード2025優秀賞
- 主力商品・イベント：
  農福連携商品
  （農作物）米・大豆・メロン・いちご・さつまいも、柿
  （加工品）精米・かきもち・いちごジャム・あんぽ柿・合わせ柿
- 活用した支援施策：
  ・農山漁村振興交付金（農福連携型）（R5）
  ・あわら市ふるさと納税3.0　(R8)

取組の概要

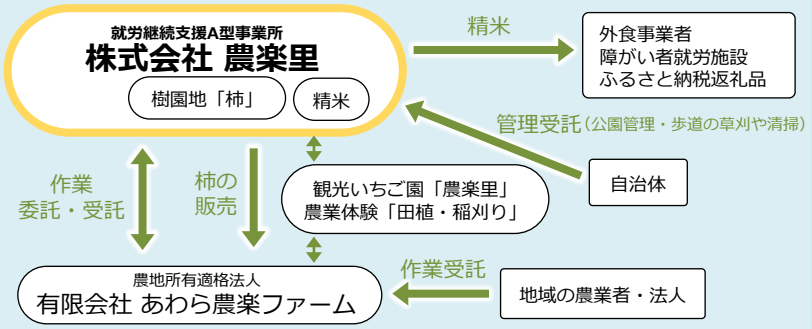
○農作業を分解することで、障がい者が自社事業及び施設外就労の農作業に従事。
○AIやスマート農業を活用することで、障がい者の作業領域を大幅に拡大し、ロボット田植機やアシスト付コンバイン等の操作にも従事。水稲栽培や観光いちご農園など、多様で楽しい農福連携を実現。
○利用者が刈払機作業安全衛生講習、ロボット農機使用者訓練講習、救命講習等を受講し、安全意識と技能の向上を図りながら先進的な農業に取り組む。
○農福連携商品の販売、ふるさと納税返礼品登録、視察・体験交流の受入れ、マニュアルや動画配信による情報発信を通じ、全国への普及啓発と交流人口の拡大を図る。
○中山間地域での農地維持や除草活動、特別栽培農産物（米・メロン）の生産、木質ペレット利用による環境配慮型農業に取り組み、地域景観の維持や持続可能な地域づくりに貢献。
○利用者による自治会活動を通じて、職場ルールの検討や研修・視察の企画立案に主体的に取り組む。


苗の補給の様子


稲刈りの様子


利用者によりデザインされた段ボール箱

体制図



取組の成果

○ 平均賃金月額	71,306円(R2)	→	87,038円(R6)
○ 売上高	642万円(R2)	→	2,145万円(R6)
○ 交流人口	1,409人(R2)	→	10,002人(R6)
○ 農地面積	74ha(R2)	→	105ha(R6)

（主要作業受託面積を含む）

ウェブサイト▶http://www.fukui-norari.jp/

この情報は令和８年6月時点のものです

20-01

SAKU酒蔵アグリツーリズム推進協議会

地域資源：農林水産物、酒蔵、日本酒文化
事業分野：食品、観光・旅行、教育、イベント
事業主体：宿泊施設、食事施設、体験施設、生産者、酒蔵

○酒蔵に蔵人として宿泊滞在し、日本酒造りを体験できる世界初の酒蔵ホテル®を開設し、インバウンドを誘致。
○佐久地域の新たな冬のキラーコンテンツとして、日本酒文化の神秘性、繊細な製造プロセスの魅力を国内外に発信。

基本情報

● 所在地：長野県佐久市

● 選定表彰：
・「食かけるプロジェクト」2020食かける賞
・第８回「ディスカバー農山漁村の宝」特別賞 (R3)
・SAVOR JAPAN認定(R3)

● 主力商品・イベント：
・酒蔵ホテル®
・日本酒造り体験（2泊3日/ 10月～3月）
・麹造り体験（1泊2日/ 4月～9月）

● 活用した支援施策：
・令和元年度 農山漁村振興交付金（農泊推進事業、人材活用事業）

取組の概要

○非観光地である佐久地域への来訪、宿泊滞在を促すため、蔵人体験プログラムは1泊2日または2泊3日にて実施。泊食分離で地域経済の活性化に貢献。
○蔵人体験は英語同時通訳にて実施、ウェブサイト、セミナー資料等も全て英語併記。
○酒蔵での本格的な蔵人体験（2泊3日）の提供に加え、酒蔵契約農家と連携して「酒米づくりからの酒造り、酒蔵レストラン運営」をテーマにした年間プラグラムも体験コンテンツ化し、日本酒ツーリズムを６次産業化として捉え他地域との差別化に注力。



蔵人として本格的な酒造りを体験する参加者



築100年の蔵人の宿舎を宿泊施設にリフォームした「酒蔵ホテル」



周辺飲食店で実施している着地型旅行商品

体制図

SAKU酒蔵アグリツーリズム推進協議会

中核法人	宿泊部門	食事部門	体験・交流部門	その他
・橘倉酒造(株) ・(株)KURABITO STAY	・佐久ホテル ・KURABITO STAY	・お料理れもん ・ともせん手打処 ・若松食堂 ・ビックベン ・鳥忠食堂 ・灯雲（焼き鳥） ・クロワサンス ・ウマバル	・地域内の酒蔵（日本酒セミナー、蔵見学） ・蔵元契約農家（酒米田植え体験） ・お料理れもん（寿司握り体験） ・ともせん手打処（そば打ち体験） ・ぬのや（着付け体験）	・行政（広報支援）

取組の成果

○蔵人体験人数：延320人（R4年度 ※R5.3月時点）
○国内在住の外国籍の顧客（約1割）も含め、顧客満足度は高い（満足度100%）。R4年10月～インバウンド参加が増加、R5年2～3月はインバウンド比率50%達成。（世界16か国から）
○リピーターも多く、インバウンドリピーターも誕生している。

ウェブサイト▶https://sakusake-tourism.com/

この情報は令和5年3月時点のものです

20-02

稲倉の棚田保全委員会

地域資源：農林水産物、景観、文化
事業分野：食品、観光・旅行、教育、アウトドア、イベント
事業主体：農林漁業者、JA、企業、大学、地域おこし協力隊 他

○「棚田米オーナー制度」のほか、地元酒造会社と連携した「酒米オーナー」など消費者ニーズに合わせた農業体験コースを展開し、棚田の保全に加え、都市と農村の交流に取り組む。

基本情報

- 所在地：長野県上田市
- 選定表彰：
  - ・令和4年度農林水産祭むらづくり部門 天皇杯、農林水産大臣賞
  - ・第９回「ディスカバー農山漁村の宝」特別賞 (R4)
- 主力商品・イベント：
  - ・棚田米
  - ・体験観光事業
- 活用した支援施策：
  - ・県営中山間総合整備事業「殿城地区」
  - ・中山間地域等直接支払交付金
  - ・多面的機能支払交付金

取組の概要

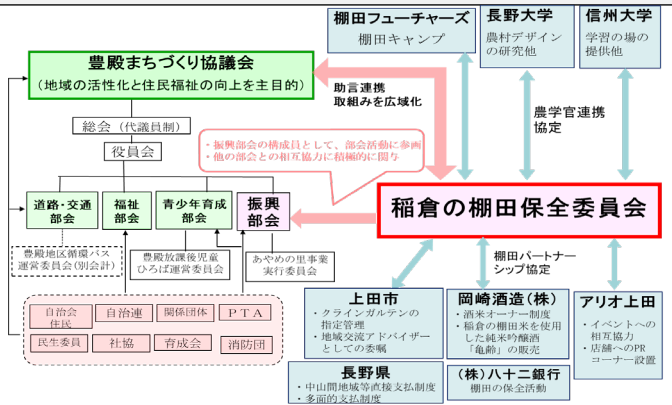
○減農薬栽培を行い、昔ながらの「はざかけ」でゆっくり天日干しした棚田米を地元店舗や直売所等で販売するほか、上田市のふるさと納税の返礼品として提供。
○棚田オーナー制度のほか、地元酒造会社と連携した「酒米オーナー」や気軽に保全活動に参加できる「棚田ファン」など消費者ニーズに合わせた農業体験コースを展開。地元企業とのパートナーシップ協定も締結。
○農閑期の棚田を有効活用した棚田キャンプやノルディックウォーキングイベントなど棚田の地形を生かしたイベントも開催、観光客を誘致。


棚田オーナーによる田植え


酒米オーナー制度


秋の田んぼでキャンプ風景

体制図



取組の成果

○棚田米の販売額　　：300万円
○棚田オーナー　　：70組（H29）→　175組（R5）
○棚田キャンプ参加者：31組（H29）→　 97組（R3）
○棚田への観光客　　：年間2万人超

ウェブサイト▶https://inaguranotanada.com/

この情報は令和5年6月時点のものです

20-03

株式会社 かまくらや

地域資源：農林水産物（そば、トマト）
事業分野：食品、福祉、情報通信
事業主体：地元生産者、高校、大学、食品企業 等

○そばの二期作による収量向上と他品目栽培や、６次産業化による多角化経営を組み合わせ、経営の安定化を実現。
他産業と同等の雇用環境を整備することで雇用の確保を進めるほか、障害者に対しても就労の機会を提供。

基本情報

- 所在地：長野県松本市
- 選定表彰：
  - ・第53回日本農業賞　個人経営の部　農林水産大臣賞（R5）
  - ・農林水産祭 多角化経営部門 日本農林漁業振興会会長賞（R6）
- 主力商品・イベント：
  - ・農産物（そば、トマト、大豆等）
  - ・そばの加工品
- 活用した支援施策：
  - ・多面的機能支払交付金（～R6）
  - ・畑作物の直接支払交付金（～R6）
  - ・水田活用の直接支払交付金（～R6）

取組の概要

○離農する農家の農地や耕作放棄地を引き受けて農地を拡大し、夏と秋に収穫する二期作により収量を高めたそばの生産を中心としつつ、経営の安定化に向け、他品目栽培や、自社の加工施設での加工品製造をするほか、飲食店や土産物店も運営。

○拡大する農地に対応するため、機械化を進めるほか、センサーからの情報による収穫適期予測やクラウドサービスによる農地･作業管理等、ITを活用し効率化も推進。

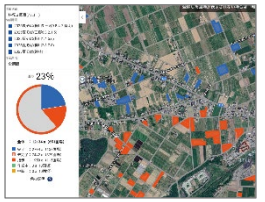
○他産業と同等の雇用環境（給与水準や休日）を整備し、農業高校や大学からの新卒者を中心に雇用。

○就労継続支援A型事業所を設立し、畦畔（けいはん）除草や収穫作業、カット野菜加工等を委託して、障害者の就労の場を提供。

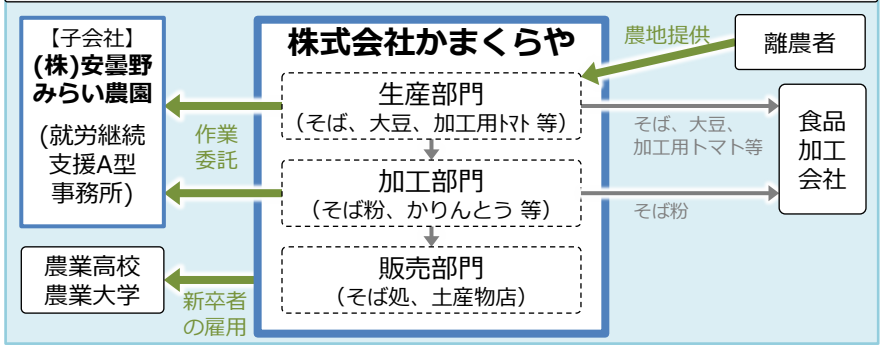

耕作放棄地の整備


そば畑と従業員


そばのかりんとう


圃場管理アプリ

体制図



取組の成果

○農地面積	：18ha（H22）	→230ha（R6）
○農作物の売上	：約1.0億円（R2）	→1.8億円（R6）
○加工品・販売部門の売上	：約3,600万円（R2）	→約7,000万円（R6）
○従業員数	：4名（H22）	→34名（R6）
○就労継続支援A型事務所の利用者数：	6名（R3）	→13名（R6）

ウェブサイト▶https://www.kamakuraya-soba.com

この情報は令和7年6月時点のものです

21-01

世界農業遺産
清流長良川の鮎

地域資源：農林水産物、自然、文化、景観
事業分野：食品、観光・旅行、教育
事業主体：協議会等

○長良川上中流域で盛んな鮎を中心とした内水面漁業と、鵜飼漁等の伝統的な漁法や鮎を使った郷土料理等を継承するため、関連商品の認定制度や「あゆパーク」を通じた普及啓発や情報発信に取り組む。清流の保全により、美濃和紙や郡上本染などの伝統工芸の継承にも貢献。

基本情報

- 所在地：岐阜県長良川上中流域（岐阜市、関市、美濃市、郡上市）
- 選定表彰等：世界農業遺産認定（H27.12認定）
- 主力商品・イベント：
  - 人の生活、水環境、漁業資源が連環する里川のシステム「長良川システム」
  - 清流長良川の恵みの逸品（鮎加工品等）
  - 清流長良川あゆパーク
  - 世界農業遺産「清流長良川の鮎」体感モデルツアー
- 活用した支援施策：
  - 内閣府 地方創生交付金

取組の概要

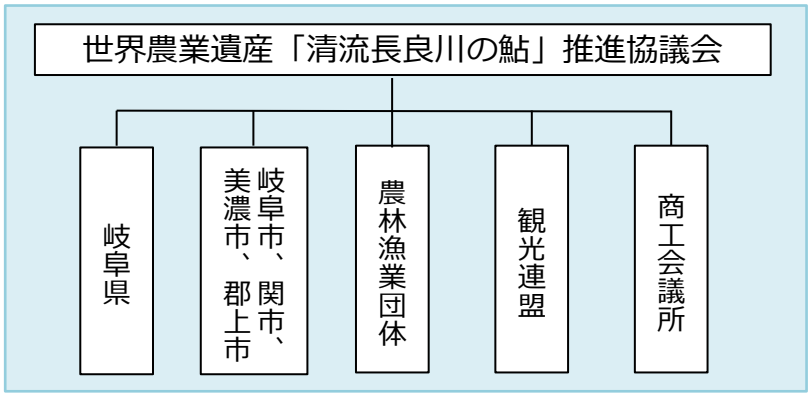
○世界農業遺産認定を地域振興に活かすため、「清流長良川の鮎」の普及啓発や保全・継承につながる農林水産物をはじめとした関連商品を「清流長良川の恵みの逸品」として認定する制度を創設。
○「清流長良川あゆパーク」を世界農業遺産「清流長良川の鮎」の情報発信の拠点として活用し、川と魚に親しむ体験学習を通じて、鮎漁業など水産業の振興・発展を図る。
○長良川システムへの理解を深めるため、世界農業遺産「清流長良川の鮎」体感モデルツアーを実施。


伝統的な漁法「鵜飼」


清流長良川あゆパーク


体感モデルツアー

体制図



取組の成果

○清流長良川の恵みの逸品認定商品数：55商品（R4.7）
○清流長良川あゆパーク来場者数： 69万人（R5.2）
○モデルツアー参加者：65人（R3.11）

ウェブサイト▶https://giahs-ayu.jp/

この情報は令和5年3月時点のものです

21-02

有限会社 萬里

地域資源：農林水産物
事業分野：食品、観光・旅行、福祉
事業主体：加工事業者、宿泊事業者、農林漁業者、NPO等

○飛騨地域の伝統食である「えごま（あぶらえ）」を農家、福祉事業所に呼びかけて栽培し、実から搾油した「えごま油」を通販等で受注生産。高山市の「飛騨高山あぶらえ研究会」と連携して生産拡大と地域の所得向上に貢献。

基本情報

- 所在地：岐阜県高山市
- 選定表彰等：
  - 「ぎふ女のすぐれもの」(R4認定)
  - 第６回「ディスカバー農山漁村の宝」東海農政局選定 (R1)
  - メイド・バイ飛騨高山認証（H30）
  - 「飛騨・美濃すぐれもの」（H29認定）
  - 総合化事業計画（H29.２認定）
- 主力商品・イベント：
  - 飛騨生搾りえごま油
  - 飛騨えごまパウダーセット
  - 民宿（自社経営）での料理提供
- 活用した支援施策：
  - H29、30ものづくり補助金

取組の概要

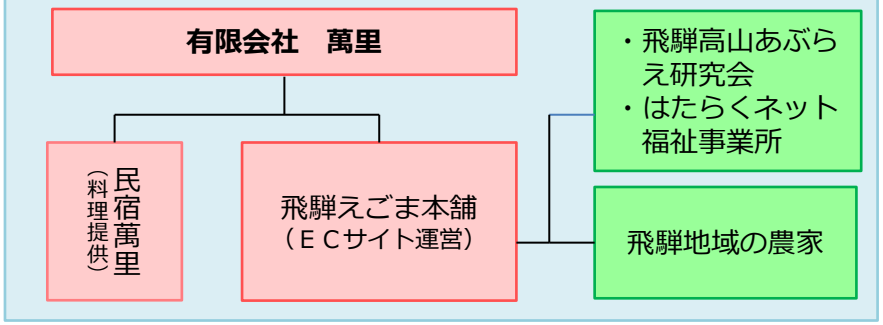
○飛騨地域の伝統食である「えごま（あぶらえ）」の栄養分と寒冷高地でも栽培でき獣害を受けにくいという利点に着目し、平成27年に4ａの畑で栽培開始。
○平成21年設立の「飛騨高山あぶらえ研究会」と地域の福祉事業所を中心に栽培面積が拡大、現在、飛騨地域の農家等約100人から買い取り。
○農家と障害者の収入源として取組を促進することで耕作放棄地の解消に寄与。
○事業当初はえごまの実を販売していたが、平成29年から低温圧搾した「えごま油」を販売。その後、搾り粕を使用したパウダー等の加工商品を開発。通販を中心に自社ECサイト等で全国的に珍しい受注生産での「生搾りえごま油」を販売。


えごま畑の景観


えごまの６次化商品


搾油作業風景

体制図



取組の成果

○農産物、６次化商品の売上：27.5万円（H27）→　3,000万円（R4）
○買取農家数　：4人（H27）　→　102人（R4）
○買取数量　　：0.05ｔ（H27）→　2.8ｔ（R4）

ウェブサイト▶飛騨えごま本舗　https://hidaegoma.jp/
民宿萬里　https://banri.com/

この情報は令和5年3月時点のものです

21-03

株式会社 もみじかえで研究所

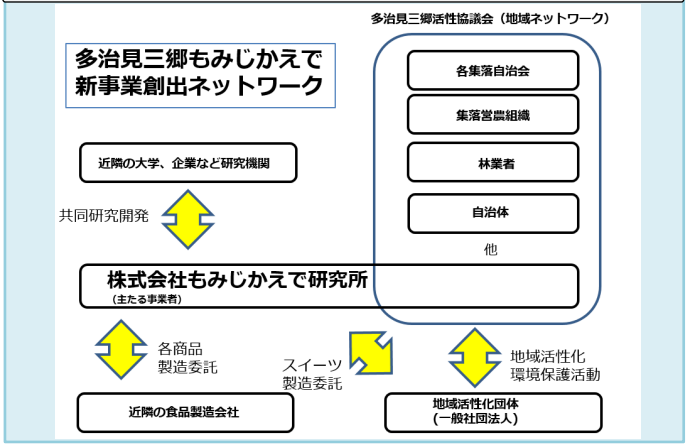
地域資源：農林水産物（食用もみじ）
事業分野：食品、健康・医療
事業主体：農林漁業者、協議会、大学等

○多治見市を世界一の「もみじ」の町にすることを目指し、耕作放棄地や遊休農地、山林の非利用斜面に「もみじ」を植え、「もみじ葉」を原料とした商品の製造・販売を実施。

基本情報

- 所在地：岐阜県多治見市
- 選定表彰：
  - ・豊かなむらづくり全国表彰事業・農林水産大臣賞受賞（R2）
    ※同研究所が中心となり設立した多治見三郷活性協議会が受賞
- 主力商品・イベント：もみじ加工品
- 活用した支援施策：
  - ・総合化事業計画認定（H28、R3）
  - ・農山漁村発イノベーション推進支援事業（R4～）

体制図

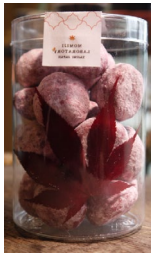


取組の概要

○ 日当たりや水はけが悪く農業に向かない耕作放棄地や遊休地、荒廃した山林を借り受け、食用もみじを栽培（5ha、4千本）。
○ 食用もみじを使用し、「もみじ茶」や「もみじエキス」、「もみじサイダー」、「ドライもみじ葉」等の加工品の開発・販売を実施。海外展開を見据えた新ブランド「MapleLaboratory」も創出。
○ 今後、もみじ葉を使った「スイーツ」や「ヘルスケア商品」などの開発を自社ならびに地域の独自技術を持つ団体と取り組み、更なる地域雇用の創出と地域の発展を目指す。地域製造者とのスイーツ製造、近隣の大学や企業との機能性食品・コスメの共同研究開発を行う。


もみじ茶とドライもみじ葉


もみじサイダー


もみじスイーツ（緋鞠（ひまり））


カエデ属植物の研究

取組の成果

○売上高　：5.3百万円（H28）→　8.5百万円（R4）
○雇用　　：3名（H28）　　→　6名（R4）
○生産者所得(時給)の向上：約870円/人（H30）→　約1,150円/人（R5）
○耕作放棄地、遊休農地、荒廃山林の農地としての再活用：3ha（H28）→　5ha（R4）
○もみじ葉の生産量　：0.55t（H28）→　1.5t（R4）
〇自社商品の商品数　：5 (H28)　　→　15 (R5)
〇輸出国　　：0 (H28)　　→　7 (R5)

ウェブサイト▶https://www.momijikaedelab.jp/

この情報は令和6年3月時点のものです

23-01

株式会社 田原観光情報サービスセンター

地域資源：農林水産物、農業、自然
事業分野：加工・販売、観光・旅行
事業主体：民間業者、民間法人、市町村

○道の駅内に加工施設を設けて、農産物の加工・製造・販売と農業者の商品開発を支援。
○地域の食・食文化、農林水産業及び再生エネルギー施設等をめぐるSDGsを絡めたツアー等を企画・運営。

基本情報

- 所在地：愛知県田原市
- 選定表彰等：
  - SAVOR JAPAN認定（R4）
  - 農商工等連携事業計画認定（R3）
  - 第二種旅行業取得（H30）
  - 外国人観光案内所カテゴリーⅠ認定（H30）
- 主力商品・イベント：
  - SDGsを学ぶ花育プログラム１Dayバスツアー　等
  - 農産物や６次化商品等の販売（道の駅）
- 活用した支援施策：
  - 地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業（R4観光庁）
  - 地域文化財総合活用推進事業（R4文化庁）
  - 地域の磨き上げを通じた域内連携促進に向けた実証事業（R3観光庁）

取組の概要

○ 平成4年に商工会、JA、漁協の出資により(株)田原観光情報サービスセンターを設立。
○ 平成5年に道の駅田原めっくんはうす（農産物直売所等）の指定管理を受託。
○ 平成30年に道の駅田原めっくんはうす内に加工施設「めっくんもぐもぐ工房」を新設し、地域資源を活用したオリジナル商品を開発・販売。テストキッチンとしても機能。
○ 令和3年度農商工等連携事業計画認定。地域の食・食文化、農林水産業及び再生エネルギー施設等をめぐる観光ツアーや、SDGsを絡めたツアーを企画・運営。


道の駅田原めっくんはうす


加工施設
「めっくんもぐもぐ工房」



加工施設で商品開発した
ドレッシング

体制図

株式会社田原観光情報サービスセンター

- 株主総会
- 代表取締役
- 取締役会
- 道の駅の指定管理者
  - ○めっくんはうす
    - ・めっくんもぐもぐ工房
  - ○あかばねロコステーション
  - ○伊良湖クリスタルポルト
- 旅行業：ＤＭＯ部門

取組の成果

○道の駅めっくんはうすにおける農産物、６次化商品等の売上：
9.2億円（H30）　→　9.6億円（R3）
○農業者からの商品開発支援の委託受注数：
H31以降、毎年60～70品を受注
○農業者の商品開発支援による製品の売上：
484.0万円（H31）　→1,314.1万円（R3）

ウェブサイト▶https://tahara-michinoeki.com/

この情報は令和5年3月時点のものです

23-02

株式会社 デイリーファーム

地域資源：鶏卵
事業分野：食品、観光、イベント
事業主体：農林漁業者、観光協会、観光事業者

○「たまごで人をしあわせに」を経営理念に、安全・安心でおいしい卵の生産に加え、卵を使用した洋菓子、農家レストラン、ベーカリー事業の展開や観光と連携した体験ツアーの実施等により、地域の関係人口の創出に貢献。

基本情報

- 所在地：愛知県常滑市
- 選定表彰：
  - 「農林水産祭」多角化経営部門 内閣総理大臣賞（R5）
  - 第10回「ディスカバー農山漁村の宝」優秀賞（R5）
  - 全国優良経営体表彰 ６次産業化部門 農林水産大臣賞（R4）
- 主力商品・イベント：
  - 鶏卵、パン、洋菓子
- 活用した支援施策：
  - ６次産業化ネットワーク活動交付金（H25）
  - 農山漁村振興交付金 農山漁村発イノベーション等整備事業（R4）

取組の概要

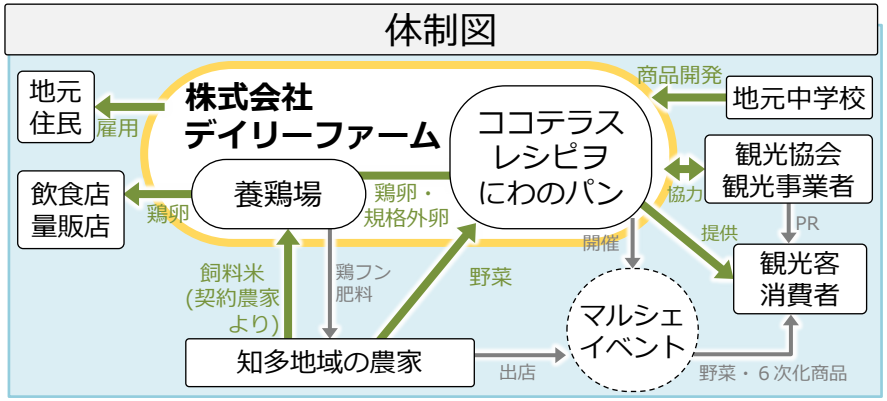
○「たまごで人をしあわせに」を経営理念に、遺伝子組み換えでない飼料原料や地域で採れた米をエサとして使用し、市場価格より高い値段で販売。
○平成27年に、安全・安心なたまごを通じて健康に貢献したいという思いを消費者に届けられるよう、卵を原料とした洋菓子店「ココテラス」をオープンするとともに、うみたて卵の直売事業を開始。
○平成30年に、卵を使用したメニューを提供する農家レストラン「レシピヲ」、令和5年6月には、ベーカリー「にわのパン」を開店。
○地元農家を巻き込んだマルシェ、常滑観光協会・名鉄観光とコラボした卵を使用した菓子作りなどの体験ツアーや、地元中学生とオリジナルの商品を開発する等、地域の魅力を発信する「たまごのテーマパーク」化を目指す。


飼料米を使用した卵


ココテラスの卵スイーツ


中学生との商品開発

体制図



取組の成果

○売上　：約7.4億円（H27）　→　約12.5億円（R5）
○ココテラスの丘への来客数
　：約13万人（H30）　→　約17万人（R4）
○卵の付加価値額*　：41.7円/kg（H26）　→　83.7円/kg（R4）
　* (株)デイリーファームの平均販売価格と市場相場価格の差額
○雇用者数　：41人（H26）　→　120人（R5）

ウェブサイト▶https://dailyfarm.co.jp/

この情報は令和6年8月時点のものです

23-03

株式会社 ココトモファーム

地域資源：農林水産物（米）
事業分野：食品、福祉
事業主体：農林漁業者、菓子製造・販売業者

○農福連携の取組により自社栽培したお米を活用し、バウムクーヘンなどの米粉スイーツを製造・販売。地域外企業との連携や、障害者が活躍する店舗の設置など、地域共生と多様性のある雇用創出を実現。

基本情報

- 所在地：愛知県犬山市
- 選定表彰：ノウフク・アワード2025 グランプリ
- 主力商品：
  （農作物）水稲
  （加工品）米粉バウムクーヘン
- 活用した支援施策：
  ・強い農業・担い手づくり総合支援交付金（R２）

取組の概要

○農業・加工・販売を一体化した６次産業化を実施し、特別栽培米の生産と米粉バウムクーヘン等の加工・販売を展開し、米の高付加価値化と安定収益を実現。
○カフェ経営、祭り（農業祭、ココトモフェスティバル、手話まつり）の開催・参加、見学会（ココトモファームツアー）や農業・収穫体験の開催により交流機会を創出し、地域との関係を強化。
○手話接客の「サイニングストア」では、聴覚障害者が店舗運営を担い、責任者も輩出。
○行政・大学・企業と連携し、商品開発や販路拡大など多分野での協働による事業展開を推進。
○荒廃農地の活用やれんげ農法による生産を行い、ドローンの活用等によるスマート農業の取組も行いつつ、稲作文化と景観保全を両立。

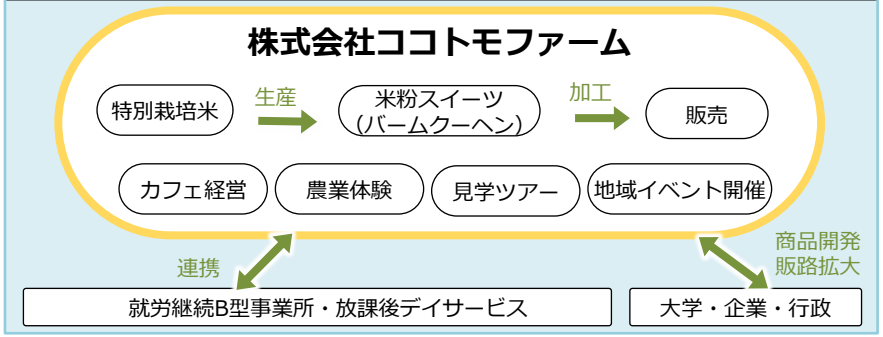

米粉のバームクーヘン



手話まつり


障害者雇用を担う企業と農業交流

体制図



取組の成果

○福祉事業所への請負報酬の支払額：0円（R２）→　782万円（R６）
○農作業に関わる障害者等の数：４人（R２）→　89人（R６）
○売上高：3,280万円（R２）→　56,106万円（R６）
○農地面積：8.2ha（R２）→　11.8ha（R６）

ウェブサイト▶https://www.cocotomo-farm.jp/

この情報は令和８年6月時点のものです

23-04

有限会社 鍋八農産

地域資源：農林水産物（米）、田（作業受託）
事業分野：食品、教育、その他（化粧品）
事業主体：農林漁業者

○ミズホチカラの一貫生産体制を構築し、米パンを開発・販売。販路拡大や運営改善で売上向上を図るとともに、地域交流拠点や地産地消を通じて地域活性化と新たな食文化の創出に取り組んでいる。

基本情報

- 所在地：愛知県弥富市
- 選定表彰：
  ・平成２８年度農林水産祭【天皇杯】
  ・第45回日本農業賞（個別経営の部）
- 主力商品・イベント：
  （農作物）水稲
  （加工品）米粉食パン・米粉菓子パン
  米粉ベーカリー・化粧品
- 活用した支援施策：
  ・農山漁村発イノベーション整備事業（産業支援型）（R5）
  ・プランナー支援（R5）
  ・弥富市飲食店等創業支援金（R6）
  ・総合化事業計画認定（R5）

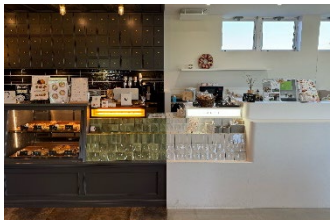
取組の概要

○パン用品種「ミズホチカラ」を自社で栽培し、加工場・直売所「EWALU」を整備。米粉パンの開発から製造・販売まで一貫体制を構築し、米の新たな需要を創出。
○マルシェや百貨店ポップアップ出店、EC販売を実施し、都市部や新規顧客層へ販路拡大を図っている。SNSアンケートを活用した商品開発で顧客参加型の運営を推進。
○モーニング・ランチの時間や価格表示の見直しにより。来店者数と売上を向上を実現。営業時間調整や提供方法の工夫で人件費削減と運営効率化を図っている。
○地元野菜の活用や交流拠点の提供により地域コミュニティの活性化に寄与。グルテンフリーの商品開発や学校給食へ展開することの検討を進め、地域経済循環の促進に貢献している。

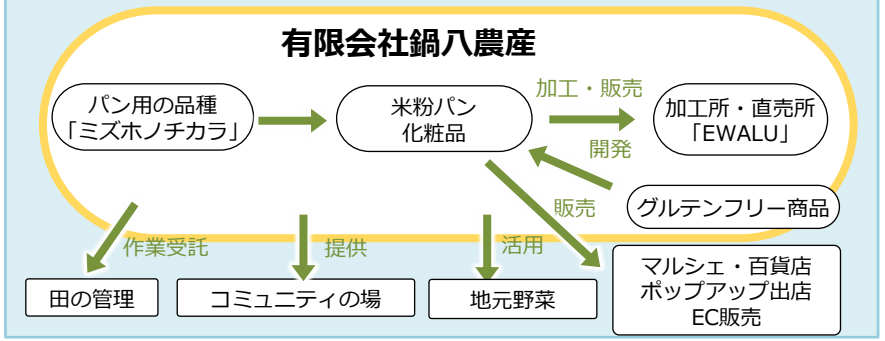


高品質なお米


グルテンフリーパン・ベーグル


加工所・直売所「EWALU」

体制図



取組の成果

○ 経常利益　12万円（R4）→　6,802万円（R6）
○ 人件費　14,955万円（R4）→ 15,294万円（R6）
○ 減価償却費　0万円（R4）→ 3,665万円（R6）
○ 付加価値額　14,967万円（R4）→25,761万円（R6）

ウェブサイト▶http://nabe8.co.jp

この情報は令和８年6月時点のものです

25-01

認定特定非営利活動法人 つどい

地域資源：農林水産物、景観
事業分野：食品、観光・旅行、福祉
事業主体：自治体、自治会、大学、観光協会

○地域の高齢者、障がい者等が、耕作放棄地の棚田で花蓮を栽培。蓮の生花利用、加工品の開発・販売により年間を通じた作業を実現。中高生等への農業体験提供の他、自治体等との連携強化による観光客誘致等を通じ、交流人口を拡大。

基本情報

- 所在地：滋賀県長浜市
- 選定表彰：
  ・第10回「ディスカバー農山漁村の宝」特別賞（蓮と里山の景観賞）（R5）
- 主力商品・イベント：
  ・蓮の生花・加工品
  ・農業体験
  ・蓮の棚田（景観）
- 活用した支援施策：
  ・農山漁村振興交付金（農福連携対策）（R3～）

取組の概要

○高齢者向けの居宅介護支援事業や通所介護事業、障がい者向けの就労継続支援事業の一環として、地域の遊休棚田で蓮を栽培。
○通年での作業を可能とするため、蓮の花びらをジャムへ、蓮の葉をパウダー化して、お茶などに加工・販売するほか、農家カフェの営業も行い、高齢者や障害者の働く場、生きがいづくりの場を提供し、所得の向上を実現。
○中高生等へ農業体験の機会を提供するほか、複数の大学と、「地域再生」、「ソーシャルビジネス」のモデルケースとしての連携を実施。
○地域内外や都市住民の農業体験のほか、自治体や観光協会と連携したツアーや、SNSでの情報発信による観光客誘致を通じて交流人口を拡大。

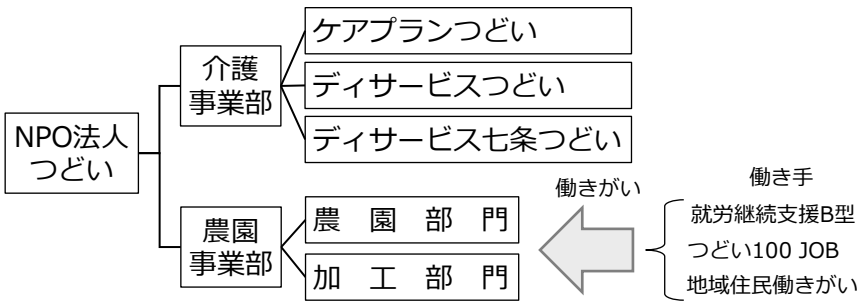

蓮の風景


蓮の花の収穫（高校生就労体験）



左:蓮の葉茶　右:蓮ジャム

体制図



取組の成果

○農園の売上　：7百万円(H30)　→　29百万円(R5)
○ハス園来客数　：約200人 (H30)　→　約13,000人 (R5)
○就労体験等参加人数　：20人(H30)　→　38人(R5)
○B型作業所工賃平均　：5,812円/月(H30)　→　41,400円/月(R5)
（参考：R4年度就労継続支援Ｂ型全国平均工賃：17,031円/月）
○農業に係る障がい者数　：7人(H30)　→　20人(R5)

ウェブサイト▶https://chitoteto.net

この情報は令和6年3月時点のものです

26-01

上世屋定住促進協議会（かみせや）

上世屋 KAMISEYA

地域資源：上世屋のヒト、モノ全て
事業分野：農林業、狩猟、工芸、加工
事業主体：地域住民

○京都府北部・丹後半島の東南部に位置し、「にほんの里100選」にも選ばれた11世帯23人が暮らす小さな集落で、人口の７割を超す移住者が中心となって「上世屋の暮らし」の継承に取り組む。

基本情報

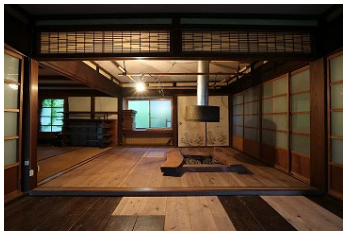
- 所在地：京都府宮津市
- 選定表彰：
  - ・第６回「ディスカバー農山漁村の宝」近畿農政局選定 (R1)
  - ・つなぐ棚田遺産選定
- イベント：
  - ・村人になるインターン
  - ・オンラインご飯会、上世屋キッチン
  - ・上世屋市（いち）、田んぼの生きもの調査
- 主力商品：
  - ・景観（棚田、里山）
  - ・農林産物（米、野菜）、加工品
  - ・ジビエ、クラフトビール
  - ・伝統工芸品（藤織り、和紙）
- 活用した支援施策：
  - ・農山漁村振興交付金（都市農村共生・対流及び地域活性化対策）（H28）

取組の概要

○若手世代は全員が協議会の活動に参画。
○空家を改修した「セヤハウス」を拠点とした移住体験「村人になるインターン」（短期～１か月以上）の受入れや「暮らし」に不可欠な収支情報をHPに掲載し、定住に向けての確かなイメージを提供。
○暮らしを支える生業（なりわい）を創出するため、ジビエ処理施設なども建設。新商品の開発やECサイトで販路も開拓しつつ、上世屋産の魅力をイベントなどで発信。
○「上世屋の暮らしの継承」に賛同する移住者に向け、現地や都市部でイベントを開催。


村びとたち


生業を生み出す棚田


セヤハウスの内部

体制図

上世屋定住促進協議会

事業統括

- 空家や空き農地の活用、調整
- 生業創出（農業や狩猟など）
- 生業創出（加工、販売など）
- 情報発信

取組の成果

○取組開始から増加した若手移住者： 3人（R4.12月現在）
○交流人口： 93人（H28）→ 310 人（R4.12月現在）
セヤハウス利用100人、オンラインご飯会40人、上世屋キッチン40人、上世屋市100人、田んぼの生きもの調査30人
○村人になるインターン：延べ100人（R4.12月現在）
H30:21人、R1:18人、R2:28人、R4:33人

ウェブサイト▶https://kamiseya.com/

この情報は令和5年3月時点のものです

26-02

京都おぶぶ茶苑合同会社

地域資源：農林水産物、景観、日本茶文化
事業分野：食品、観光・旅行、教育、情報通信、イベント
事業主体：町、生産者、茶畑オーナー、国際日本茶協会

○宇治茶生産地にて日本茶の通信販売・輸出するほか、茶畑オーナー制度によりファンを創出。インバウンド向け茶畑ツアーやオンライン教育にも取り組み、国内外に関係人口を創出。

基本情報

● 所在地：京都府和束町

● 選定表彰：
・「食かけるプロジェクト2020」食かける賞
・第50回日本農業賞特別賞（R2）
・第８回「ディスカバー農山漁村の宝」特別賞 (R3)

● 主力商品・イベント：
・お茶
・茶畑ツーリズム

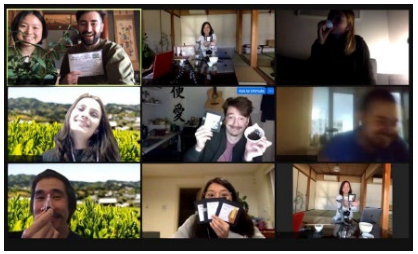
●活用した支援施策：
・事業再構築補助金（R3：経済産業省）
・JAPANブランド育成支援事業（R4：経済産業省）

取組の概要

○平成20年から日本茶の輸出に取り組み、世界116か国に茶葉を直送可能な体制を確立するとともに、年４回茶畑直送の茶葉が届く「茶畑オーナー制度」の取組を実施。
○茶産地を日本茶文化の体験型観光地として発展。平成24年からインバウンド需要に応え、外国人スタッフを雇用し多言語化も実現。
○世界中どこからでも茶農家から直接日本茶について学べるオンラインプログラム「Online Tea Education」を令和3年から開始。Withコロナ時代に発達したオンライン教育部門にも参入し、新たな日本茶のビジネスを展開。


オンライン茶摘みイベント


インバウンド茶畑ツアー


Online Tea Educationの様子

体制図



取組の成果

○輸出額の増加：900万円（H27）→　2,500万円（R2）
→　4,500万円（R3）
○ティーツアー参加者の増加：761人（H27）→　1,590人（R1）
→　150人（R3）→　2,000人超（R4見込み）
○茶畑オーナー：720名（R3）

ウェブサイト▶https://www.obubu.com/

この情報は令和5年3月時点のものです

26-04

伊根浦地区農泊推進地区協議会

地域資源：農林水産物、舟屋、文化
事業分野：食品、観光・旅行
事業主体：協議会（町、農林漁業者、酒蔵、金融機関等）

○地域内に230軒立ち並ぶ舟屋を活用した宿泊施設と食事施設を整備。宿泊と食事を別施設で提供する「泊食分離」の実現によって宿泊施設の開業を促進。

基本情報

● 所在地：京都府伊根町

● 選定表彰：
・第９回「ディスカバー農山漁村の宝」(R4)
ビジネス・イノベーション部門優秀賞
・第13回観光庁長官表彰（R3）

● 主力商品・イベント：
・舟屋を活用した農泊

● 活用した支援施策：
・農山漁村振興交付金（農泊推進対策）

取組の概要

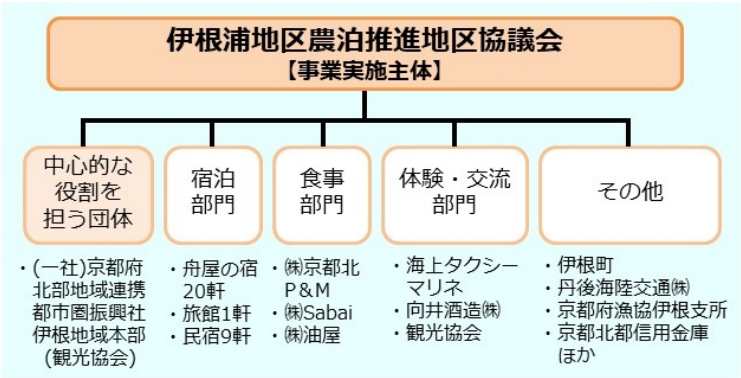
○平成30年に協議会を設立し、宿泊施設や飲食店などの観光関連施設だけでなく、生産者や金融機関など多分野の事業者と連携し、農泊を推進。
○生活の一部を切り取った体験として、個人宅での小さな漁業「もんどり」体験や漁具づくり体験、刺身づくり体験などを提供。海と寄り添った暮らしの中に息づく持続可能な日常を通じて、海の豊かさや魚介類の品質の良さを味わうことができる滞在型観光を推進。


伊根湾の「舟屋」


舟屋を改修した宿泊施設


小さなかご網漁「もんどり」体験

体制図



取組の成果

○宿泊施設の売上：約8千万円（H29）→ 約1.9億円（R4）
○宿泊施設数　　：15軒（H29）　→ 30軒（R4）
○のべ宿泊数　　：約6千人（H29）　→ 約1万3千人（R4）

ウェブサイト▶https://www.ine-kankou.jp/first

この情報は令和5年6月時点のものです

27-01

株式会社 漁師鮮度

地域資源：農林水産物（牡蠣、その他魚介類）
事業分野：食品、観光・旅行、福祉、教育、アウトドア、イベント
事業主体：漁業協同組合、自治体

○漁協と民間企業が出資して会社を設立。単なる牡蠣の養殖やカキ小屋の運営だけでなく、観光、アクティビティ、環境保全など様々な分野に展開し、関係人口の創出を目指す。

基本情報

- 所在地：大阪府阪南市
- 選定表彰：
  ・なし
- 主力商品・イベント：
  ・牡蠣、魚介類
  ・漁業体験、マリンアクティビティ
- 活用した支援施策：
  ・６次産業化サポート事業（R3）
  ・農山漁村発イノベーションサポート事業（R4～）
  ・阪南市市内企業活性化支援事業補助金（R4）
  ・サービス等生産性向上IT導入支援事業（R5）

取組の概要

○カキ小屋を市の地域活性化プラットフォームとすることを目指し、漁業協同組合と民間企業との共同出資で設立。
○牡蠣の養殖、カキ小屋経営、水産物加工・販売、観光漁業、マリンアクティビティ、環境保全事業など様々な分野で地域を牽引。

- 牡蠣の養殖　　：年間を通じた養殖管理と出荷（オーナー制度も実施）
- カキ小屋経営　：カキ小屋の営業、飲食提供
- 水産加工・販売：水揚げされた魚介類、牡蠣の販売、ネット注文販売
- 観光漁業　　：すだて遊び、定置網漁体験、カキ作業体験　など
- マリンアクティビティ　：シュノーケリング、ダイビングなど
- 環境保全事業　：アマモ場再生、ブルーカーボンの創出、調査研究支援など

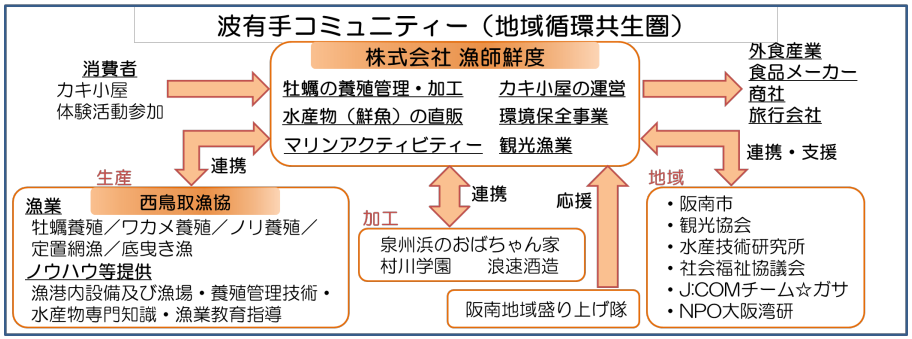

牡蠣の養殖管理



すだて遊び体験


カキ割り作業体験

体制図



取組の成果

○経常利益　　：1,530万円（R3）　→　2,949万円（R4）
○カキ小屋の来客数（延べ人数）：
　　約6,000人（R3）　→　約7,500人（R4）
○すだて遊び体験の来客数（延べ人数）：
　　0人（R3）　→　約400人（R4）

ウェブサイト▶https://ryoushi-sendo.co.jp/

この情報は令和6年3月時点のものです

28-01

淡路島ワイナリー合同会社

地域資源：農林水産物（ぶどう）、景観
事業分野：食品、観光・旅行、福祉
事業主体：農林漁業者、飲食店、ホテル

○地域のランドマークを目指し、地元産ワインを提供するためのワイナリー、レストラン、ショップを整備。持続可能な農地管理や里山景観の保全に向けた取組を推進するため、地域の高齢者や障害者等が作業に参画できる体制を整備。

基本情報

- 所在地：兵庫県淡路市
- 主力商品・イベント：
  ・ワイン用ぶどう、ワイン、果樹、ハーブ
  ・ヴィンヤードツアー（農業体験）、収穫祭
- 活用した支援施策：
  ・総合化事業計画認定（R5）
  ・農山漁村振興交付金
  －農山漁村発イノベーション都道府県サポート事業（R4）
  －農山漁村発イノベーション整備事業(産業支援型)（R5）

取組の概要

○ ワイン用ぶどうを栽培する農家とイタリアンレストランを営むシェフが、地元産ワインの醸造、提供をするため、令和4年に同社を設立。

○ 農山漁村発イノベーション都道府県サポート事業による支援を受けて事業計画を策定後、同 整備事業（産業支援型）を活用し、淡路島初のワイナリーのほか、地元食材を提供するレストランやショップを整備。

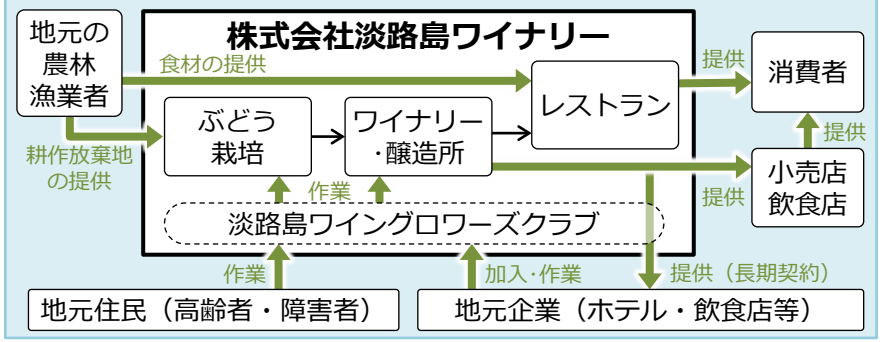
○ 耕作放棄地の受け入れに伴い農地が拡大する中、持続可能な農地管理や里山景観の保全を目指す「淡路島ワイングロワーズクラブ」を設立。加入企業の従業員のほかに、地域の高齢者や障害者もぶどう栽培やワイン醸造の作業に参加。


レストランとショップが併設されたワイナリー


ワイン用ぶどうの収穫


ワインや地元食材メニューを提供するレストラン

体制図



取組の成果

○作付面積	：1.5ha(R4)	→3ha(R6)
○雇用者数	：0名(R4)	→12名（R6）
○レストラン、ショップの利用者	：0名（R4）	→9,800名（R6）
○レストラン・ワインの売上	：600万円（R4）	→3,000万円（R6）
○ブドウ収穫・選果作業体験者	：55名（R4）	→126名（R6）
○ボランティア参加者	：43名（R4）	→108名（R６）

ウェブサイト▶https://www.awajishima-winery.com/

この情報は令和7年6月時点のものです

29-01

空中の村

地域資源：農林水産物、木材、景観
事業分野：食品、観光・旅行、情報通信、アウトドア
事業主体：村、飲食事業者、観光事業者

○森林を活用したアウトドア施設「空中の村」の管理、運営を行い、地元産食材を使用した弁当の提供なども展開。
村の新たなツーリズムの拠点施設として、誘客を促進。

基本情報

● 所在地：奈良県十津川村

● 選定表彰：
・第８回「ディスカバー農山漁村の宝」特別賞 (R3)
・にっぽんの宝物 Japan大会 2020/2021 Visit Japan部門　準グランプリ
・第５回「はなやかKANSAI魅力アップアワード」モデル性部門（R4）

● 主力商品・イベント：
・森林アウトドア施設
・地元産食材を使った弁当

● 活用した支援施策：
・森林環境譲与税
・もっと良くなる奈良県市町村応援補助金

取組の概要

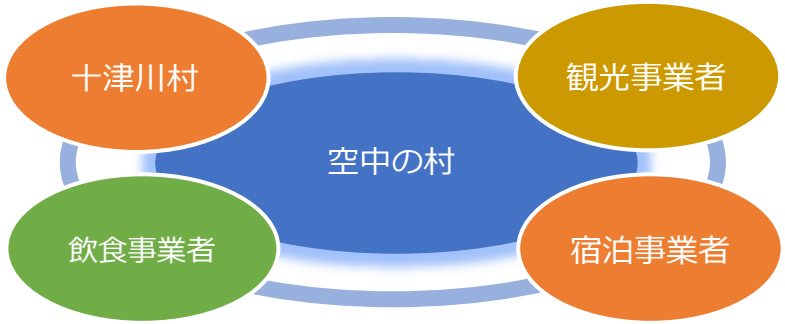
○フランス国籍の元地域おこし協力隊員が、地域の森林を活かし、アート×アスレチック×憩いの場を融合させたアウトドア施設を整備。
○アスレチックだけではなく、施設内で地元産食材を使った弁当や有機ドリンクを提供するほか、読書や昼寝もできる憩いの場を提供。
○ワーケーションの受入環境の整備を実施。


十津川産材を使用した
ツリーハウス製作


ぐねぐね橋


森林内で憩いの場を提供

体制図



取組の成果

○来園者数の増加：約3,800人（R2）→ 約5,200人（R3）
○施設内のベンチや遊具等には十津川産材をふんだんに使用し、施設内で提供される弁当には地元の食材を使用するなど、村内の資源を有効活用。

ウェブサイト▶https://kuuchuu-no-mura.com/

この情報は令和5年3月時点のものです

29-02

社会福祉法人 青葉仁会（あおはにかい）

地域資源：農林水産物、廃校
事業分野：食品、観光・旅行、福祉、教育、イベント
事業主体：食品製造業者、食料品店

○荒廃農地再生と多品目栽培を基盤に、福祉と連携した加工・販売や観光農園の運営、収穫祭を通じて地域活性化と販路拡大、フードロス削減を推進。

基本情報

- 所在地：奈良県奈良市
- 選定表彰：
  - 米・食味分析鑑定コンクール2018国際大会 プレミアムライセンスグッドファーマー
  - 令和5年度 循環型社会形成推進功労者 環境大臣表彰
  - ノウフク・アワード2023グランプリ
- 主力商品・イベント：
  - (農作物) 米、さつまいも、ブルーベリー、玉ねぎ
  - (加工品) 干し芋、レトルト・冷凍食品、菓子等
- 活用した支援施策：
  - 農山漁村振興交付金　農福連携（R３～４）

取組の概要

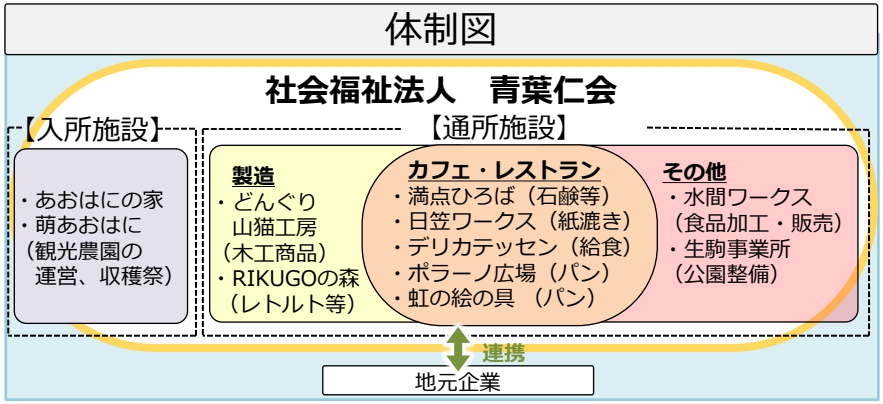
○荒廃農地を再生し、米・さつまいも・玉ねぎ・じゃがいも等の主力作物に加え季節野菜20種類以上やブルーベリー・栗などの果樹を栽培。多品目の農業生産体制を構築。
○収穫祭を開催し、県内外から来場者を集めることで地域交流と集客を促進し、農業体験や観光的価値の創出に取り組んでいる。
○収穫物を法人内のカフェ・レストランで活用するとともに、ジャム・カレー・干し芋・惣菜等の加工品を製造し、障害者が中心となって働く就労機会を創出している。
○OEM受託や自社製品を全国展開するなど、販路拡大に努めている。
○地元企業と連携して廃棄予定の野菜の端材を加工・販売する体制を整備し、フードロス削減を推進している。


米粉製品


カフェ・レストラン「ハーブクラブ」


あおはにの家

体制図



取組の成果

・耕作放棄地の再生（作付面積）	0.8 ha（H24） → 10 ha（R7）
・農作物収穫量	1 t（H24） → 60 t（R7）
・ブルーベリー園来園者数	200人（H24） → 5,400人（R7）
・農業に係わる利用者数	15人（H24） → 60人（R7）
・雇用者数	252人（H24） → 393人（R7）

ウェブサイト▶https://aohani.org/

この情報は令和８年6月時点のものです

30-01

株式会社 日向屋（ひなたや）

地域資源：農林水産物、ジビエ
事業分野：食品、観光・旅行、教育、情報通信
事業主体：農林漁業者、ジビエ処理施設、レストラン

○鳥獣害をはじめとした地域課題に立ち向かうため、若手農家が自ら会社を立ち上げ、農業生産を中心に、新商品開発、農作業受託、狩猟活動を実施。ジビエ処理施設やレストランとも協業し、狩猟・ジビエを活用し地域を活性化。

基本情報

- 所在地：和歌山県田辺市
- 選定表彰：
  - ・鳥獣害対策優良活動表彰　農林水産大臣賞（R4）
  - ・第８回「ディスカバー農山漁村の宝」(R3)
  - ・第52回日本農業賞　食の架け橋部門特別賞（R4）
- 主力商品・イベント：
  - ・ジビエ、みかんや梅の加工品
  - ・狩猟、収穫体験ツアー

取組の概要

○地域内のジビエ解体処理施設やジビエ料理店との連携により、捕獲から処理・加工、調理、販売の連続した体制を構築。
○衛生管理ガイドラインの遵守等に取り組むジビエ処理施設に与えられる「わかやまジビエ処理施設衛生管理認証」を取得しているほか、個体の引き取りに関するガイドラインを作成し、ジビエの品質維持に努める。
○ICT技術の導入による捕獲活動の効率化、小中学生向けにジビエへの理解を深める食育活動を進めるほか、耕作放棄地を果樹園に再生することにより鳥獣被害の軽減にも貢献。


狩猟体験事業


ジビエを活用したドッグフード


農作業の受託

体制図



取組の成果

○売　　上：500万円（創業当初）　→　3,800万円（R4）
○雇　　用：５名（創業当初）　→　12名（R4）
○交流人口：50人（創業当初）　→　400人（R1）
○ジビエ利活用頭数：0頭（H29）　→　600頭（R3）

ウェブサイト▶https://team-hinata.com/

この情報は令和5年6月時点のものです

30-02

世界農業遺産地域
みなべ・田辺の梅システム

地域資源：農林水産物、景観
事業分野：食品、観光・旅行、教育、アウトドア、イベント
事業主体：農林漁業者、町、市、県、ワーケーション推進団体

○400年にわたり高品質な梅を持続的に生産するみなべ・田辺地域は、薪炭林（ウバメガシなどの広葉樹）による水源涵養（かんよう）や崩落防止等の機能保持、ニホンミツバチの生息環境の提供、高品質な「紀州備長炭」の生産への寄与により、「世界農業遺産」に認定。ワーケーションと結び付けることで、梅収穫期の労働者確保と交流人口の増加を実現。

基本情報

- 所在地：和歌山県みなべ町、田辺市

- 選定表彰：
・平成27年12月世界農業遺産認定

- 主力商品・イベント：
・南高梅、紀州備長炭
・梅まつり・観梅（2月）
・梅収穫ワーケーション（5～7月）

- 活用した支援施策：
・みなべ・田辺地域世界農業遺産推進協議会
運営活動費　地方創生推進交付金（内閣府）

取組の概要

○「農業遺産」と「ワーケーション」を結びつけた「梅収穫ワーケーション」をみなべ町にて実施※1 ※2。

○梅収穫時期に都市部からワーケターを募り※3、仕事の合間に梅農家の作業を手伝ってもらうことで、農家の作業負担が軽減されるとともに、都市部の人々との新たな交流にも貢献。

○SNS上でワーケーションの周知、応募フォームの掲載、参加者への説明会・意見交換会を実施。ワーケターの滞在期間及び作業時間に合わせて梅農家とマッチング。

※1 運営主体：R4年度 Team WAA!、
R5年度 (一社)日本ウェルビーイング推進協議会 世界農業遺産活性化プロジェクト
※2 旅費・宿泊費などは参加者負担
※3 R4年度は1か月間（6月）、R5年度は3か月間（5～7月）

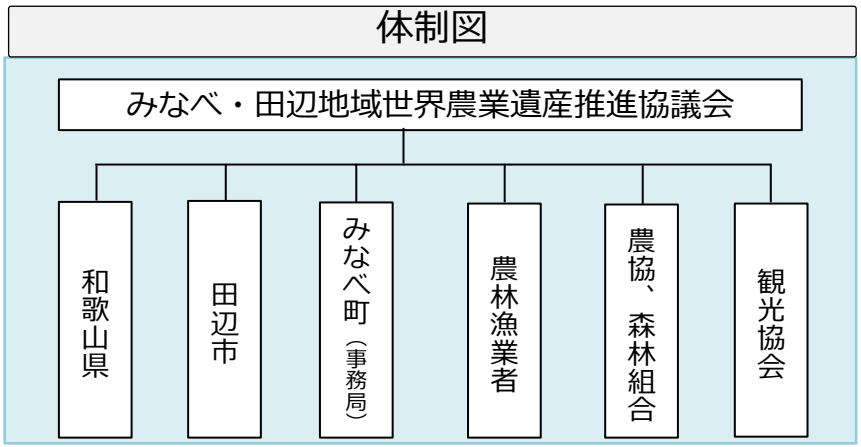


南高梅



梅収穫ワーケーション

体制図



取組の成果

○ワーケーション参加人数：のべ240人、11軒の農家が受け入れ（R4）

○梅収穫の総活動時間：1,356時間
（時給1,500円換算で約200万円の人件費削減）

○梅収穫ワーケーションから学ぶ講演会を開催

○ワーケーション開催期間の拡大：1か月(6月)（R4）→3か月(5～7月)（R5）

ウェブサイト▶https://www.giahs-minabetanabe.jp/

この情報は令和5年6月時点のものです

31-01

一般財団法人 境港市農業公社

地域資源：和綿「伯州綿」、栽培サポーター
事業分野：地域活性化、加工・販売等
事業主体：市、市農業公社

○遊休農地解消対策として、栽培サポーター（住民ボランティア）制度を導入し、伝統的地域資源（伯州綿）を栽培。
○収穫した伯州綿を新生児や高齢者向けの製品に加工、市のお祝品とするとともに、体験学習やイベントなどを実施。

基本情報

- 所在地：鳥取県境港市
- 選定表彰：
  ・第27回「ふるさとイベント大賞」ふるさとキラリ賞（R5）『てぬぐいひらひら』
- 主力商品・イベント：
  ・新生児向け「伯州綿おくるみ」
  ・高齢者向け「伯州綿ひざかけ」
  ・「境港手拭」
  ・「てぬぐいひらひら」（毎年秋イベント）
  ・親子を対象とした種まき体験、収穫体験
- 活用した支援施策：
  ・国の緊急雇用創出事業（H21～H26）

取組の概要

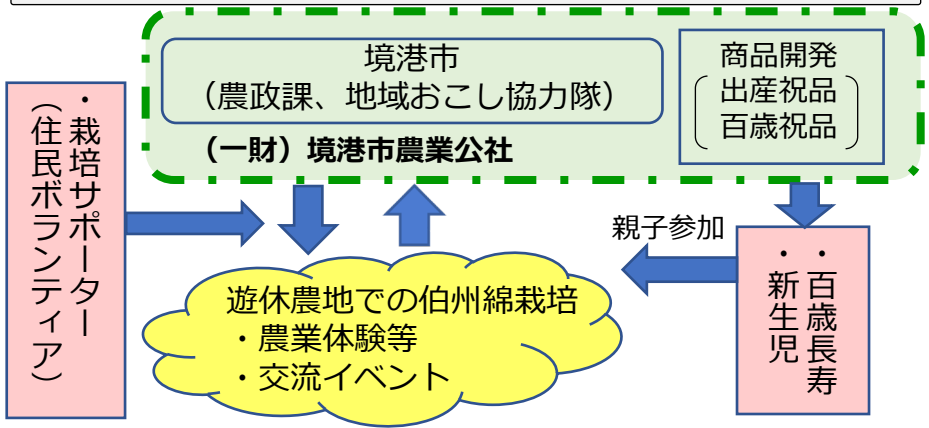
○遊休農地解消にむけ伝統的地域資源である和綿「伯州綿」の継承のため栽培を再開し、地元住民による栽培サポーター制度を導入。
○収穫した綿を加工して商品開発。「おくるみ」「ひざかけ」は市に販売し、新生児や高齢者へのお祝い品として活用。
○小学生の体験学習、てぬぐいイベントや収穫体験等を開催し、認知度向上と交流人口の増加につなげている。


伯州綿種まき参加者


「てぬぐいひらひら」の会場


伯州綿100%のおくるみ

体制図



取組の成果

○伯州綿栽培面積：1.2ha、収量：約750kg（R4）
○栽培サポーター：46組136人（R4）
○境港市の地域おこし協力隊が卒業後に１名定住
○毎年秋のイベント（てぬぐいひらひら）には1000人以上の来場者。
○複数の民間企業による商品開発や販路開拓によるブランド化

ウェブサイト▶http://hakushu-cotton-sakaiminato.jp/

この情報は令和5年3月時点のものです

31-02

NPO法人 bankup（旧学生人材バンク）

地域資源：学生人材、農林水産物
事業分野：食品、地域振興、人材育成企画等
事業主体：NPO、大学、銀行、自治体

○中山間地域の農作業・農地保全・祭り補助などに大学生ボランティアを20年以上継続して派遣。
○大学生が主軸となった、数々の地域活性化プロジェクトを実施し、起業・就農・定住に向けた支援に取り組む。

基本情報

- 所在地：鳥取県鳥取市
- 選定表彰：
  - ・オーライ！ニッポン大賞（H20）
  - ・食と農林漁業大学生アワード農林水産大臣賞（H28、H30、R2）
  - ・第９回「ディスカバー農山漁村の宝」特別賞 (R4)
  - ・ふるさとづくり大賞（R4）団体賞
- 主な取組み：
  - ・田舎戦隊三徳レンジャー（米の生産販売）
  - ・農村16キップ（農山村ボランティア派遣）
  - ・鳥取シゴト留学（外部人材活用）など
- 連携した施策：
  - ・鳥取県農山村ボランティア事務局事業

取組の概要

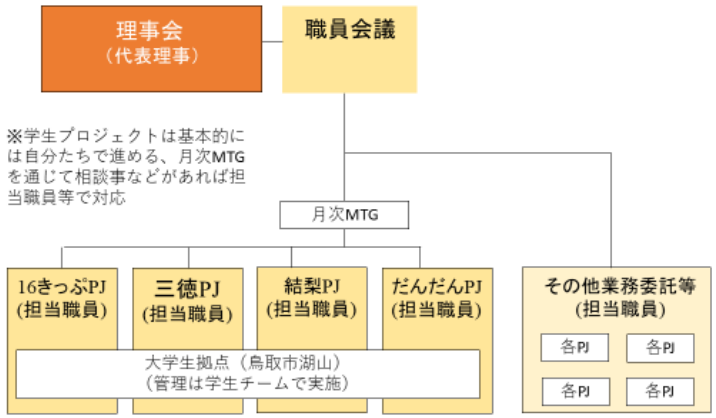
○鳥取大学農学部生を中心とした大学生農業ボランティアを平成14年以降継続して派遣。
○地域活動のプロジェクトとして、「農村16きっぷ」（ボランティア、交流企画、産品の加工販売）、「田舎戦隊三徳レンジャー」（米の生産販売）など運営。
○銀行と業務提携した地域おこし協力隊体制整備
○複業人材や大学生インターンシップなど民間企業とのプロジェクトへ展開


草刈り作業の様子


いのしし電気柵の設置


地域住民との交流

体制図



取組の成果

○農村ボランティア派遣回数：77回（R3）
○農村ボランティア派遣人数：408人（R3）
※令和2年度よりコロナ対応で受入地域減少
○Iターン者：延べ人数41人（経験者のうち鳥取に残った県外者の数）
○就農している卒業生：9人（うち2名は農業委員を務める）

ウェブサイト▶https://www.bankup.jp/

この情報は令和5年3月時点のものです

31-03

NPO法人 いんしゅう鹿野（しかの）まちづくり協議会

地域資源：空き家、耕作放棄地、文化、景観等
事業分野：まちづくり、移住支援、食品、研修等
事業主体：NPO

○空き家、耕作放棄地を地域資源と捉え、移住者支援、果樹の里山作り、新規出店支援等を実施するほか、まちなみを活かしたイベント開催や軒下演出など景観づくりや文化継承に貢献。企業人材研修「ことこらぼ」にも取組む。

基本情報

- 所在地：鳥取県鳥取市
- 選定表彰：
  ・第11回 全国建築士会連合会「まちづくり優秀賞」（R3）
- 主力商品・イベント：
  ・すけ笠御膳　・いちじくジャム
  ・空き家・空き店舗等を活用した「週末だけのまちのみせ」　・虚無僧行脚
  ・果樹の里山まつり　・「しかの宿」
  ・まちづくり合宿　・ことこらぼ@鹿野
- 活用した支援施策：
  ・「農」ある暮らし事業（H25～26）
  ・国土交通省「空き家対策モデル事業」(R5)
  ・鳥取県「公民連携事業」(R5)

取組の概要

○鳥取市より「移住定住空き家運営業務」を受託し、空き家バンクの運営、相談等実施。
○「週末だけのまちのみせ」、「虚無僧行脚（こむそうあんぎゃ）」等地域に似合うイベントの企画運営や藍染め暖簾（のれん）や屋号瓦等による街並み演出に取り組む。
○果樹の里山協議会と連携し、耕作放棄地を活用した「果樹の里山」プロジェクトに取組み、「いちじくジャム」など商品開発、フットパス、果樹の里山まつり等を実施。
○大学と連携し、里山体験プログラム「鹿野ちゃれっじ」を作成。
○空き家を食事処「夢こみち」として、地域食材を使った「すげ笠御膳」を提供。
○空き家を活用し「しかの宿本田中家」、アートの拠点「クチュールシカノ」運営。
○日本能率協会マネジメント、鳥取市と協力し、県外に本社を置く企業と地域団体等が協働して地域課題解決に取り組む、企業人材研修「ことこらぼ」開発。


鹿野ちゃれっじ


いちじくジャム


すげ笠御膳


クチュールシカノ


ことこらぼ@鹿野

体制図



取組の成果

○移住・定住　：62世帯、125人（2013～2023累計）
○空き家活用　：12件（2013）　→　44件（2023）
○空き家の新たなお店活用　：8件　（2019～2023累計）
○果樹の里山まつり参加者　：約900人　（2019～2023累計）
○視察受入　：2,686人　（2013～2023累計）

ウェブサイト▶https://www.shikano.org/

この情報は令和6年3月時点のものです

32-01

社会医療法人 正光会さんさん牧場

地域資源：馬事文化、農林水産物
事業分野：食品、観光・旅行、福祉、医療
事業主体：就労継続支援事業所、流通企業

○障害者就労継続支援事業所による引退競走馬を利用した観光牧場を設立。流鏑馬神事など地域の伝統行事も継承。
○馬糞堆肥を活用した循環型農業を実施し、様々な障害者の仕事作りや地産地消を推進。

基本情報

- 所在地：島根県益田市
- 選定表彰：
・ノウフクアワード2021　チャレンジ賞
・第９回「ディスカバー農山漁村の宝」
中国四国農政局選定 (R4)
- 主力商品・イベント：
・引退競走馬を活用した観光牧場・馬事文化継承
・馬糞堆肥を活用した農産品及び加工品
- 活用した支援施策：
・公益社団法人　全国乗馬倶楽部振興協会「多様な馬の利活用等の取組みを支援し、発展させるための事業」（H30～）
・令和3年益田市商品開発・販路開拓等支援事業補助金

取組の概要

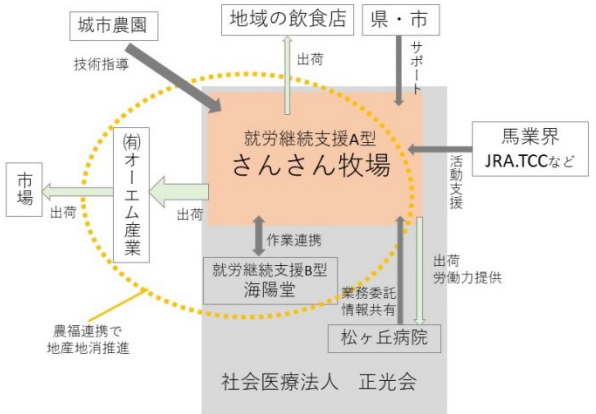
○老朽化により存続が困難になっていた市営馬事公苑を再興し、障害者の就労、競走引退馬のキャリアを活かす観光牧場を設立。
○競走引退馬を４頭飼養し、来客者のセラピーの役割や流鏑馬神事など地域の馬事文化の継承、日本遺産観光プログラム等の活動に参加。
○飼育馬の馬糞堆肥を活用し、循環型農業による「農・商・福連携事業」を推進。


親子連れで賑わう観光牧場


伝統の継承に貢献


馬糞堆肥を活用した農業

体制図



取組の成果

○売上高：104万円（H30）→2,337万円（R3）
○障害者雇用：５人（H30）→17人（R3）
○来客数：550人（H30）→13,280人（R3）
○馬頭数：5頭（H30）→10頭（R3）

ウェブサイト▶https://sansanfarm.jp

この情報は令和5年3月時点のものです

32-02

大田（おおだ）商工会議所

地域資源：農林水産物
事業分野：食品、加工・販売、観光・旅行
事業主体：観光DMO、飲食店、食品加工業者等

○大田市産アナゴの域内消費を拡大するため、観光DMO*、飲食店や食品加工業者からなる協議会を立ち上げ、料理コンテストの開催や出前授業を通じたブランド化を推進。アナゴ市場価格の上昇により、漁業者の所得向上にも寄与。

基本情報

- 所在地：島根県大田市
- 選定表彰：
  - ・第10回「ディスカバー農山漁村の宝」グランプリ (R5)
  - ・第９回「ディスカバー農山漁村の宝」中国四国農政局 奨励賞（R4）
- 主力商品・イベント：
  - ・大田の大あなご
  - ・あなご天丼
- 活用した支援施策：
  - （なし）

取組の概要

○漁獲高の大半が県外に出荷される大田市産アナゴの域内消費を拡大するため、観光DMO*や飲食店等を巻き込んで協議会を立ち上げ。料理コンテストの開催や出前授業を通じて、「大田の大あなご」の大きさや美味しさをPRし、ブランド化を推進。

○市内の飲食店におけるあなご料理の提供や、市内の加工業者によるあなご商品の開発により、大田市を訪れる観光客向けの新たな需要を喚起。アナゴの市場価格上昇により、漁業者の所得向上にも寄与。

○大あなごを活用した事業展開は、行政、学校等様々な機関へ波及しており、警察署では「大あなご」の防犯啓発標語を作成するなど、市を挙げてPRを推進。

防犯啓発標語（大田警察署）
あんしんフィルターを必ず利用
なりすましや乗っ取りにご用心
ごかいしないで！「無料」の落とし穴
めいわくメールに返信しない
しらない人と、直接会わない



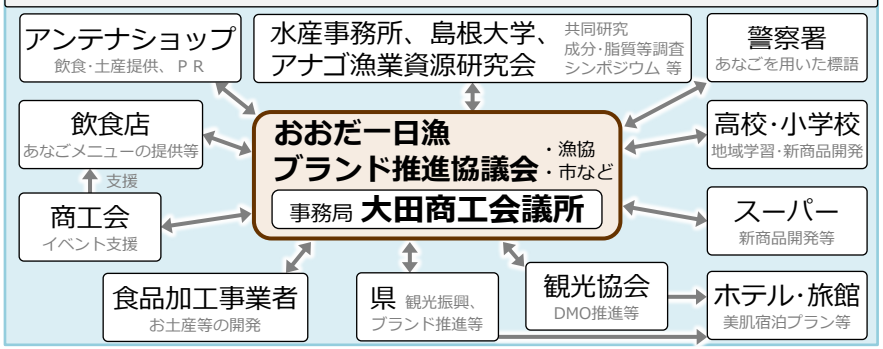
あなご料理コンテスト入賞作品


小学校での出前講座


行列ができる飲食店で提供されているあなご天丼

＊ 観光DMO･･･観光地域づくり法人（Destination Management/Marketing Organization）

体制図



取組の成果

○市内取扱量	：0.2t（H30）	→	38t（R4）
○市場での競り値	：約600円/kg（H30）	→	約1,300円/kg（R4）
○料理提供店舗数	：2店舗（H30）	→	30店舗（R4）
○加工品数	：1種類（H30）	→	19種類（R4）
○飲食店･加工商品の年間売上：	約270万円（H30）	→	約5億円（R4）

ウェブサイト▶http://www.ohdacci.com/
フェイスブック▶https://www.facebook.com/ohdacci

この情報は令和6年8月時点のものです

32-03

奥出雲町農業遺産推進協議会
世界農業遺産・日本農業遺産認定「たたら製鉄を再適用した奥出雲地域の持続可能な水管理及び農林畜産システム」

地域資源：農林畜産物、棚田、歴史文化
事業分野：農業、食品、観光・イベント
事業主体：農業者、住民、各種団体、自治体

○仁多米、奥出雲和牛、ソバ、キノコ等のブランド化を推進し、ふるさと納税返礼品として活用。町内事業者は地元産品を使った農産加工品の製造に取り組む。棚田景観、農泊や農業体験、食、歴史文化を結び付け、観光誘客を図る。

基本情報

- 所在地：島根県仁多郡奥出雲町
- 選定表彰：重要文化的景観、日本遺産（文化庁）
  - ・日本農業遺産認定（H31.２）
  - ・世界農業遺産認定（R７.８）
- 主力商品・イベント：
  - ・仁多米、奥出雲和牛、そば、椎茸、舞茸等
  - ・棚田ライトアップ「たたらの灯」、そば祭
- 活用した支援施策：
  - ・中山間地域等直接支払交付金（営農活動支援）
  - ・多面的機能支払交付金（水路等の維持保全）
  - ・奥出雲在来小そば作付奨励事業
  - ・畜産振興対策事業（和牛振興、農家支援）
  - ・第三セクター、農業公社による農業者支援
  - ・地域おこし協力隊員の登用（就農希望者）

取組の概要

○仁多米、奥出雲和牛、ソバ、シイタケ等のキノコ類を中心としてブランド化を推進。奥出雲町ふるさと応援寄付金の返礼品として農産品の利用実績が伸びている。
○世界農業遺産ロゴマークを作成し、奥出雲町産の農産品、加工品にロゴマークシールを事業者が貼り付けることで、農業遺産のPR、産直施設での販売促進に取り組む。
○令和元年６月に農泊の取組を開始。町観光協会と連携しながら、棚田の米作り体験、郷土食のそば打ち、もちつきなど体験型・滞在型の観光客が増えつつある。
○H17年から開催された「新そば祭り」をきっかけに、秋の紅葉時期は観光客で賑わう。町内の蕎麦店では数量限定で在来種のそばを提供、「横田小そば」の保存にも寄与。



砂鉄採掘跡地に造られた棚田

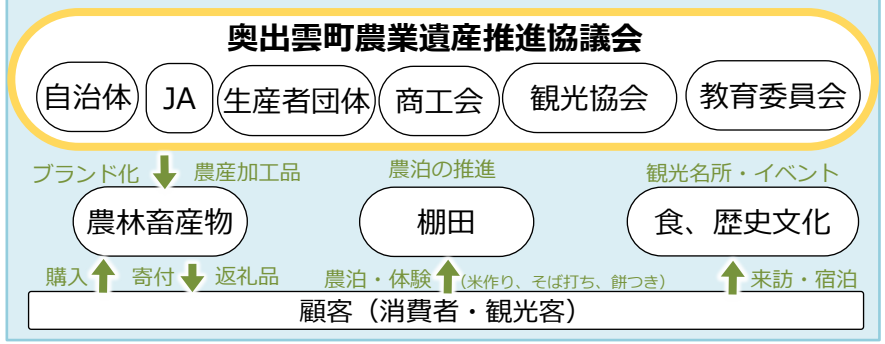


世界農業遺産ロゴマークを貼付して「仁多米」をＰＲ



農泊・農業体験の提供（そば打ち体験）

体制図



取組の成果

○ふるさと応援寄付額：1.7億円（H28）→ 7.7億円（R6）
仁多米、奥出雲和牛、椎茸等は返礼品として人気を集めている。
○農泊施設：１施設（H30）→ ６施設（R6）　新規体験プランを造成
○新そば祭り（そば提供食数）：13,473人（H28）→ 18,996人（R1）
現在、町内の蕎麦店に行列ができるなど、そば処として定着。

ウェブサイト
▶https://www.town.okuizumo.shimane.jp/sekainogyoisannintei/1755475041452.html

この情報は令和８年6月時点のものです

33-01

株式会社 エーゼログループ

地域資源：森林、ジビエ、うなぎ、多様な人材
事業分野：農林水産業、移住・起業支援、福祉
事業主体：総合地域商社、起業家、地方自治体

○「未来の里山づくり」をテーマとする地域総合商社として、起業人材の育成、森林ブランド等の農林水産物販売、福祉事業を展開。
○地域メディア「Through Me」「西粟倉アプリ村民票」「西粟倉村と暮らすふるさと納税特設サイト」の運営を通じて関係人口を創出。

基本情報

- 所在地：岡山県西粟倉村
- 選定表彰：
  - ・平成26年地域再生大賞　準大賞（森の学校）
  - ・平成27年第１回ウッドデザイン賞最優秀賞（農林水産大臣賞）（森の学校）
  - ・令和3年ふるさとづくり大賞　団体表彰（総務大臣表彰）（エーゼロ）
- 主力商品・イベント：
  - ・ユカハリタイルなど木材加工製品等
  - ・起業プログラム（TAKIBI等）
  - ・地域おこし協力隊研修等
  - ・森のうなぎ、森のジビエ、いちごなど
- 活用した支援施策：
  - ・地方創生推進交付金（内閣府）
  - ・農林水産業みらい基金
  - ・事業再構築補助金（中小企業庁）

取組の概要

○2009年に地域が主体的に森林等の地域資源の活用と、地域のお客様づくりに取り組むために、西粟倉村民や西粟倉村役場が株主となり設立された「株式会社西粟倉・森の学校」と、2015年に人や自然の本来の価値を引き出し、地域経済を醸していくことを目的に設立された「エーゼロ株式会社」この2社が合併し2023年に生まれたのが「株式会社エーゼログループ」。現在は、北海道厚真町、滋賀県高島市においても事業展開。

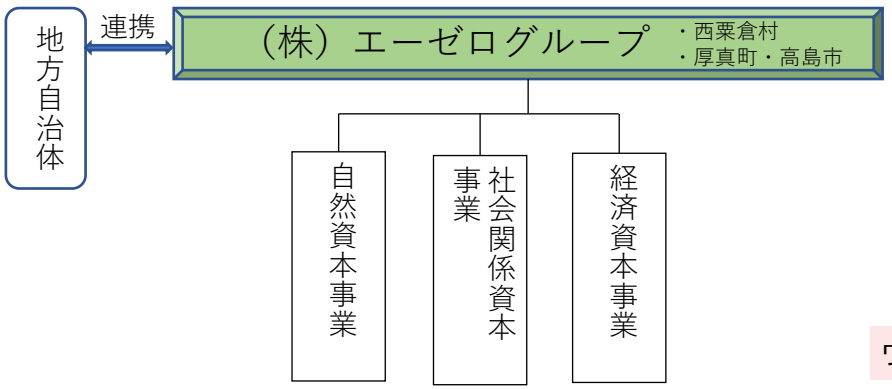
○経済資本事業：ローカルインキュベーション事業、移住・起業支援関連事業
○社会関係資本事業：関係人口創出事業、ふるさと納税業務、アプリ村民票※１、情報サイトの運営
福祉事業（障害者就労支援、高齢者（介護）福祉事業）、建築・不動産事業
○自然資本事業：苺農園、うなぎ養殖、ジビエ肉加工、蜂蜜などの生産・加工・販売、
レストラン事業、木材加工流通事業


アプリ村民票


西粟倉ローカルベンチャースクール


苺生産

体制図



取組の成果

○従業員数　：115人(社員61人、パートスタッフ54人)※役員除く
○売上　　：約10億円
○起業家数　：全体約50件（うちローカルベンチャー支援関連 15件）
○移住者人口：約200名（R4.12月）

※１西粟倉村の情報（起業、観光、仕事など）を受けられ、どこにいても村に関われるアプリ。村の施設訪問やイベントに参加すれば特典を得られるポイント付与。
西粟倉村役場からこのアプリの開発と運営を受託している。

ウェブサイト▶https://www.a-zero.co.jp/

この情報は令和5年3月時点(エーゼロ(株)に確認)のものですが、(株)エーゼログループは令和5年4月1日に発足します。

33-02

FARM RESORT あわのわ
（東粟倉農泊推進協議会）

地域資源：農家民宿・カフェ、農林水産物、自然公園
事業分野：食品、観光・旅行、アウトドア
事業主体：体験施設の事業者、農林漁業者

○古民家を改修した宿泊施設を中核として、協議会の会員が地元産食材を使用した食事、地域の多様な資源を活用した体験プログラムを提供することにより、認知度の向上、交流人口の増加を実現。

基本情報

- 所在地：岡山県美作（みまさか）市
- 主力商品・イベント：
  - ・古民家活用の農家民宿
  - ・魚のつかみどり体験
  - ・屋外シアター（蔵シネマ）
- 活用した支援施策：
  - ・農山漁村振興交付金 農泊推進対策（農泊推進事業、人材活用事業）（R1～2）

取組の概要

○ 地域おこし協力隊員が平成27年に古民家を改修し、農家民宿を開始。地域を巡るツアー（里山デイズ）の定期的開催を経て、令和元年に農泊推進協議会を結成。

○ 古民家を様々な体験を行う中核施設と位置付け、自ら改修を重ね、現在はグランピング体験ができる宿泊施設として運営。

○ 農山漁村振興交付金の活用により、地元産の野菜、川魚、ジビエを使った料理メニューのほか、魚のつかみ取りや蔵の壁面をスクリーンとして活用した屋外シアター（蔵シネマ）などの体験プログラムを新たに開発。

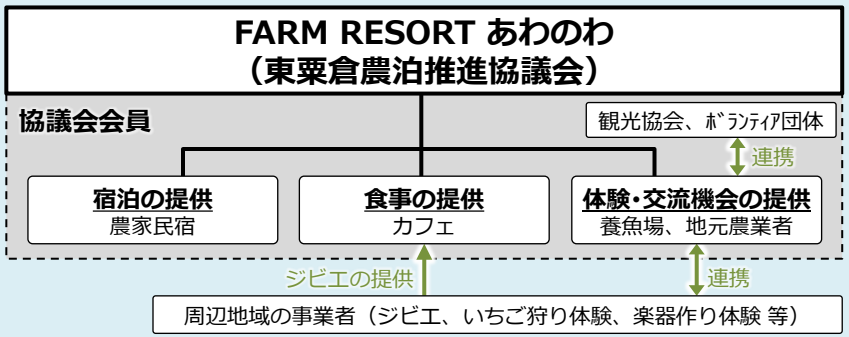
○ 地域内外の多様な事業者との連携を進め、周辺地域全体をフィールドとした体験プログラムを年々増加させ、認知度の向上と交流人口の増加を実現。


一棟貸しの宿


地元食材を使った食事メニュー


魚のつかみ取り体験

体制図



取組の成果

○ あわのわの宿泊者数	：311人（R1）	→ 532人（R5）
○ 体験プログラム参加者数	：94人（R1）	→ 186人（R5）
○ 体験コンテンツ数	：18種類（R1）	→ 33種類（R5）
○ 食事メニュー数	：2種類（R1）	→ 8種類（R5）

ウェブサイト▶https://awano-wa.com/

この情報は令和7年6月時点のものです

33-03

NPO法人 真庭（まにわ）あぐりガーデンプロジェクト

地域資源：農林水産物（野菜）
事業分野：食品、福祉、環境
事業主体：地域商社、地域団体、市

○地域商社と連携し、規格外野菜を活用した調理キット「お節介野菜セット」の開発･販売に取り組むことにより、食品ロスの削減、生産者の所得向上、多世代が活躍できる場の提供を実現。

基本情報

- 所在地：岡山県真庭市
- 選定表彰：
  - ・第11回グッドライフアワード 地域コミュニティ部門 環境大臣賞（R5、環境省）
  - ・第11回「ディスカバー農山漁村の宝」中国四国農政局選定（R6）
- 主力商品・イベント：
  - ・カット野菜（お節介野菜）
- 活用した支援施策：
  - ・（なし）

取組の概要

○地元の規格外野菜をカットし、調理キットとして商品化する「お節介野菜プロジェクト」を地域商社と連携して実施。食品ロスを削減しながら生産者の所得を向上。

○市や人権センターと連携しながら、高齢者グループや引きこもりの若者、乳幼児を育てる保護者のグループなど、幅広い世代に対し、加工分野での活躍の場を提供。

○地域商社による消費者分析や本プロジェクト参加者の意見を基に、新商品の共同開発を進めており、商品数および製造・販売実績が年々増加。



カット野菜の作業をする高齢者グループ

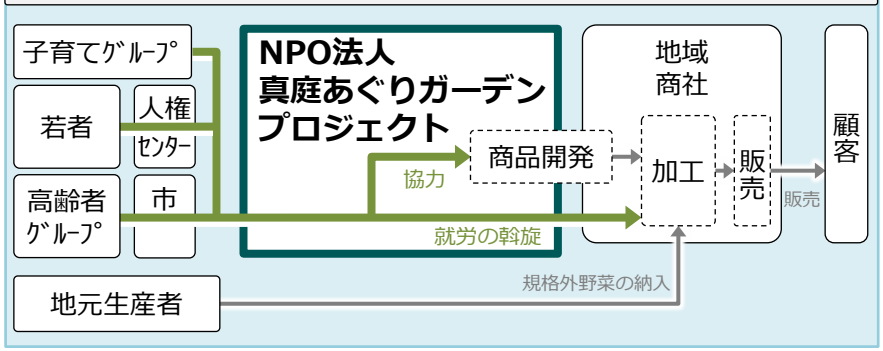


規格外の地元農産物を使用した「お節介野菜」



お節介野菜販売の様子

体制図



取組の成果

○調理キット「お節介野菜」の製造数
：約1.9万袋（R2） → 約5.4万袋（R6）

○商品ラインナップ
：52種類（R2） → 116種類（R6）

○加工・製造作業者数
：18人（R2） → 108人（R6）

○食品ロス削減量
：6t（R2） → 36t（R6）

ウェブサイト▶https://npo.maniwa-agurigarden.com/

この情報は令和7年6月時点のものです

34-01

広島みはらプリンプロジェクト実行委員会

地域資源：農水畜産物、観光
事業分野：食品、観光・旅行、教育、イベント
事業主体：商工会議所、地域連携DMO、関係団体

○地域の海・山・里の豊富な食材を一つの取組に巻き込むコンテンツとして「プリン」に着目し、官民連携のまちおこしを実施。1次生産者等の所得向上や付加価値向上に向けて催事出店、販路開拓等を実施。

基本情報

- 所在地：広島県三原市

- 選定表彰：
・第10回「ディスカバー農山漁村の宝」(R5)
・日本商工会議所事業活動表彰（R4）

- 主力商品・イベント：
・広島みはらプリン（デザート、デリカ）
・ご当地プディングフェスティバル

- 活用した支援施策：
・三原市地域経済活性化提案事業
（三原市事業、R4）
・HIROSHIMA FOOD HEROES CHALLENGE
（広島県事業、R5）

取組の概要

○三原市、三原商工会議所、地域の企業等が連携し、三原市の食の魅力を全国に発信することを目的に「広島みはらプリンプロジェクト実行委員会」を発足。
○三原の食材を一つ以上使用して、三原を応援する人(店舗)によって作られたプリンを「広島みはらプリン」として「デザート」と「デリカ（総菜）」の2カテゴリーで認定。催事への出店や積極的なプロモーション、販路の開拓など行い、1次生産者等の所得向上や付加価値向上へ寄与。
○テレビ、新聞、SNS、ラジオなど積極的なメディア活用、年に2回のガイドブックの発行、「ご当地プディングフェスティバル」の開催等、幅広いプロモーションを実施。
○市民への浸透を図りながら、学校給食への採用や食に関する授業とのタイアップなど、教育分野との連携をさらに広げていく計画。

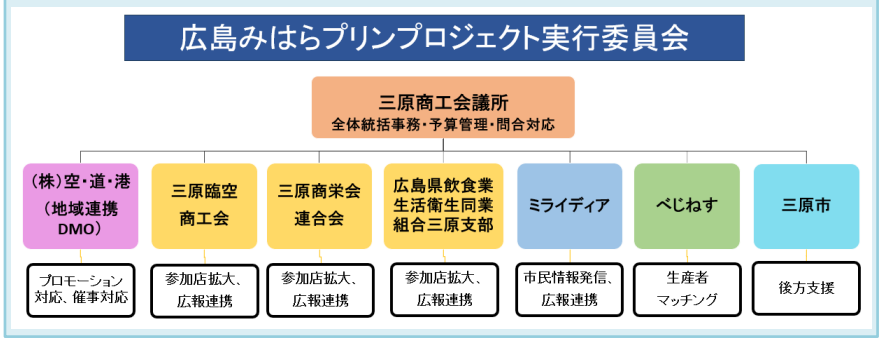
広島みはらプリンのロゴマーク



年2回発行するガイドブック


ご当地プディングフェスティバル

体制図



取組の成果

○販売店*1及び催事売上　：10万円（R3）→　1,287万円（R4）
○催事出店回数　：1回（R3）　→　27回（R4）
○参加店舗*2売上　：未確認（R3）→　1,400万円（R4）
○市外参加店舗数　：0件（R3）　→　1件（R4）　→　3件（R5）

*1 販売店：JR三原駅構内販売ブース
*2 参加店舗：広島みはらプリンとして認定された商品を製造販売する店舗

ウェブサイト▶https://xn--v9j5a5ayy9c7b5140czuc.jp/

この情報は令和6年3月時点のものです

35-01

株式会社 瀬戸内ジャムズガーデン

地域資源：農林水産物
事業分野：食品、観光・旅行、教育
事業主体：地元企業、生産者、観光事業者、教育機関

○連携農家等の栽培果実類をジャム・リキュールに加工し、スイーツを販売するカフェの観光スポット化など、６次産業化や観光資源創出を実践。地域内外の多様な組織や事業体と連携し、移住者支援や魅力の発信を行う等地域に貢献。

基本情報

- 所在地：山口県周防大島町
- 選定表彰等：
  - 農林水産祭「多角化経営部門」日本農林漁業振興会会長賞（R3）
  - 第50回日本農業賞「食の架け橋部門」大賞（R2）
  - 第５回「ディスカバー農山漁村の宝」(H30)
  - 総合化事業計画認定（H25）
- 主力商品：
  - 果物（柑橘、イチゴ、いちじく等）を使用したジャム、スイーツ等
- 活用した支援施策：
  - ６次産業化ネットワーク活動交付金（H26）
  - 経営継続補助金（R2）

取組の概要

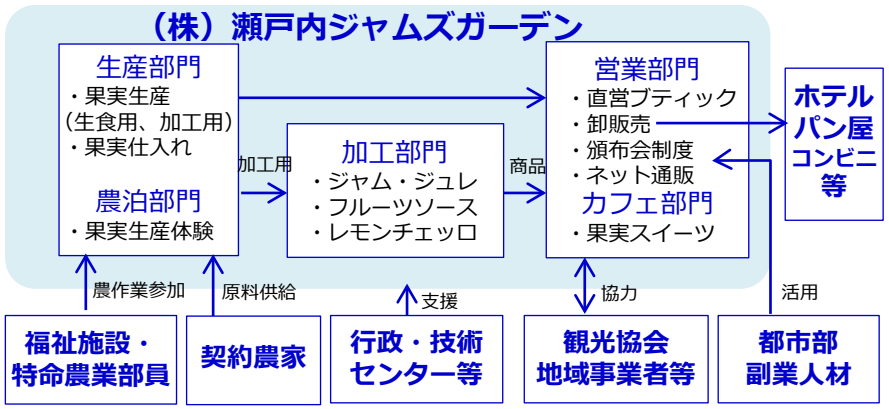
○契約農家から高価買取することで農家の所得向上に貢献しているほか、耕作放棄地を借りて自社農園で栽培。
○年間180種類もの地域性豊かなジャムを生産するとともに、加工場に併設した直売施設やカフェで自社のジャムやスイーツを提供。
○酒造免許を取得し、レモンチェッロ製造のため、特命農業部員（クラウドファンディング参加者）と共に柑橘畑の整備から実施。現在は農泊施設の建設を行っている。
○移住希望者と地元企業等とのマッチングや、移住希望者向けツアー、高校・大学での講演やインターンシップ受入れなどを通じ、島に人を呼び込み域内で経済を循環させる持続可能な地域づくりを実施。


ジャム加工の様子


製造・販売している農産加工品


ガーデンテラスの景観

体制図



取組の成果

○契約農家の所得向上（契約農家からの高価買取）
○直営店来訪者数：8.5万人/年（2022年）
○移住希望者向けツアー実施により移住者増加に貢献
○特命農業部員制度により島との関係人口創出に貢献

ウェブサイト▶https://www.jams-garden.com/

この情報は令和5年3月時点のものです

36-01

家賀再生プロジェクト（けか）

地域資源：世界農業遺産、農林水産物
事業分野：食品、観光・旅行、福祉、芸術
事業主体：各種団体、農林漁業者、集落、学校、地元企業

○世界農業遺産認定の「にし阿波の傾斜地農耕システム」(茅農法)により藍を栽培。企業と連携し食用の用途も開発。
○地域の魅力を伝える観光ツアー実施、視察受入、農福連携の取組等で多くの団体と交流して地域を活性化。

基本情報

- 所在地：徳島県つるぎ町
- 選定表彰：
  ・とくしま集落再生表彰優秀賞（R3）
- 主力商品・イベント：
  ・ソラの藍、食べる藍「藍粉（アイコ）」
  発酵晩茶
  ・ツアー（エコ、農業体験）
  ・農家レストラン
  ・伝統行事、イベント
- 活用した支援施策：
  ・徳島県集落再生加速化支援費補助金

取組の概要

○傾斜畑で、世界農業遺産に認定されたカヤ・落葉などを用いる伝統的な自然循環型農法で農薬や化学肥料を使用しないため、藍を食用等の用途として利用の幅を拡げる。
○地域資源（茶、草木染、織物、薬草など）を活用しオリジナル商品を開発。
○特に藍は、染色、食用、薬用として利用し、農業、観光、教育、福祉、SDGsなどの様々な分野の取組を実施。藍生産では、認知症の患者や家族会が栽培に参加したり、県内外産地とネットワークを形成。
○傾斜地農耕システムによる価値創造を目指す食品企業と連携し地域内農地を活用。


「ソラ」と呼ばれる家賀集落


ソラの藍畑


各地の大学生等と交流

体制図

家賀再生プロジェクト

連携　支援

地域内	県　内	県　外
集落	食品企業	食品企業
(一社)忌部文化研究所	認知症患者と家族会	産地
	産地	その他企業
	学校	
	その他企業	
	行政（県、町）	

関係者

取組の成果

○藍(葉)の収穫量：800kg（R1）→　2,400kg（R4）
○ボランティア活動参加者がつるぎ町に２組移住し就農。
○家賀ツアー勉強会(R1～)の参加者：毎年600～1,000人
○藍粉とのジョイント商品の件数：H30～R4延べ34件(38品)

ウェブサイト▶https://peraichi.com/landing_pages/view/keka-playback-project/

この情報は令和5年3月時点のものです

36-02

一般社団法人 そらの郷

地域資源：世界農業遺産、文化、景観
事業分野：観光・旅行、教育
事業主体：地域住民、農業者、観光事業者等

○古民家や廃校等を滞在、交流拠点として整備するとともに、伝統料理、農作業、伝統芸能等の体験プログラムを通して、圏域全体が「桃源郷」と称される農山村の風景や文化等を体感する仕組みを構築。

基本情報

- 所在地：徳島県美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町
- 選定表彰：
  - ・第10回「ディスカバー農山漁村の宝」中国四国農政局選定 (R5)
  - ・オーライ！ニッポン大賞「内閣総理大臣賞」（R2）
- 主力商品・イベント：
  - ・体験型教育旅行
  - ・体験プログラム
- 活用した支援施策：
  - ・農山漁村振興交付金（農泊推進対策）（H30）

取組の概要

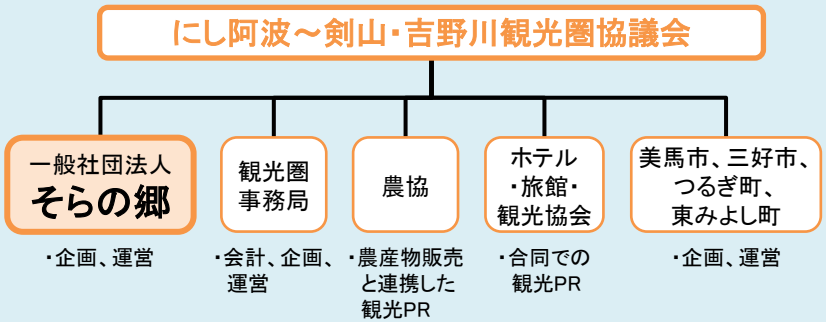
○世界農業遺産認定「にし阿波の傾斜地農耕システム」による農山村のサステナブルな暮らしを体験する観光で、観光客増による賑わい創出、新たな雇用創出等地域活性化に取り組む。
○体験型教育旅行として、都市部中学生・高校生の農作業体験、収穫物の共同調理など農泊体験を商品化。
○農山村散策や農家での餅つきなどを組み込んだツアープログラムが、「桃源郷」と称される農山村の風景や文化、地元農業者等のホスピタリティを体感できるとして外国人観光客から高く評価されている。


にし阿波の傾斜地集落


伝統的農作業のつち上げの体験


インバウンド受入

体制図



取組の成果

○1人あたり観光消費額　：27,416円（H28）　→　30,663円（R1）
○教育旅行泊数　：481人泊（R2）　→　7,212人泊（R5）
○にし阿波外国人宿泊者数　：376人（R3）　→　2,083人（R4）
　〔うち そらの郷でのインバウンドツアー受入数：
　10団体・490人泊（R1）　→　23団体・703人泊（R5）〕

※にし阿波・・・徳島県美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町の2市2町からなる地域

ウェブサイト▶ https://nishi-awa.jp/soranosato/

この情報は令和6年3月時点のものです

36-03

株式会社 本家松浦酒造場（しゅぞうじょう）

地域資源：農林水産物、棚田、酒蔵
事業分野：食品、観光・旅行、輸出
事業主体：農業者、JA、地元企業、NPO等

○徳島県上勝町の棚田米等を使用した日本酒、地域発祥の柑橘「ゆこう」使用のリキュール等の商品を開発・販売。
○歴史ある酒蔵を改修し、直売所及び情報発信の場として活用することにより、関係人口創出に貢献。

基本情報

- 所在地：徳島県鳴門市
- 選定表彰：
  - ・第10回「ディスカバー農山漁村の宝」中国四国農政局選定（R5）
  - ・Kura Master 2022　純米酒部門　金賞（R4）
- 主力商品・イベント：
  - ・酒（日本酒、リキュール）
  - ・蔵見学
- 活用した支援施策：
  - ・地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業（観光庁）（R4、R5）

取組の概要

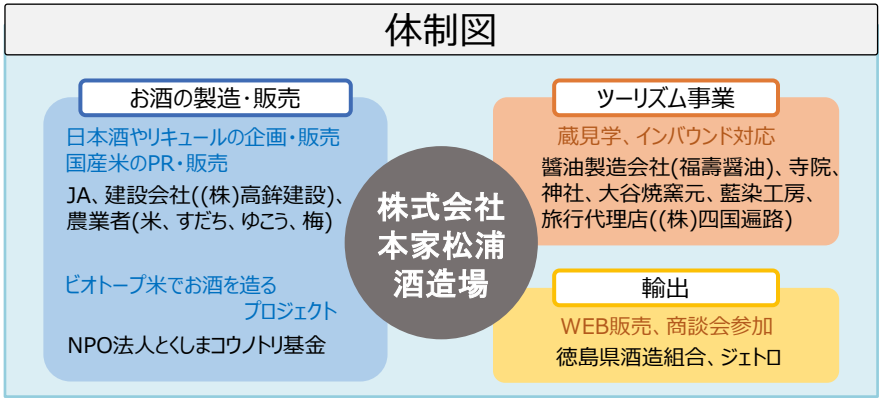
○棚田米を使用した日本酒、減農薬のビオトープ米を使用した日本酒、原材料全てが県内産の日本酒等、ストーリー性のある商品を製造・販売。
○ポン酢などへの加工が主となっていた県内香酸柑橘(ゆこう)を使用したリキュールを開発し、利用用途拡大による生産者の生産意欲向上を支援。
○近隣の醤油製造会社と連携した酒蔵・醤油蔵の見学会や酒蔵併設の直売店で地域の歴史文化、特産物を紹介。インバウンド需要を見据え、YouTubeなどで酒蔵地域周辺を案内する多言語化動画の配信やホームページを作成。
○日本酒などの輸出に取り組み、県酒造組合と海外向けWEB実演販売の実施、ジェトロ主催の商談会に参加する等、輸出先を拡大。


原料全て徳島県産の日本酒


酒蔵併設の直売店


酒蔵の見学会

体制図



取組の成果

○直売所売上　：約18百万円（R1）→　約31百万円（R5）
○輸出金額　：約20百万円（R2）→　約27百万円（R5）
○直売所専用人員　：1人（R1）　→　3人（R5）
○直売所来場者数　：約7,000人（R2）→　約22,000人（R5）

ウェブサイト▶https://narutotai.jp/

この情報は令和6年8月時点のものです

36-04

特定非営利活動法人
K – F riends

地域資源：農林水産物（芋類、柑橘類、野菜）、恐竜
事業分野：食品、スポーツ、イベント、教育
事業主体：地元農業者・住民、町

○スポーツクラブが地元生産者から特産品を仕入れて加工・販売するとともに、スポーツと食を組み合わせたイベント等の開催を通じて、地域内外の交流を促進。

基本情報

- 所在地：徳島県勝浦町
- 選定表彰：
  - ・徳島県総合型地域スポーツクラブ協議会 貢献団体（R3）
  - ・徳島県地域貢献表彰 団体の部（R6）
  - ・第11回「ディスカバー農山漁村の宝」 中国四国農政局選定 地方奨励賞（R6）
- 主力商品・イベント：
  - ・６次化商品（まんまいも、混ぜご飯の素、みかんジャム 等）
  - ・恐竜運動会
  - ・かつうらみかん満喫ウォーキング
- 活用した支援施策：
  - ・勝浦町交流・食育事業（R6）

取組の概要

○ 生涯スポーツの振興を行う総合型地域スポーツクラブが、健康づくりに欠かせない要素として「食」があるとの思いから、「スポーツ×食」の様々な取組を実施。

○ 町の農産物加工施設の指定管理者受託を契機に、６次産業化の取組を開始。地元の生産者から仕入れた特産品（芋類、柑橘類、野菜）を、レトルト食品や混ぜご飯の素、ジャムに加工し、産直市や道の駅、空港等で販売。

○ この地域で恐竜の化石が発見されたことに由来する「恐竜×食×スポーツ」のイベント、地域特産のみかんの「収穫体験×ウォーキング」のイベント、地域のファミリー層に向けた地域の食材を使った料理教室等を通じて地域内外の交流を促進。



恐竜の化石発見に由来するイベント「恐竜運動会」



地域特産の農産物を使用した「みかんジャム」と「まんまいも」



みかんの収穫体験ができる「かつうらみかん満喫ウォーキング」

体制図



取組の成果

○ ６次産業商品開発・製造・販売：
35万円（R3） → 350万円（R5）

○ 地産地消・食育・交流事業イベント：
10人（R3） → 70人（R5）

○ かつうらみかん満喫ウォーキングへの参加者数：
113人（R3） → 140人（R5）

ウェブサイト▶https://kfriends.info/

この情報は令和7年6月時点のものです

37-01

小豆島町中山棚田協議会

地域資源：農林水産物、景観、文化
事業分野：食品、観光・旅行、イベント
事業主体：協議会、各地域団体、行政機関

○先人達が築き守り「日本の棚田百選」にも選ばれた美しい棚田と、棚田を中心に培われてきた文化・伝統を後世に残すため、協議会を設立。大学や企業と連携して、担い手の確保・農産物の販売・伝統行事への参加等を促進。

基本情報

- 所在地：香川県小豆島町
- 選定表彰：
  - ・令和4年度農林水産祭むらづくり部門 農林水産大臣賞
  - ・「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～」に選定（R4）
- 主力商品・イベント：
  - ・棚田の景観
  - ・棚田米とその加工食品
  - ・伝統文化（中山農村歌舞伎、虫送り）
- 活用した支援施策：
  - ・中山間地域等直接支払
  - ・多面的機能支払制度　ほか

取組の概要

○担い手育成のための「棚田アカデミー」を実施するほか、大学生による耕作ボランティアの受け入れ、棚田耕作体験の支援、地域おこし協力隊の採用により棚田保全に取り組む。
○収穫した米は、地元小中学校の給食、ホテルで提供するとともに、棚田米をふるさと納税返礼品として採用。また、地元酒造会社と連携し、棚田米を原料とした日本酒を販売。
○重要有形民俗文化財でもある舞台で上演される「中山農村歌舞伎」を伝承。途絶えていた伝統行事「虫送り」を復活。現代アートによる「瀬戸内国際芸術祭」にも協力。


棚田耕作体験（稲刈り）


棚田米を原料とした日本酒


伝統行事「虫送り」

体制図



取組の成果

○中山千枚田（約12ha）に占める荒廃農地の解消：
1.8ha(15%)（H24）⇒　0.5ha(4%)（R3）
○中山千枚田の担い手確保・保全のため「棚田アカデミー」を立ち上げ、1企業2個人が参加（R4）

ウェブサイト
▶https://www.town.shodoshima.lg.jp/gyousei/kakuka/norinsuisan/nougyou/5258.html

この情報は令和5年6月時点のものです

37-02

五名活性化協議会（ごみょう）

地域資源：ジビエ、木材、森林、空き家、廃校
事業分野：食品、観光・旅行、イベント
事業主体：地元協議会

○廃校となった小学校の活用方法の検討を契機に「自然、人、コミュニティの力」を理念とした協議会を起ち上げ、木材、ジビエ、空き家等、様々な地域資源を活用し、地域活性化、魅力発信に取り組む。

基本情報

- 所在地：香川県東かがわ市
- 選定表彰：
  - さぬきの棚田アワード（R3）
  - 第５回「ディスカバー農山漁村の宝」中国四国農政局選定 (H30)
  - 全国地域づくり推進協議会会長賞（H18）
- 主力商品・イベント：
  - ジビエ
  - 木材加工品
  - 飲食店
  - 宿泊体験
  - 五名3大まつり
- 活用した支援施策：
  - 地域創生推進交付金（H28～H30）
  - 香川県里山資源活用推進事業（H27～R1）

取組の概要

○里山整備に伴い発生する木材を、薪や炭などに加工して販売するとともに、獣害対策で捕獲したシカ、イノシシを食肉加工し、「五名ジビエ」として販売。
○空き家となった古民家を移住者向けの体験宿泊所として運営するほか、五名マップの作製や子どもたちを対象とした体験イベント「五名で遊ぼう！」などを実施。
○「五名ふるさとの家」をオープンさせ、地元の特産品を活かした産直カフェ運営により、地域の魅力を発信。



捕獲したイノシシの
食肉加工

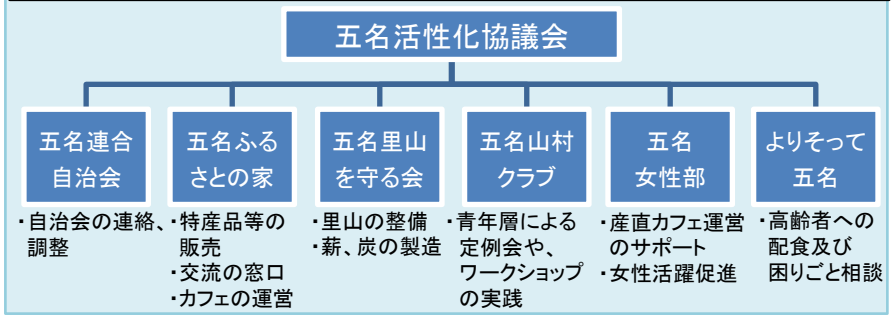


里山整備に伴い発生する
木材の加工利用



産直カフェ
「五名ふるさとの家」

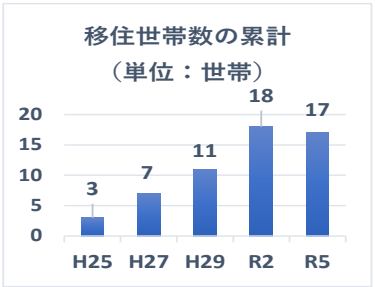
体制図



取組の成果

○移住者数：17世帯37人（H25 ～ R5）

○里山整備によって得られる薪や炭及びイノシシ肉を活用したジビエ商品をふるさと納税の返礼品として活用。



ウェブサイト▶https://www.gom-you.com

この情報は令和6年3月時点のものです

37-03

一般社団法人 さぬき市津田地区まちづくり協議会

地域資源：農林水産物、漁業倉庫、空き家
事業分野：移住支援、食品、観光・旅行
事業主体：行政、地域おこし協力隊、地元企業、地元漁業者、観光協会

○遠洋漁業の基地として栄えた「さぬき市津田地区」において、漁業体験を楽しめる農泊事業、漁業倉庫や空き家を活用したまちづくりの推進、移住支援等により、関係人口の創出を通じた持続可能な地域づくりに取り組む。

基本情報

- 所在地：香川県さぬき市
- 選定表彰：
  - ・第10回「ディスカバー農山漁村の宝」中国四国農政局選定（R5）
- 主力商品・イベント：
  - ・農泊、漁業体験
  - ・漁業倉庫及び空き家を利用した店舗
- 活用した支援施策：
  - ・農山漁村振興交付金（農泊推進対策）（R2）
  - ・地域づくり実践事業補助金（香川県、R5）
  - ・地域活性化支援事業（さぬき市、R5）
  - ※上記の他、クラウドファンディングも活用

取組の概要

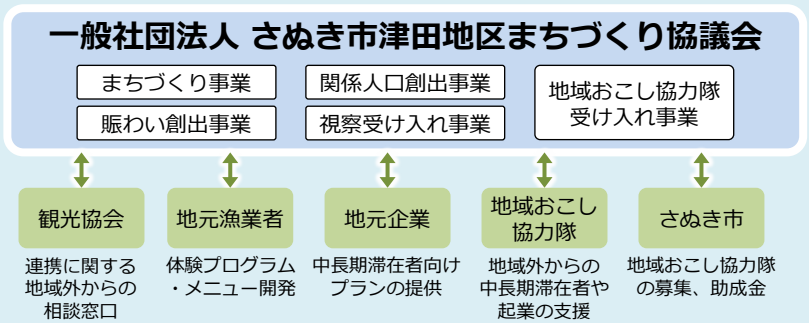
○日帰り観光から宿泊型観光への転換を図るため、地域資源である「しらす」等を活用したメニューや、地引網や蛸壺漁等の漁業体験プログラムを開発。
○協議会が使わなくなった漁業倉庫や空き家を調査し、新規出店希望者を誘致。地域おこし協力隊制度を活用した新規出店を募集。
○自動車学校と連携し、自動車免許の合宿取得プランに、地域住民との交流や、まちづくりを学ぶカリキュラムを加えることで、中長期滞在者増加に貢献。
○地域おこし協力隊員等に対して、協議会等が移住をサポートすることにより、令和4年度に新たに9名が市内に移住。


新規開店したお店


空き家を改装し活用


地域おこし協力隊最終選考

体制図



取組の成果

○取組後の新規出店数　：0店舗（R4）→　6店舗（R5）
○宿泊施設新規開店数　：4棟（R4）　→　8棟（R5）
○長期滞在受入数　：30人（R4）　→　40名（R5）
○移住者数　：9人（R4）

ウェブサイト▶https://sanuki-tsuda.jp

この情報は令和6年8月時点のものです

37-04

島ヶ峰（しまがみね）の原風景を守る会

地域資源：農林水産物、景観(棚田、そばの花)、廃校
事業分野：食品、観光・旅行、芸術、アウトドア、イベント
事業主体：行政、生産者団体、地域住民

○過疎高齢化の急速な進行により荒廃していた農地をそばの栽培を通じて再生。原風景や食文化を次世代に残していくため、グリーン・ツーリズム体験やフォトコンテスト等のイベント開催により、地域の活性化を図る。

基本情報

- 所在地：香川県まんのう町
- 選定表彰：
  - ・農業農村整備事業広報大賞（R3）
  - ・第８回「ディスカバー農山漁村の宝」中国四国農政局奨励賞（R3）
  - ・さぬきの棚田アワード（R3）
- 主力商品・イベント：
  - ・そば栽培体験、そば打ち体験
  - ・そば粉、干しそば
  - ・花見会（そばの花）
  - ・フォトコンテスト
- 活用した支援施策：
  - ・農山漁村振興交付金(山村活性化対策事業)（R3～R5）

取組の概要

○標高900mに位置し、寒暖差が大きくそば栽培に適した天空の地「島ヶ峰」において、平成28年にまんのうそば生産振興会が荒廃農地を開墾し、平成29年にそば栽培をスタート。
○そばの花が咲く9月には、「そばの花見会」を開催し、そばを振る舞うイベントを実施するとともに天下泰平や五穀豊穣を願った獅子舞を披露。
○廃校（旧琴南中学校）の家庭科室をリノベーションし、令和4年に「そば処 島ヶ峰そば」をオープン。
○グリーン・ツーリズム事業として、そばの栽培体験やそば打ち体験を実施するとともに、令和5年度からは「島ヶ峰そばフォトコンテスト」を開催し、関係人口創出に努める。

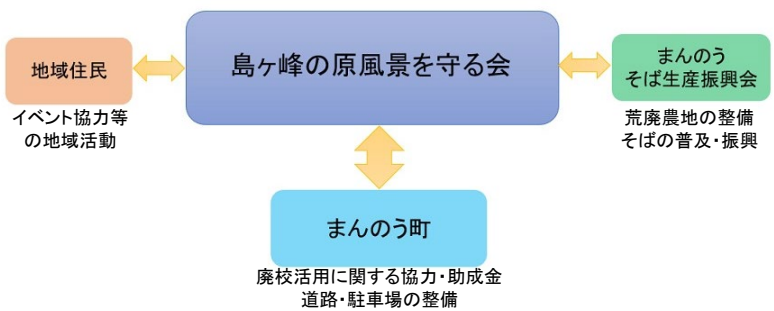

再生した棚田


棚田で咲くそばの花



そば処 島ヶ峰そば

体制図



取組の成果

○荒廃農地再生面積　　：0.3ha（H28）　→　5.4ha（R5）
○棚田作物（そば）販売額：141千円（H29）　→　4,360千円（R5）
○グリーン・ツーリズム体験者数：
　195人（H28）　→　319人（R5）

ウェブサイト▶https://mannou.jp/shimagaminesoba/

この情報は令和6年8月時点のものです

38-01

地域協同組合 無茶々園

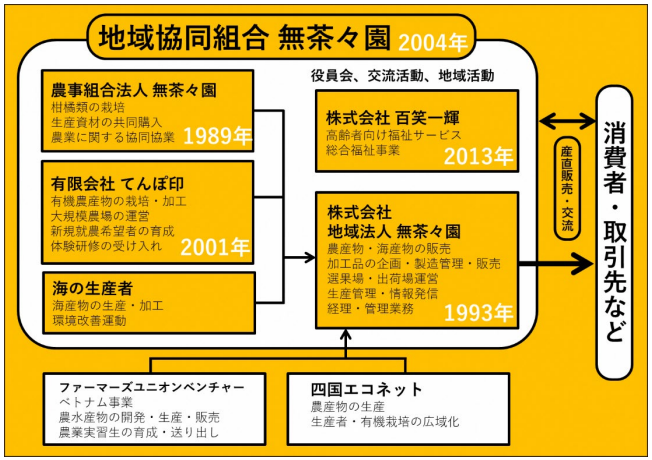
地域資源：農林水産物、廃校
事業分野：食品、コスメ
事業主体：農林漁業者、福祉事業者

○生産者グループが、くらしを中心とする地域協同組合を選択し、柑橘の有機栽培、漁業連携、基準に見合わない柑橘の有効活用など、加工品を含めたブランド化を推進。地域女性活躍や福祉事業等の多角化により雇用の場を創出。

基本情報

- 所在地：愛媛県西予市
- 選定表彰：
  - ・平成28年度農林水産祭/むらづくり部門で天皇杯授与
  - ・サスティナブルコスメアワード2021ゴールド受賞/yaetoco（ヤエトコ）＊コスメ
  - ・令和3年度ふるさとづくり大賞総務大臣表彰
- 主力商品：
  - ・柑橘類等の農産物、ジュース等の加工食品
  - ・コスメ（yaetoco）、海産物、真珠
- 活用した支援施策：
  - ・果樹経営支援対策事業

体制図



取組の概要

○地域の生産者グループとして創業し、国内有機農業の先駆けとして、柑橘類の栽培管理・販売システムの確立、加工品等のブランド化により生産者数・事業規模を拡大。

○地域循環型一次産業モデルを目指し、漁業者と連携して、山と海の環境保全活動の実践、真珠や水産物等を加工・販売。

○女性が活躍する配食サービスなどで雇用創出。地域住民が安心して暮らせる町づくりの一環として、福祉事業所を運営。

○新規就農者の受け皿となる農業生産法人の設立、運営。若者が住みたくなる環境整備。


無茶々園の加工品


働きたい時間、働きたい場所を提供



新規就農者の生産法人・てんぽ印

取組の成果

○グループの売上：11億円超（R1）

○生産販売事業では新規雇用者の7割が県外から社員58名で平均年齢39歳（福祉以外）

○福祉事業では女性中心に63名が活躍（R2）

ウェブサイト▶https://www.muchachaen.jp/

この情報は令和5年3月時点のものです

38-02

遊子川地域活性化プロジェクトチーム
遊子川もりあげ隊

地域資源：農林水産物
事業分野：食品、観光・旅行
事業主体：地域住民、地域おこし協力隊、トマトオーナー等

○地域特産品のトマトを使ったトマト酢やケチャップの加工・販売、農家レストラン等の取組により、地域農業者の収益確保や雇用の場、交流人口の拡大等を図っているほか、草刈りや墓掃除などを提供する「なんでも屋ゆすかわ」、デマンドタクシー事業も展開。

基本情報

● 所在地：愛媛県西予市

● 選定表彰：
・第５回「ディスカバー農山漁村の宝」(H27)
・第15回オーライニッポン大賞ライフスタイル賞（H29）
・フードアクションニッポンアワード2018
・農林水産祭（むらづくり部門）大臣賞(R3)

● 主力商品・イベント：
・トマト加工品（トマト酢、ケチャップ等）
・農家レストラン「食堂ゆすかわ」

● 活用した支援施策：
・都市農村共生・対流総合対策交付金（人材活用事業）
・愛媛県６次産業化チャレンジ総合支援事業

取組の概要

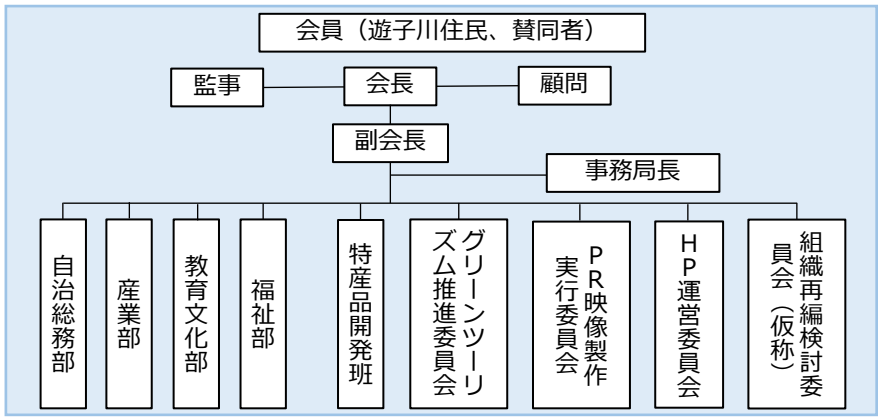
○規格外トマトを活用するため、特産品開発班がトマト酢やケチャップ等のトマト加工品の開発・販売を行うほか、JAの空き施設を活用した農家レストランも展開。
○特産品開発班は「企業組合遊子川ザ・リコピンズ」として法人化。組合委員22人で構成し雇用創出に貢献。
○遊子川トマトオーナー制度や移住体験ツアーを開始し、交流人口の拡大にも貢献。
○「なんでも屋ゆすかわ」やデマンドタクシーなど生活・環境整備事業を実施。


トマトを活用した商品開発


農家レストラン「食堂ゆすかわ」


デマンドタクシー

体制図



取組の成果

○トマト特産品の開発・販売　→　生産量1割ほどの規格外品の有効活用
○特産品開発班を法人化　→　地域農業者の収益確保や雇用の場を創出
○トマトオーナー制度　→　毎年50口募集し、地域外からも多数応募
○自主制作映画による魅力発信　→　取材や問合せ増加など、知名度向上
○「なんでも屋ゆすかわ」、デマンドタクシー運行など
　→　地域実情を考慮した生活環境の改善・充実

ウェブサイト▶https://yusukawamoriagetai.com/

この情報は令和5年3月時点のものです

38-03

朝日共販株式会社

地域資源：農林水産物、藻場
事業分野：食品、イベント、環境保全
事業主体：漁協・漁師、農業生産者、大学

○しらすの加工・販売や集客イベントの開催、大学と連携した商品開発やインターンシップ受入等の交流を通じて、地域の活性化や、雇用・関係人口の創出に寄与。

基本情報

- 所在地：愛媛県町伊方町
- 選定表彰：
  ・第10回「ディスカバー農山漁村の宝」特別賞 (R5)
- 主力商品・イベント：
  ・しらす加工品
- 活用した支援施策：
  （なし）

取組の概要

○ 平成7年に設立。愛媛県の最西端にある佐田岬半島近くで獲れるちりめんしらすを加工・販売。令和3年からはタイ、台湾向けの輸出をスタート。
○ 令和2年に開設の「伊方町観光交流拠点施設佐田岬はなはな」の指定管理者として、地元漁師や農家が新鮮な食材や加工品等を販売するイベントをフェリーの乗客や県内外の観光客を対象として年50回以上開催することで、域外からの集客と地域の活性化を実現。
○ 同地域への就職や関係人口の創出を目指し、愛媛大学の学生と、「しらすラーメン」の共同開発や、インターンシップ受入等の活動に取り組む。



交流拠点施設
佐田岬はなはな

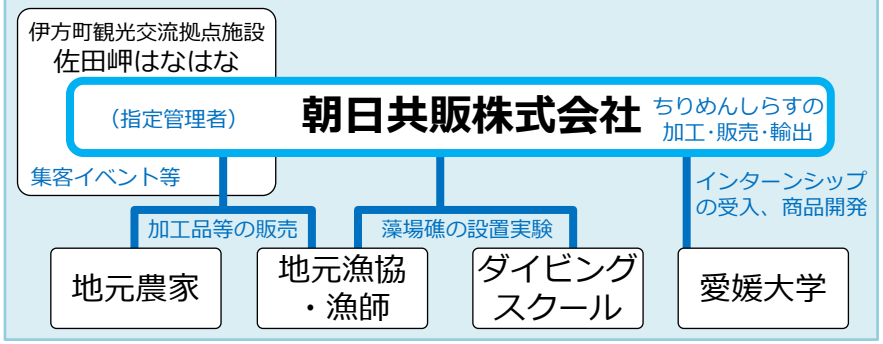


地元の食材等を
販売するイベント



しらすラーメンと
愛媛大学生

体制図



取組の成果

○ 来客数※　：　約3万人（R1）　→　約25万人（R4）
○ 売上高※　：　約1億円（R1）　→　約2億円（R4）
※しらすパークの来客数と売上（R1は同社施設、R4は移転後の佐田岬はなはな内）
○ 輸出額　：　約300万円（R3）　→　約900万円（R4）
○ 従業員の雇用　：　265人（R1）　→　271人（R4）

ウェブサイト▶https://www.shirasu.jp/

この情報は令和6年8月時点のものです

38-04

企業組合 津島あぐり工房

地域資源：農林水産物、廃校、空き家
事業分野：食品、福祉
事業主体：地域協議会、社会福祉協議会、市

○地域特産の農水産物を使った和菓子の製造・販売や、廃校・空き家を活用した施設運営により、地域の魅力発信と交流人口増加を実現。移動販売や配食を通じた高齢者の見守りも実施。

基本情報

- 所在地：愛媛県宇和島市
- 選定表彰：
  - ・第10回「ディスカバー農山漁村の宝」中国四国農政局選定（R5）
- 主力商品・イベント：
  - ・和菓子（元気もん、真珠大福 等）
  - ・惣菜、弁当
  - ・ふれあいモーニング
- 活用した支援施策：
  - ・業務改善助成金（R6）（厚生労働省）
    ※設備投資等への支援

取組の概要

○ 地域特産の農産物や海産物を使い、大豆といりこの伝統菓子「元気もん」や、みかんと真珠パウダーの大福「真珠大福」等を製造し、全国各地で開催する物産展やECサイト、土産物店等で販売。

○ 廃校を活用した農家レストラン「あすも」を運営し、地域内外の繋がりを深めるコミュニティの場「ふれあいモーニング」を毎月2回開催。

○ 空き家を活用した宿泊施設「すなだの家」を運営し、農林漁業体験や研修、修学旅行等を受入れ、交流人口の増加に貢献。

○ 買い物弱者向けに弁当や総菜、加工品等の移動販売や配食を通じて地域の食を支え、社会福祉協議会と連携した高齢者の見守りも実施。

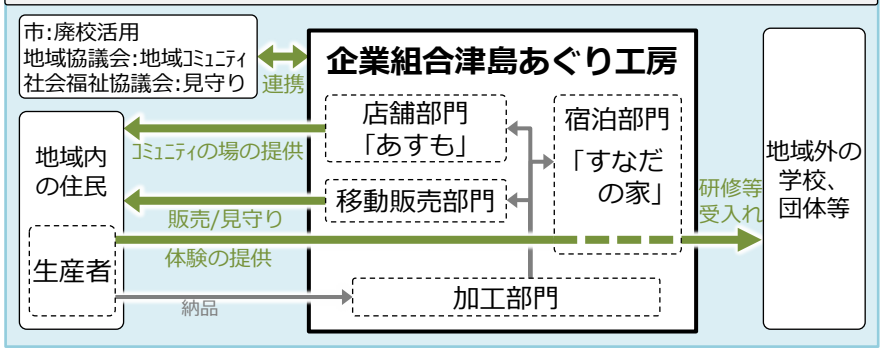

伝統菓子「元気もん」


ふれあいモーニング


宿泊施設「すなだの家」


移動販売車

体制図



取組の成果

○ 加工品、レストラン、移動販売の売上：
3,600万円（H30） → 5,400万円（R6）

○ 従業員数 ：6人（H30） → 12人（R6）

○ 移動販売実施場所数 ：32箇所（H30） → 59箇所（R6）

○ ふれあいモーニング来店者数：
360人（H30） → 1,200人（R6）

ウェブサイト▶https://www.big-advance.site/s/150/1400

この情報は令和7年6月時点のものです

39-01

一般社団法人 三原村集落活動センターやまびこ

地域資源：農林水産物、文化・風習
事業分野：食品、観光、福祉、健康等
事業主体：村内の各種団体や地域の代表者

○「安心して生活できる村」を目指して、官民の垣根を超え、組織を設立。村の抱える課題解決のため、６つの部を設けて、生活、産業、福祉といった様々な活動に総合的に取り組む。

基本情報

- 所在地：高知県三原村

- 主力商品・イベント：
・三原米、刺身こんにゃく、ししとう、店舗運営（田舎料理レストラン）、コインランドリー、体験ミニツアー（古木めぐりなど）、ふれ合い活動（婚活イベント、健康セミナーなど）、販売イベント（村外で出張販売）

- 活用した支援施策：
・高知県政策「小さな拠点づくり構想・集落活動センター」

取組の概要

○店舗部：地元食材で日替定食を提供する田舎料理レストラン運営。弁当販売も実施。
○福祉支援部：生きがいづくり。各種イベントの実施。コインランドリー運営。
○特産品販売促進部：食文化を引き継いだ商品の掘り起こしや開発。イベント販売等。
○移住促進部：移住者と村民の交流会実施。移住促進住宅の指定管理。
○生産部：ししとうのハウス栽培、三原米のブランド化を農事組合法人や研究会で実施。
○観光部：村の資源を掘り起こして体験ミニツアー(古木めぐり、皿鉢づくり等）を実施。


やまびこカフェ

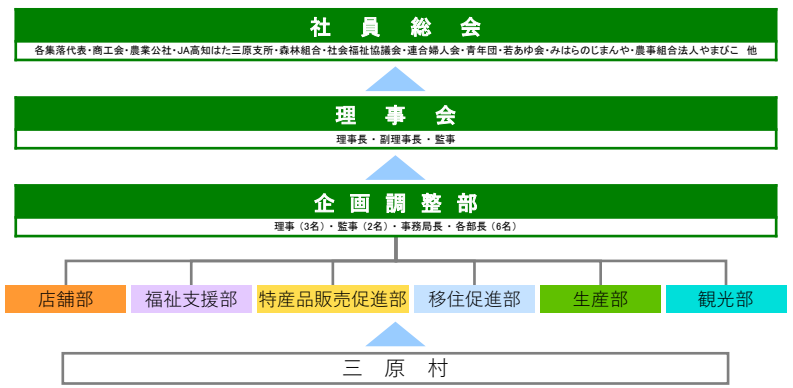


コインランドリー



ブランド米「水源のしずく」

体制図



取組の成果

○カフェ来客数：12,432人（H29）→ 13,119人（R1）
○コインランドリー売上：1,426千円（H29）→1,852千円（R3）
○特産品販売売上：104千円（H29）→ 3,990千円（R1）
※カフェ来客数や特産品販売売上は、R2以降は新型コロナの影響あり。

ウェブサイト▶https://www.mihara-yamabiko.com/

この情報は令和5年3月時点のものです

39-02

特定非営利活動法人 NPO砂浜美術館

地域資源：景観(自然)、農林水産物、スポーツ施設、防災文化
事業分野：観光、旅行業(宿泊手配等)、教育、スポーツ、芸術
事業主体：NPO、集落活動センター、ボランティア、大学

○砂浜などの自然及び周辺のスポーツ、宿泊施設を地域資源とし、アートイベント、スポーツツーリズム、防災学習体験等の実施を通じ、関係人口創出を実現。ありのままの自然を、視点を変え、切り口を工夫することで活用。

基本情報

- 所在地：高知県黒潮町
- 選定表彰：
  - ・2016サントリー地域文化賞（H28）
  - ・第10回「ディスカバー農山漁村の宝」特別賞（農泊賞）（R5）
- 主力商品・イベント：
  - ・観光、アートイベント
  - ・スポーツ合宿・大会
  - ・旅行業(宿泊手配等)、産業体験
  - ・防災学習プログラム
- 活用した支援施策：
  - ・日本版DMO登録（観光庁）（H30.12～R5.3）

取組の概要

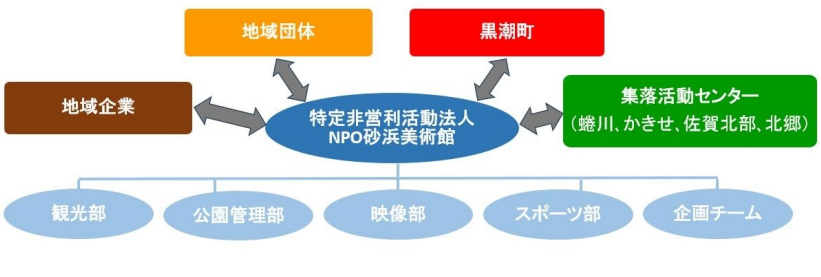
○4kmの砂浜を美術館に見立て、四季折々のアートイベントを開催。町外からの運営ボランティアの宿泊と食事を中山間地にある集落活動センターから提供することを通じ、地元住民との交流を推進。
○砂浜に隣接したスポーツ施設を活用し、地元の宿泊・弁当等の手配を組み込んだ合宿や大会を開催。
○南海トラフ巨大地震の津波予測の公表をきっかけに防災学習プログラムを開発し、主に中高生の教育旅行を受入。
○大学と連携した黒潮町産業連関表の作成により地域経済の現状を可視化。砂浜美術館を核とした新しい経済循環づくりに貢献。


Tシャツアート展


ボランティアスタッフと地域住民の交流


海の脅威を学ぶ防災学習プログラム

体制図



取組の成果

○宿泊者数：
　12千人（H30）　→　14.3千人（R4）
○スポーツツーリズム弁当売上：
　7.7百万円（H30）→　9.5百万円（R4）
○防災学習プログラム体験者数：
　4人（H30）　→　405人（R4）

ウェブサイト▶https://sunabi.com/

この情報は令和6年3月時点のものです

39-03

井上ワイナリー株式会社

地域資源：農林水産物、食文化、耕作放棄地
事業分野：食品
事業主体：地元企業、生産者、行政、集落活動センター、大学

○「耕作放棄地の活用、地域の活性化、雇用の創出」を目指し、ぶどう栽培に向かないとされる高知県において、地域の気候･風土に適したぶどうの栽培とワインの製造･販売を展開。ワインと食を軸とした関係人口の創出を図る。

基本情報

- 所在地：高知県香南市
- 選定表彰：
  - ・高知県地場産業大賞 地場産業賞（R6）
  - ・日本ワインコンクール2023 銅賞（R5）
  - ・第10回「ディスカバー農山漁村の宝」中国四国農政局選定 (R5)
  - ・Terroir.awards2023　新進気鋭賞（R5）
  - ・日本山ぶどうワインコンクール赤ワイン部門 茜賞（R5）
  - ・高知県地場産業大賞 奨励賞（R1）
- 主力商品・イベント：
  - ・ワイン、地域食材利用加工品
- 活用した支援施策：
  - ・第4期高知県産業振興計画 物部川地域アクションプラン（県産業振興推進総合支援事業）（R2）

取組の概要

○ぶどう生産に使用する石灰を取り扱う企業が、県内7市町の耕作放棄地を活用し、ぶどうの栽培と、ワイン製造事業を展開。
○ぶどうは高知の高温多湿な気候・風土に適した品種とし、地元農家と協力して栽培。
○高知大学との連携により、地元名産の「かつおのたたき」との相性を調査。「『かつおのたたき』に合うワイン」としてPR。地域食材とのコラボレーションにより、県内での宿泊など、滞在需要を喚起。
○ワイン会員制度「TOSAワイン同盟」を運営し、会員向けの収穫体験など、地域外との交流も促進。
○集落活動センターを拠点とし、老人クラブや地元高校生に収穫・ラベルづくりの機会を設けるなど、地域活性化にも貢献。


地域の方々との収穫作業


ワイン醸造所内


高知県産のぶどうを使ったワイン

体制図



取組の成果

○売上　　：6.9百万円（H30）　→　75.2百万円（R5）
○ぶどう圃場数　：4箇所（R3）　→　7箇所（R5）
○醸造所・販売店（R4開設）の来場者数：50,000人/年（R4）

ウェブサイト▶https://www.tosawine.com/

この情報は令和6年3月時点のものです

39-04

大正町市場協同組合（たいしょうまちいちば）

地域資源：農林水産物（鰹）
事業分野：食品、観光･旅行、環境
事業主体：商店街、町、観光協会、空港 等

○大正町市場で販売される鰹を全て鮮魚店が選別するとともに、町や協議会と連携したブランディングやPR等による認知度向上を図ることにより、漁価の向上と市場への来訪者増加を実現。

基本情報

- 所在地：高知県中土佐町
- 選定表彰：
  ・第11回「ディスカバー農山漁村の宝」ビジネス・イノベーション部門特別賞（R6）
- 主力商品・イベント：
  ・鰹
- 活用した支援施策：
  （なし）

取組の概要

○ 低価格で取引されていた生食用の鰹を、鮮魚店が選別を行うことで、漁価の向上を実現。

○ 町や観光協会と連携し、地域の鰹を「鰹乃國」としてブランド化し、クラウドファンディングによる空港への鰹のオブジェの設置、県内外での鰹のタタキの実演販売、大都市圏の百貨店での販売、オンラインイベント、メディアへの露出等を通じて認知度を向上させ、市場への来訪者が増加。

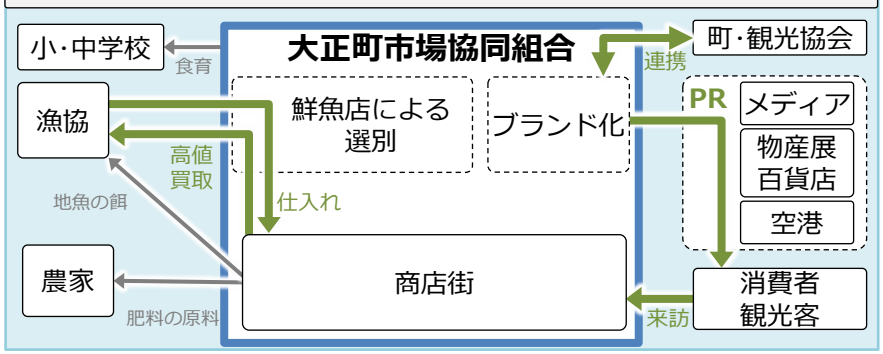
○ 生食不可の部位は、串焼きや総菜、地魚の漁の餌、農業用の肥料として地域内で有効活用する「鰹エコシステム」に取り組む。


品質保証された鰹のタタキ


県内外からの来客で賑わう久礼大正町市場


空港の手荷物受取所に設置された鰹のオブジェ

体制図



取組の成果

○ 鰹の漁価(1kgあたり)	：約200円（取組前）	→ 約500円（R6）
○ 大正町市場訪問者数	：約11万人（R3）	→ 約40万人（R5）
○ 冷凍鰹の販売	：0t（R3）	→ 2t（R6）
○ 百貨店フェアでの売上	：495万円（R5）	→ 612万円（R6）
○ メディアでの紹介	：76件（R4）	→ 170件（R5）

ウェブサイト▶https://xn--3iqz5v2uac6ljot32netg.com/

この情報は令和7年6月時点のものです

41-01

株式会社 クラベル・ジャパン（平田花園）

地域資源：農林水産物
事業分野：加工・販売、教育
事業主体：農林漁業者、地元企業、福祉

○平成29年に法人化。カーネーションを年間約72万本生産するほか、加工品製造や体験農園、花のオーナー制度などを通じて関係人口の拡大に貢献。コロナ禍を転機に、新たな地域の産品として唐辛子生産を開始。

基本情報

- 所在地：佐賀県唐津市
- 選定表彰：
  - ・佐賀県花き園芸共進会　農林水産大臣賞（H27）
  - ・佐賀農業賞　九州農政局長賞（H26）
  - ・全国青年農業者会議　経営局長賞（H19）
- 主力商品・イベント：
  - ・カーネーション、唐辛子の加工品
  - ・唐津花の大学
  - ・航空会社とコラボしたギフト商品
  - ・唐津ピリカラ協会発足イベント
- 活用した支援施策：
  - ・さがアグリヒーローズ（さが農村イノベーション推進事業）
  - ・さが農村ビジネス支援事業

取組の概要

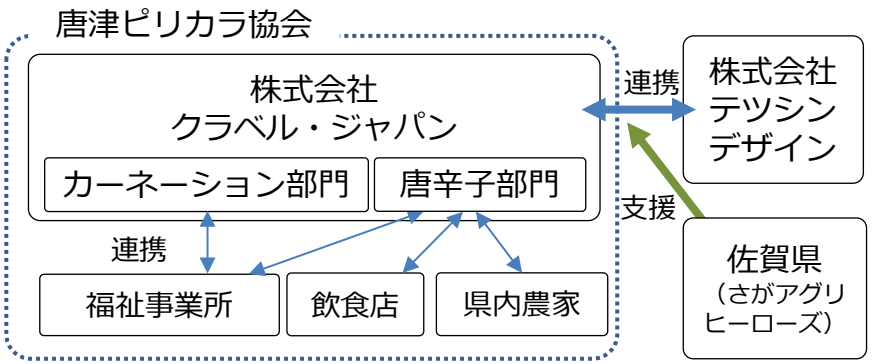
○花のオーナー制度「唐津花の大学」を開設し、県内外から受講生（オーナー）が参加。
○カーネーションを活用した加工生花、フラワーボックス等の販売、体験農園等を展開。
○新たに唐辛子の生産を開始し、加工品を開発・販売。県内の唐辛子生産農家、飲食店等を会員とした「唐津ピリカラ協会」を発足し、新たな産品として定着を目指す。
○花き、唐辛子の生産・出荷調整作業の一部を福祉事業所と連携。
○『協業』をキーワードに、契約栽培の推進、農地や雇用の課題解決への取組を進める。


唐辛子加工品


唐津ピリカラ協会


唐津花の大学

体制図



取組の成果

○カーネーション：フラワーボックス等ギフト商品　10種類
○「唐津花の大学」受講生　のべ53組（R1～3）
○福祉事業所との作業連携（雇用創出）　のべ12事業所180名
○「唐津ピリカラ協会」による地域活性化（生産者と飲食店との連携）

ウェブサイト▶https://clavel-japan.jp/

この情報は令和5年3月時点のものです

41-02

有限会社 ナカシマファーム

地域資源：農林水産物（酪農）
事業分野：食品、教育、イベント
事業主体：教育機関、飲食店

○６次産業化の取組（耕畜連携、乳製品の加工・販売、カフェ運営）を進め、繁閑分散による業務負荷の平準化を通じて、従業員の柔軟なシフト計画と完全週休二日制を実現し、就労希望者が増加。
○廃棄されていたホエイ（乳清）を活用した商品開発により、収益性向上を実現。

基本情報

- 所在地：佐賀県嬉野市
- 選定表彰：
  - WORLD CHEESE AWARDS 2019 銅賞（R1）
  - 西九州観光まちづくりアワード 特別賞（R4）
  - 全国優良経営体表彰 ６次化部門 農林水産大臣賞（R6）
- 主力商品・イベント：
  - 乳製品(チーズ、ドリンク等)、パン
- 活用した支援施策：
  - さがアグリヒーローズ（R1～4）（さが農村イノベーション推進事業）
  - さが農村ビジネス支援事業（R3）

取組の概要

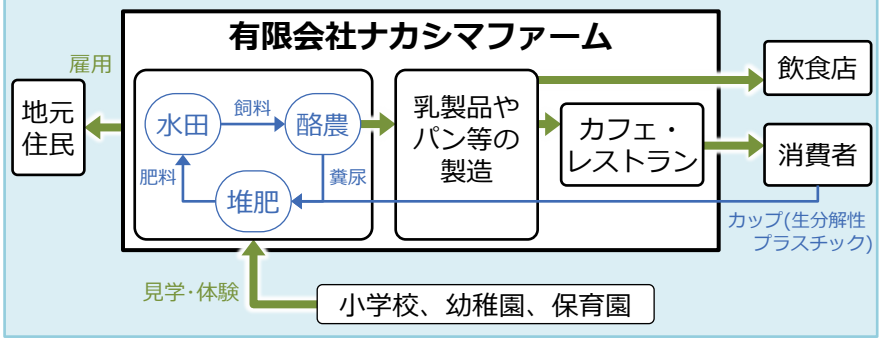
○水田で栽培した麦や稲を飼料として酪農を行い、自社製のチーズやドリンクを開発・製造し、カフェで提供。
○カフェで使用する生分解性プラスチックのカップや、乳牛の糞尿を水田の肥料として使用するほか、チーズの製造過程で大量に廃棄されていたホエイ（乳清）を活用したブラウンチーズや酵母パンを開発し、収益性向上を実現。
○生産から販売までの幅広い取組によって、従業員の柔軟なシフト計画が可能となり、完全週休二日制を実現したことで就労希望者が増加。
○小学生等による農場や牧場見学・体験活動を受け入れ、食に関する理解を深めるとともに、自然や人々の関わり、命の尊さについて考える機会を提供。


自社製チーズ商品


生分解性プラスチックカップ


小学生による牧場体験

体制図



取組の成果

○会社の売上	：	7,300万円（R1）	→	1.3億円（R6）
○カフェの来客数	：	1.2万人（R4）	→	2.5万人（R6）
○雇用者数	：	2名（R1）	→	14名（R6）
○体験活動の開催件数	：	12件（R1）	→	30件（R6）

ウェブサイト▶https://www.nakashima-farm.com/

この情報は令和7年6月時点のものです

42-01

有限会社 シュシュ

地域資源：農林水産物
事業分野：食品、観光・旅行
事業主体：地元企業、生産者

○平成12年に農業交流拠点施設「おおむら夢ファームシュシュ」を開業。農産加工品の製造・販売（６次化）のほか、食育体験や収穫体験など豊富なメニューで取組を展開。雇用拡大などを実現。

基本情報

● 所在地：長崎県大村市
● 選定表彰：
・ 令和３年度農林水産祭「天皇杯」
多角経営部門
・ 令和２年度６次産業化優良事例表彰
農林水産大臣賞
・第６回「ディスカバー農山漁村の宝」(R1)
・ 平成19年度全国地産地象活動優良表彰
（交流促進部門）農林水産大臣賞
● 主力商品・イベント：
ジェラート等、食育・農林漁業体験
● 活用した支援施策：
・農業構造改善事業（施設立ち上げ時）

取組の概要

○農業テーマパーク構想の実現のため、一年中観光客が訪れる交流拠点「おおむら夢ファームシュシュ」を開業。
○地元農産物(生鮮品)のほか、６次化による商品開発でジェラート、プリンなど多数商品化し販売。レストランではランチバイキングやレストランウェディングなどを提供。
○大村市グリーン・ツーリズム推進協議会と連携した観光・体験農業を展開。
○大村市のふるさと納税の返礼品として、農産物の詰め合わせや加工品等を出品。

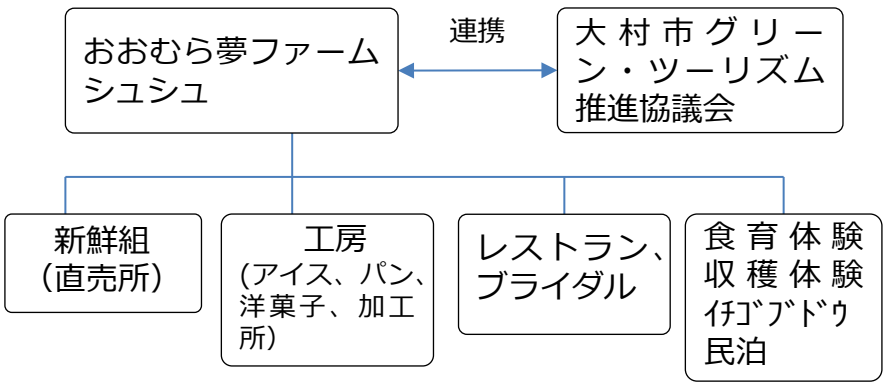

おおむら夢ファームシュシュ


地元産の農産物を使用したジェラート



農産物を使用したオリジナル加工品

体制図



取組の成果

○６次化による売上高：3.2億円（H26）⇒ 3.9億円（H30）
○年間集客数：約49万人（H30）
○食育・農業体験者数：約３万人（H30）
○従業員：年間100名以上（季節雇用含む）
○常時雇用職員の女性割合：8割

ウェブサイト▶http://chouchou.co.jp/

この情報は令和5年3月時点のものです

42-02

株式会社 アグリ・コーポレーション

地域資源：耕作放棄地、農林水産物、遊休施設
事業分野：食品、観光・旅行、教育、アウトドア
事業主体：農林漁業者、加工・販売事業者

○有機農業で耕作放棄地50haを再生し、甘藷を主力に加工・製品化。食品製造や人気商品展開で収益化し、今後は宿泊・飲食事業で雇用創出と地域活性化を図り、オーガニックをプラットフォームとした街づくりを目指す。

基本情報

- 所在地：長崎県五島市
- 選定表彰：
  - 未来につながる持続可能な農業推進コンクール　生産局長賞
  - 2040年夢コンテスト最優秀賞
- 主力商品・イベント：
  - 生いも（有機安納芋、有機紫芋）、おしゃぶー（有機安納芋、有機紫芋、芋おとめ）、ひとくち焼き安納芋、有機ペースト、有機パウダー、有機焼き芋
- 活用した支援施策：
  - 五島市輸送コスト支援事業（R6）
  - 五島市雇用機会拡充支援事業（R6）
  - 長崎県農山漁村発イノベーションサポート事業（R4～R6）

取組の概要

○「オーガニックをプラットフォームとした街づくり」をビジョンとして、これまでに100%有機（甘藷・大麦・小麦）で計50haの耕作放棄地を再生。安納芋が主力農産物。2019年に食品工場を完成させ、ペーストやパウダーの製造を実施。栽培した甘藷は青果のほか、規格外品を100%一次加工品・製品化することで収益化している。有機栽培という特徴を生かして開発した赤ちゃん向けの干し芋は大手ベビーフード小売店で取り扱われる程の人気で、当社の看板商品である。一次加工品は、菓子や製パンなど様々なメーカーに卸している。2019年に輸出商社を立ち上げ東南アジアを中心に輸出を拡大している。

○築50年の廃ホテルを再生し、宿泊・飲食事業を令和８年度より開始、島内における雇用の創出や移住支援に貢献。

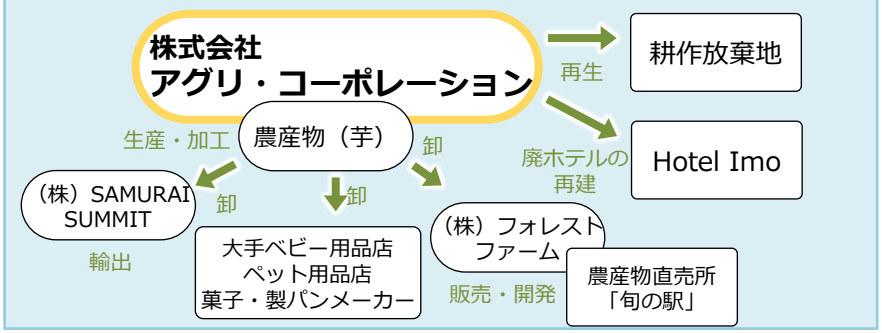

有機安納芋


ベビーフード



遊休施設を活用したホテル

体制図



取組の成果

○作付面積　4,000a（R2）→5,000a（R6）
○雇用　37人（R2）→60人（R8）
○売上高　1億3,556万円（R2）→2億4,658万円（R7）

ウェブサイト▶http://osyaburi.jp/company/index.html

この情報は令和８年6月時点のものです

44-01

有限会社サンセイ・宇佐ジビエファクトリー

地域資源：農林水産物（ジビエ）
事業分野：食品、教育
事業主体：飲食店、猟友会、小学校、高校、大学

○令和5年度に全国初となる狩猟から解体、加工、販売までジビエが丸ごと学べる「日本ジビエアカデミー」を設立。
品質の高いジビエを安定的に供給する仕組みを設けることで、ジビエ関連製品の売上や雇用の増加を実現。

基本情報

- 所在地：大分県宇佐市
- 選定表彰：
  - ・鳥獣対策優良活動表彰 農村振興局長賞 捕獲鳥獣利活用部門（団体）（R5）
- 主力商品・イベント：
  - ・猪肉・鹿肉（食用、家庭用ペットフード、サファリパークの給餌用）
  - ・ジビエソーセージ
  - ・イノシシハンバーグ
- 活用した支援施策：
  - ・大分県地域活性化総合補助金（H29）
  - ・鳥獣被害防止総合対策交付金（H30、R3～R5）
  - ・大分県地域活力づくり総合補助金（R4）

取組の概要

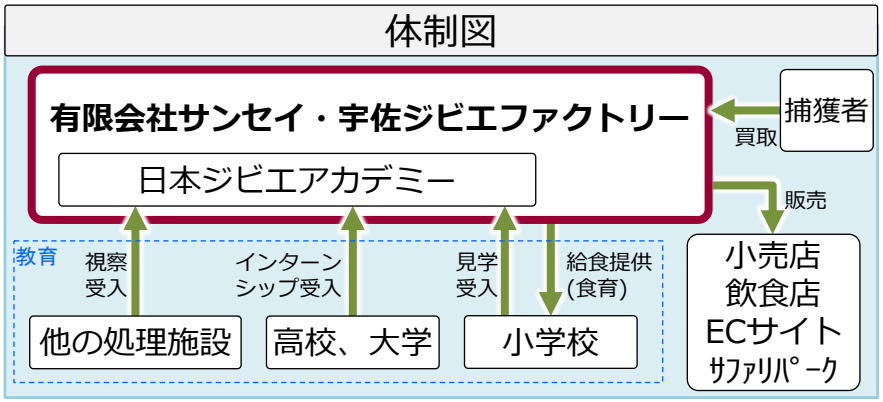
○「日本ジビエアカデミー」を設立し、座学や実技を通じて衛生管理、栄養学、販売方法などを学ぶ場を提供するほか、処理事業者を対象に全国からの視察を受け入れ、ジビエの普及促進や利活用の拡大に広く貢献。
○高品質なジビエを搬入する捕獲者の買取単価を上げ、捕獲者の意識向上を図る。
○小学校の社会見学や、高校生・大学生のインターンシップの受け入れにより、鳥獣被害状況や被害対策をはじめ、ジビエの有効活用とサステナブルな活動について普及啓発をするほか、学校給食への供給を通じた食育活動も実施。
○人間の嗜好に合わず食用に適さないジビエは、ペットフードや市内のサファリパークに提供し、捕獲したシカなどを無駄にしない「ジビエの地産地消」を実践。


ジビエソーセージ


日本ジビエアカデミー


小学校の社会見学

体制図



取組の成果

○ジビエ関連製品の売上：　81万円（H30）　→　4,000万円（R5）
○社員数（雇用）　　：　6名（H30）　→　18名（R5）
○ジビエ処理頭数　　：　274頭（R1）　→　1,632頭（R5）
○インターンシップ受入数：0人（H30）　→　37人（R5）
○視察受入数　　：　40（H30）　→　95人（R5）
○日本ジビエアカデミー研修申込者：85名（うち受講者数73名）（R5）

ウェブサイト▶https://usa-gibier.com/

この情報は令和6年8月時点のものです

44-02

株式会社 豊後大野（ぶんごおおの）クラスター

地域資源：農林水産物（さつまいも、かぼす、唐辛子）
事業分野：食品
事業主体：地元生産者、JA、食品メーカー、水産試験場 等

○撤退した食品メーカー施設の譲渡を受け、野菜加工品の製造・販売を実施。全量買取り等、生産者の意向に応じた買取りにより契約農家が増加。大型冷蔵設備を改修し、冷凍焼きいもを輸出することで販路を拡大。

基本情報

- 所在地：大分県豊後大野市
- 選定表彰：
  - ・第11回「ディスカバー農山漁村の宝」（R6）
- 主力商品・イベント：
  - ・さつまいも、かぼす、唐辛子等の加工品
- 活用した支援施策：
  - ・輸出等新規需要獲得事業（R2）(農林水産省)
  - ・農の雇用事業（R3）(農林水産省)
  - ・業務改善助成金（R5）(厚生労働省)
  - ・働き方改革推進支援助成金（R6）(厚生労働省)
  - ・IT導入補助金（R6）(中小企業庁)

取組の概要

○撤退した食品メーカーの大型冷凍設備・加工機器の譲渡を受け事業を開始。農産物をカット、ペースト、乾燥、粉末に加工し、JA、食品メーカー、飲食店、スーパーなどの企業や、ECサイトを通じて個人向けにも販売。

○地元生産者の意向（全量買取りや規格外品のみ買取り等）に応じて野菜を仕入れるとともに、原料の安定供給を図るために自社でもさつまいもの栽培を開始。

○輸出等新規需要獲得事業で大型冷蔵設備を改修し、令和2年度より冷凍焼きいもの輸出を開始。

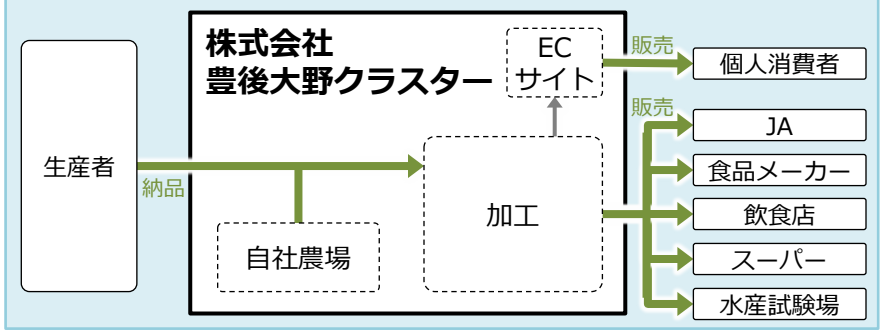
○県の水産試験場と連携し、新ブランド「かぼすぶり」の養殖用飼料として、かぼすのペーストや粉末を共同開発。飼料の安定供給と魚の品質安定化に貢献。


譲渡を受けた施設


規格外野菜も使用した加工品


輸出を可能にした大型冷蔵設備

体制図



取組の成果

○さつまいも商品の売上	：約8百万円（R1）	→	約21百万円（R5）
○カボス加工品の売上	：62万円（R1）	→	148万円（R5）
○契約農家数・延べ面積	：2軒･1ha（R1）	→	10軒･6ha（R5）
○会社の売上	：約3千万円（R1）	→	約5千万円（R5）

ウェブサイト▶https://b-cluster.jp/

この情報は令和7年6月時点のものです

44-03

株式会社 らいむ工房

地域資源：農林水産物（むらさきもち麦等）
事業分野：食品、教育、健康・医療
事業主体：地元農業者

○離農家から農地を借り受け「むらさきもち麦」や米、大豆等を生産し、コンビニ等と連携した商品を開発･販売。
作付面積と加工品取扱量の拡大により雇用の創出を推進するほか、新規就農者向けの育成研修を実施。

基本情報

- 所在地：大分県国東市（くにさき）
- 選定表彰：
  ・農山漁村女性活躍表彰 農山漁村男女共同参画推進協議会会長賞（E若手女性チャレンジ部門）（R5）
  ※受賞者：代表取締役社長 佐藤朋美氏
- 主力商品・イベント：
  ・むらさきもち麦の加工品
- 活用した支援施策：
  ・農山漁村振興交付金 農山漁村発イノベーション都道府県サポート事業（R2～5）
  ・女性の労働環境整備・活躍強化事業（R5）

取組の概要

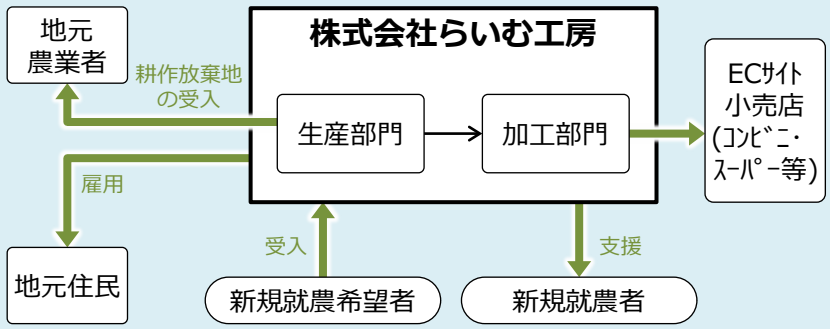
○離農した農家の農地を借り受けて「むらさきもち麦」を生産し、美と健康をアピールした商品に加工・販売するほか、地域の主要産品（こねぎ、米、大豆等）の生産により、経営を多角化。
○都道府県サポート事業の伴走支援を受け、大手コンビニエンスストアとコラボ商品を開発･販売するほか、スーパーやECサイト、ふるさと納税などにも販路を拡大。
○作付面積と加工品取扱量の増加により、雇用の創出を実現。
○農業大学等からの新規就農希望者の短期研修受入や、新規就農者の支援を行うなど、担い手の確保・育成にも取り組む。


収穫作業


むらさきもち麦の加工品


商品化したコンビニ向けおにぎり

体制図



取組の成果

○経営全体の売上額	：約1.2億円（R3）	→	約2億円（R6）
○農地引受元の農家数	：20戸（H22）	→	519戸（R6）
○作付面積	：60a（H22）	→	133ha（R6）
○従業員数	：20名（R3）	→	42名（R6）

ウェブサイト▶https://raimu-koubou.com/

この情報は令和7年6月時点のものです

44-04

株式会社 ドリームファーマーズJAPAN

地域資源：農林水産物、古民家、農村景観
事業分野：食品、観光・旅行、イベント
事業主体：商品・ブランド開発、農林漁業者

○市場規格外ぶどうのアップサイクルとしてドライ加工事業からスタート。耕作放棄地を再生させ、ぶどうの生産・加工・販売のサイクルを基幹事業としている。空き家のアップサイクル事業による農泊や古民家宿泊施設の運営を通じて地域資源を活用した体験型観光を推進。農業、観光、地域交流を組み合わせ地域活性化や関係人口創出に取り組む。

基本情報

- 所在地：大分県宇佐市安心院町
- 選定表彰：
  - ・平成25年度農林水産大臣賞（全国青年農業者会議プロジェクト発表）
  - ・平成26年度大分合同新聞社賞
  - ・平成30年度九州農政局「ディスカバー村の宝」選定
- 主力商品・イベント：
  - ・ドライフルーツ、ブドウ狩り、カフェ運営、農泊
- 活用した支援施策：
  - ・6次産業化総合化事業計画認定（H24）
  - ・起業育成支援（R5）

取組の概要

○市場規格外農産物の高付加価値化として、ドライフルーツの製造・販売に取り組み、ミカンやトマトなど地域産品へ展開。廃棄ロスの削減と農家所得の向上を実現。
○地域農産物のブランド化では、素材本来の味や香りを引き出す加工技術を確立し、安心・安全な商品づくりを通じて付加価値向上と地域ブランドの形成を推進。
○交流拠点「農村BASE」を整備し、グリーンツーリズム体験やセレクトショップ運営、交流イベント、ぶどう収穫体験などを実施。地域内外の交流を促進し、交流人口・関係人口を拡大。
○YouTubeやSNSによる情報発信で、ぶどう栽培や地域の魅力を広く紹介し、農業への理解促進や新たなファンの獲得、来訪者増加に取り組む。
○農泊事業では、古民家を活用した宿泊施設「別邸龍王乃家」「別邸龍王の道」を運営し、農業体験や住民交流を提供することで滞在型観光を推進。
○これら農業・加工・観光・交流を一体的に展開し、地域経済の活性化と持続可能な農村づくりを目指す。

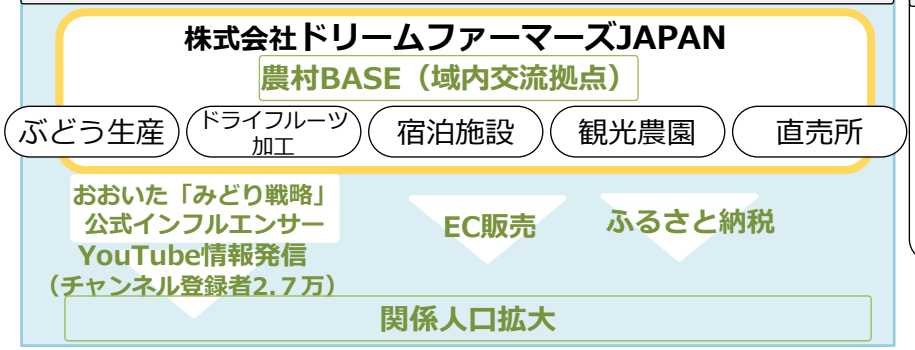

ドライフルーツ


一棟貸切りの宿「古民家BASE・龍王」



YouTubeによる情報発信

体制図



取組の成果

○売上　400万円（H24）→6,000万円（R7）
○従業員数　1名（H24）→20名（R8）
○宿泊施設　1棟（R5）→4棟（R8）

ウェブサイト▶https://dreamfarmersjapan.com/

この情報は令和８年6月時点のものです

45-01

株式会社 高千穂ムラたび

地域資源：農林水産物、景観、廃校、空き家
事業分野：食品、観光・旅行、健康・医療、イベント
事業主体：観光協会、福祉作業施設、まちづくり公社

○自社独自の方法で栽培された米を地元農家から高値で買い取り、発酵食品等に加工し販売するほか、棚田などの景観や地域の神話史跡などを情報発信し、外国人等の観光客を誘致することにより地元経済の活性化にも貢献。

基本情報

- 所在地：宮崎県高千穂町
- 選定表彰：
  - ・みやざきフードアワード審査員賞（R3）
  - ・フードメッセ新潟 準グランプリ（H30）
- 主力商品：
  - ・米加工品
- 活用した支援施策：
  - ・農山漁村振興交付金（農泊推進対策）（R1～2）
  - ・GFPグローバル産地づくり推進事業（農林水産省）（R2～4）

取組の概要

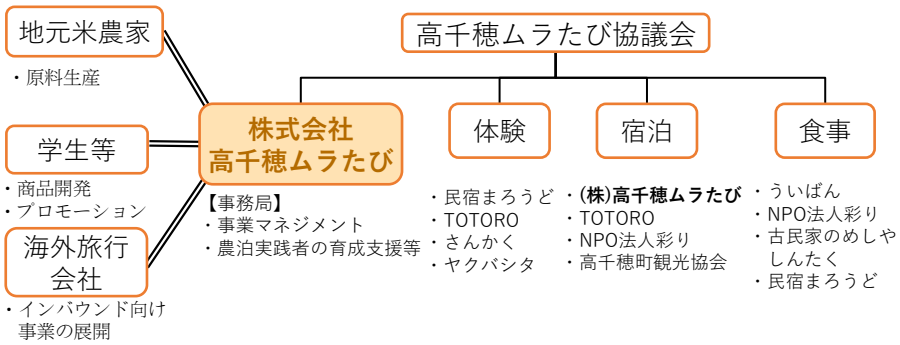
○地元農家に対し、米の栽培方法と買取基準を策定、一般の買取価格の約1.3倍で米を買取。甘酒、どぶろくのほか、米ぬかを活用したお菓子、ペットフード等の商品を製造・販売し、輸出にも取り組む。
○大学生による米などのパッケージデザインをはじめ、若者による６次化商品の開発、販路開拓、プロモーションなどの事業体制を構築。
○棚田の景観や、地域の神話史跡などを活かした観光商品の開発を行い、メディアやSNSを通じて情報発信。
○海外の旅行会社と提携し、アジア圏域やヨーロッパからの旅行者が神楽を体験するインバウンド向けの事業も実施。


米発酵飲料「ちほまろ」


甘酒等の原料栽培で棚田保全


古民家食堂で夜神楽と食を楽しむ外国人観光客

体制図



取組の成果

○加工品・宿泊等による法人の売上	：65百万円（H29）	→	98百万円（R4）
○甘酒等の加工品の売上	：63百万円（H29）	→	89百万円（R4）
○甘酒・菓子の輸出額	：280万円（R1）	→	480万円（R4）
○民泊・ゲストハウス等利用者数	：207人/年（H29）	→	227人/年（R4）
○若者の研修受入（人）	：5人（H27）	→	80人（R4）

※新型コロナの影響により全体的に数値が落ち込み、R4時点も回復途上

ウェブサイト▶http://takachiho-muratabi.com/

この情報は令和6年3月時点のものです

46-01

「暮らしの宿　福のや、」
「大野岳の麓　茶や、」

地域資源：農林水産物、景観、空き家
事業分野：食品、観光・旅行
事業主体：特定非営利活動法人、農林漁業者

○空き家を活用した農家民宿を運営するとともに、農業や地域の暮らしを体験する「畑旅」を企画・実施。宿泊と地域店舗等を結び付けることで地域内の経済循環を生み出し、地域活性化に貢献。さらに、農家民宿の開業支援や研修を通じて、新たな受け入れ事業者の育成や農泊の普及にも力を注いでいる。

基本情報

- 所在地：鹿児島県南九州市頴娃町
- 選定表彰：
  ・ディスカバー農山漁村の宝（第９回個人部門）
  ・ジャパン・ツーリズム・アワード（Ｒ７）
  ・オーライ！日本大賞（Ｒ７）
  ・ふるさとづくり大賞　優秀賞（R6）
- 主力商品・イベント：
  ・農村体験プログラム「畑旅」
- 活用した支援施策：
  ・小規模事業者持続化補助金（H30）
  ・鹿児島県「ポストコロナ農業生産体制革新プログラム事業」（Ｒ３）

取組の概要

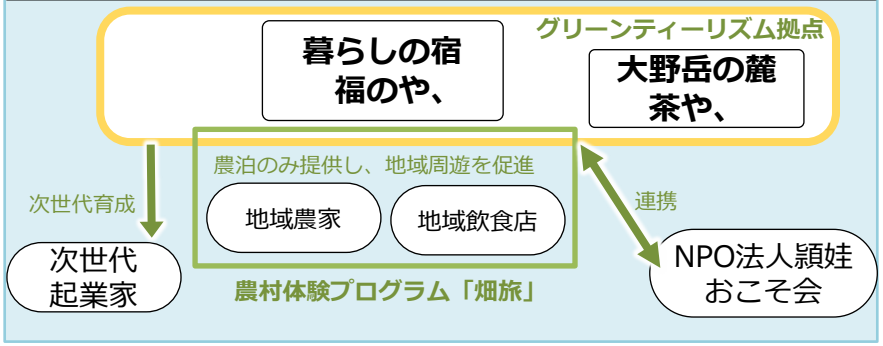
○空き家を改修した農泊施設を運営。
○農業が盛んで，美しい景観を持つ頴娃町の特徴を活かした農村体験プログラム「畑旅（はたたび）」を企画運営。
○一棟貸の宿泊施設「福のや、」は宿泊のみ提供を行い，食事などは地域内の店舗を紹介することで地域活性化、PRに寄与。
○農家民宿開業についての研修会開催や、アドバイザーとして助言するなど次世代の育成にも貢献。


1日１組限定1棟貸し「福のや、」


大根やぐら見学


グリーンティーリズムの拠点「茶や、」

体制図



取組の成果

○宿泊者数：年間約400名（そのうち約30%がリピーターとして再訪）
○地域農産物を使った加工品の商品開発：全国約20店舗で加工品販売
○農業者や地域づくり関係者向けに農村観光の普及促進を目的とした講演会や研修会の開催：年12回（R7）
※上記取り組みはH29より開始。開始前は宿泊者・加工品・研修会開催全て実績無し

ウェブサイト▶https://www.fukunoya-ei.com/

この情報は令和８年6月時点のものです

47-01

しろう農園株式会社

地域資源：農林水産物、家畜
事業分野：食品、観光・旅行、健康・医療
事業主体：生産者、大学、学校・保育園、市、県

○「すべての人々の生活に健康と美容と癒しを届ける」という理念の下、提携農家とともに宮古島の環境に適したアロエベラを栽培し、加工品の開発・製造を行う。自社農園ではヤギに雑草を食べさせフンをたい肥にして畑に戻す循環型農業を実現するとともに、ヤギと触れ合える観光牧場や、アロエ商品を中心とした土産店やカフェも展開。

基本情報

● 所在地：沖縄県宮古島市
● 選定表彰：
・６次産業化アワード食料産業局長賞（R1）
・第７回「ディスカバー農山漁村の宝」（R2）
・地産地消等優良活動表彰大臣官房長賞（R3）
● 主力商品・イベント：
・アロエ及びアロエ加工品
・蜂蜜　　・ヤギのいる観光農園
・オンライン体験
（アロエの食べ方・育て方教室）
● 活用した支援施策：
・沖縄県離島デジタル広報・販売スキル向上事業
・沖縄県農林水産物流通条件不利性解消事業

取組の概要

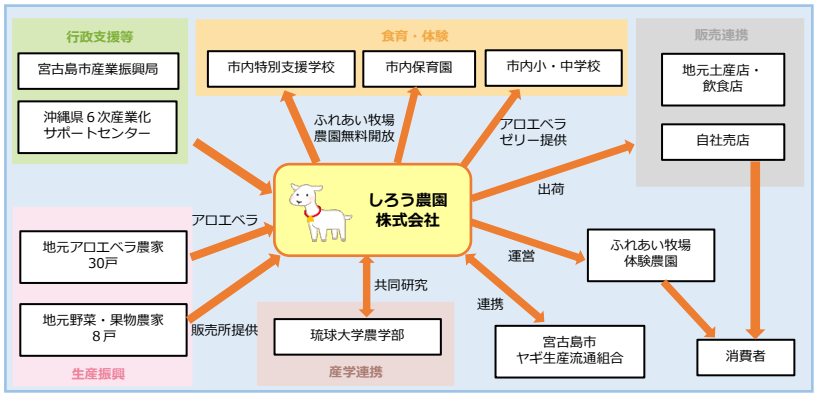
○ヤギを活用したアロエベラの有機栽培とともに、加工品（ジュース、美容ドリンク等）を開発・製造。アロエベラは通年収穫可能なため、雇用創出にも貢献。
○2020年には牧場に隣接した場所にアロエベラと地元産マンゴー等のフルーツを使ったジュースやスイーツの提供、加工品等の販売を行うカフェをオープン。
○地域の農家が農産物を販売できるよう直売所を開設し、地元の学校給食での提供や地産地消の推進や農家の所得向上にも貢献。


ヤギとアロエベラ


ふれあい牧場に併設するカフェ


しろう農園の従業員

体制図



取組の成果

○直売所開設により売上が年間100万円増
○アロエ取扱額が10年間で8倍
○従業員15人中10人が地元出身
○アロエ栽培面積が約15ha（国内最大規模）
○ヤギ30頭以上の観光農園により集客

ウェブサイト▶http://shirou-nouen.net/　▶https://www.goatcafe.jp/

この情報は令和5年3月時点のものです

47-02

株式会社 沖縄UKAMI養蚕

地域資源：農林水産物、廃校、荒廃農地
事業分野：福祉、健康・医療
事業主体：就労支援事務所、地元企業

○地域の生物資源「エリ蚕（神樹蚕）」から生産された沖縄シルクをスキンケア商品として加工し、ブランド化してフランスや中国にも進出。養蚕と飼料生産に廃校と荒廃農地を活用するほか、養蚕施設の整備や飼料生産のために高齢者雇用、蛹と繭の選別のために農福連携に取り組むなど、地域の資源と人材を活用。

基本情報

- 所在地：沖縄県今帰仁村

- 選定表彰：
・第９回「ディスカバー農山漁村の宝」(R4)
ビジネス・イノベーション部門 グランプリ

- 主力商品・イベント：
・シルク製品（化粧品、ダイエット食品等）

- 活用した支援施策：
・農山漁村振興交付金（農泊推進対策）

取組の概要

○今帰仁村内の廃校舎を活用し、エリ蚕の養蚕を開始。エリ蚕の餌のキャッサバ栽培圃場は耕作放棄地を活用しており、現在3.7haを借り受け、遊休地解消に貢献。
○高齢者雇用のほか、養蚕の作業である蛹と繭（＝シルク）との分別を就労支援事業所と連携して実施。高齢者、障害者の活躍の場を広げ所得向上に貢献。
○フランスで自社ブランド「VILANJE（ヴィランジェ）」商品の販売を開始。R元年6月に国内大手通販会社、R3年12月に大手百貨店（東京・名古屋）、R4年6月には名古屋市に販路を拡大。R2～4年度はコロナ禍の影響を受けたが、中国にリアル店舗を持つ大手百貨店越境ECサイトでの販路を獲得し、発信を続け認知度向上につなげている。


廃校を活用した作業場

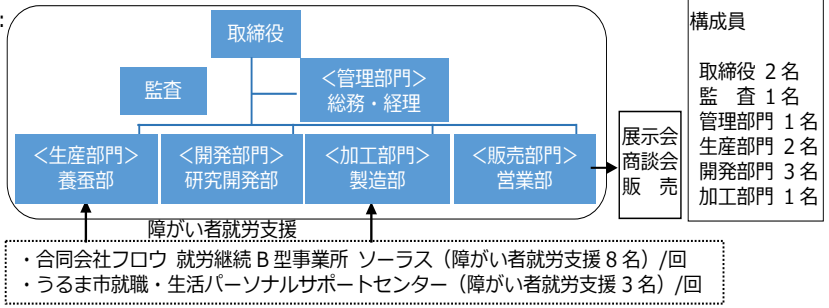

荒廃農地を活用したキャッサバ畑



フランスでの
自社ブランド商品

体制図

設立年：平成１８年４月（沖縄県へ本店移転 平成２５年４月）
組織図：



構成員

取締役 ２名
監　査 １名
管理部門 １名
生産部門 ２名
開発部門 ３名
加工部門 １名

取組の成果

○売上：約400万円（R1）→　約1,600万円（R4）
○荒廃農地の活用：1.3ha（H29）→　3.7ha（R4）
○就労支援B型事業所との連携：10回（H29）→　26回（R4）
○高齢者雇用数：2人（H29）→　5人（R4）

ウェブサイト▶https://www.ukami.co.jp/

この情報は令和5年6月時点のものです

47-03

株式会社 日本バイオテック

地域資源：農林水産物（海ぶどう）、景観
事業分野：食品、観光・旅行、福祉
事業主体：農林漁業者

○海ぶどうの陸上養殖を起点に、6次産業化と体験型観光を融合。多様な体験メニュー整備や障害者雇用、商品開発・輸出拡大により地域活性化と雇用創出を実現した取組。

基本情報

- 所在地：沖縄県糸満市
- 選定表彰：
  - ・第12回「ディスカバー農山漁村の宝」特別賞（R7）
  - ・第10回ものづくり日本大賞（経済産業大臣賞）
  - ・NIKKEI THE PITCH GROWTH 2024-2025 オーディエンス賞（令和７年３月
- 主力商品・イベント：
  - ・海ぶどう、海ぶどう加工品（そば、ソフトクリーム、長期保存可能な「塩水海ぶどう」収穫体験、サバ二体験等
- 活用した支援施策：
  - ・食料産業・６次産業化整備交付金
  - ・沖縄県地域資源活用・地域連携サポートセンター（R5）

取組の概要

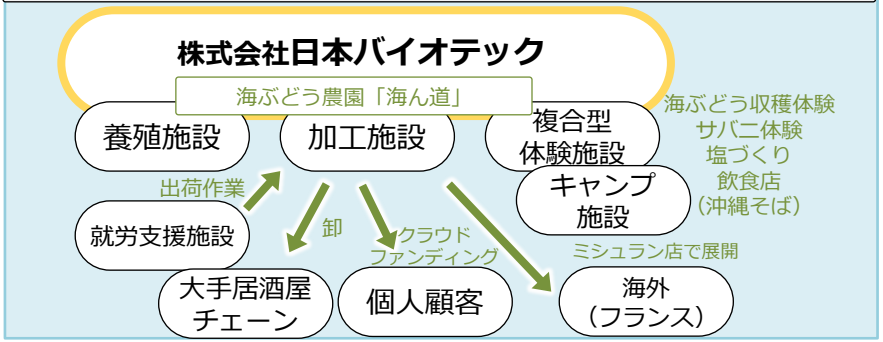
○海ぶどうの陸上養殖を核に事業を開始し、地域資源を活用した体験型観光施設へと発展させる取組を推進。
○女性・高齢者・障害者を積極雇用し、6次産業化を通じて地域活性化と地元雇用創出に取り組んだ。
○収穫体験、塩づくり、サバ二体験など多様な観光コンテンツを整備し、複合型体験施設として運営した。
○規格外品の活用商品開発や農福連携、保存性の高い（業界最長となる2年間常温長期保存）塩水漬け商品の開発により輸出拡大を実現。


海ぶどう丼


海ぶどう養殖場


海ぶどう摘み取り体験

体制図



取組の成果

○ 海ぶどう売上額（加工品含む）：9,588万円（R2）→18,583万円（R6）
○ 海外への輸出額：10万円（R2）→400万円（R6）
○ 地元雇用：14人（R2）→37人（うち4人は障害者）（R6）
○ 6 次産業化によって売上額は令和７年度に2.5 億円を超えるまでに成長

ウェブサイト▶https://www.uminchi.com/

この情報は令和８年6月時点のものです